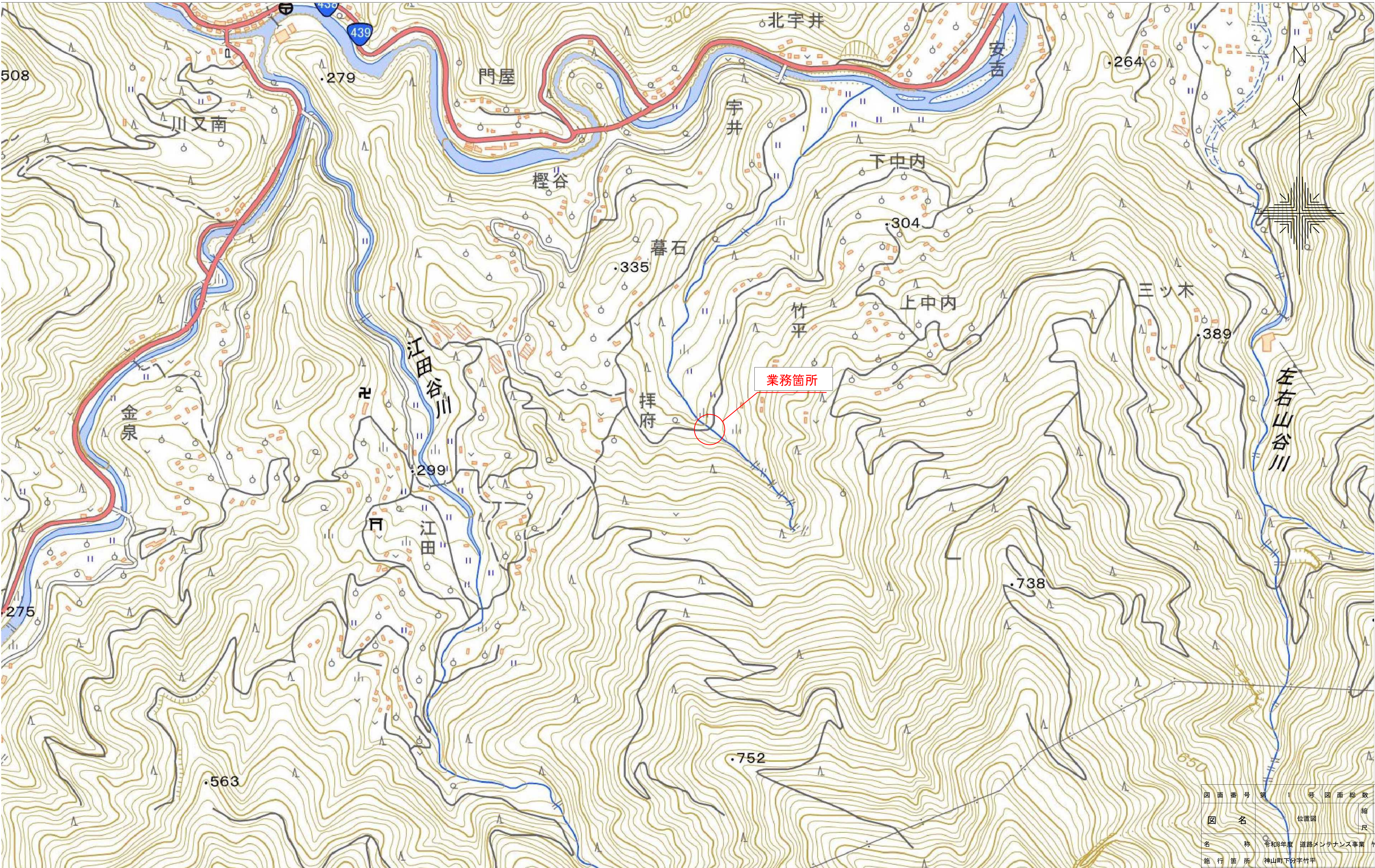


位置図 S=1:5000

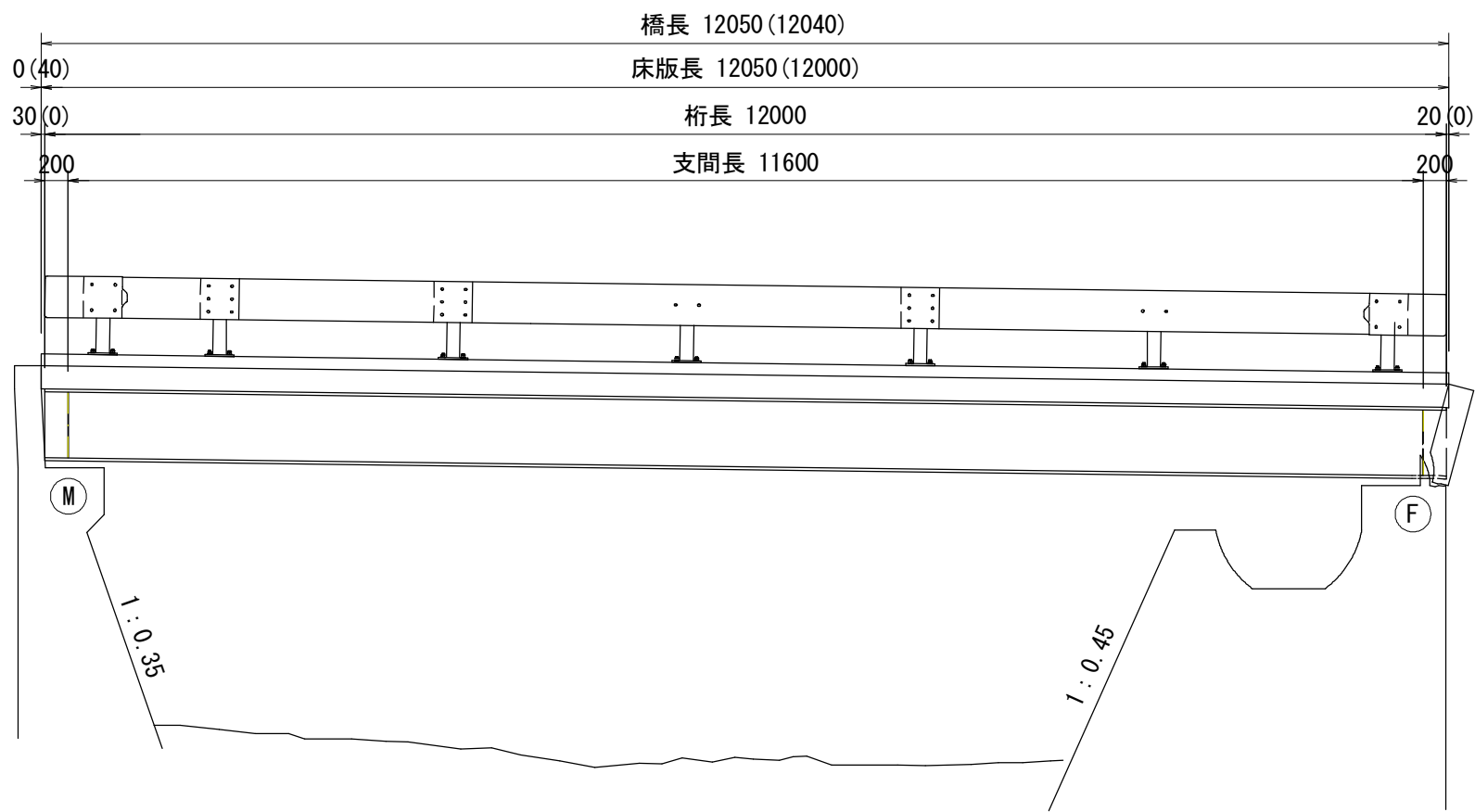


(出典：国土地理院ウェブサイト)

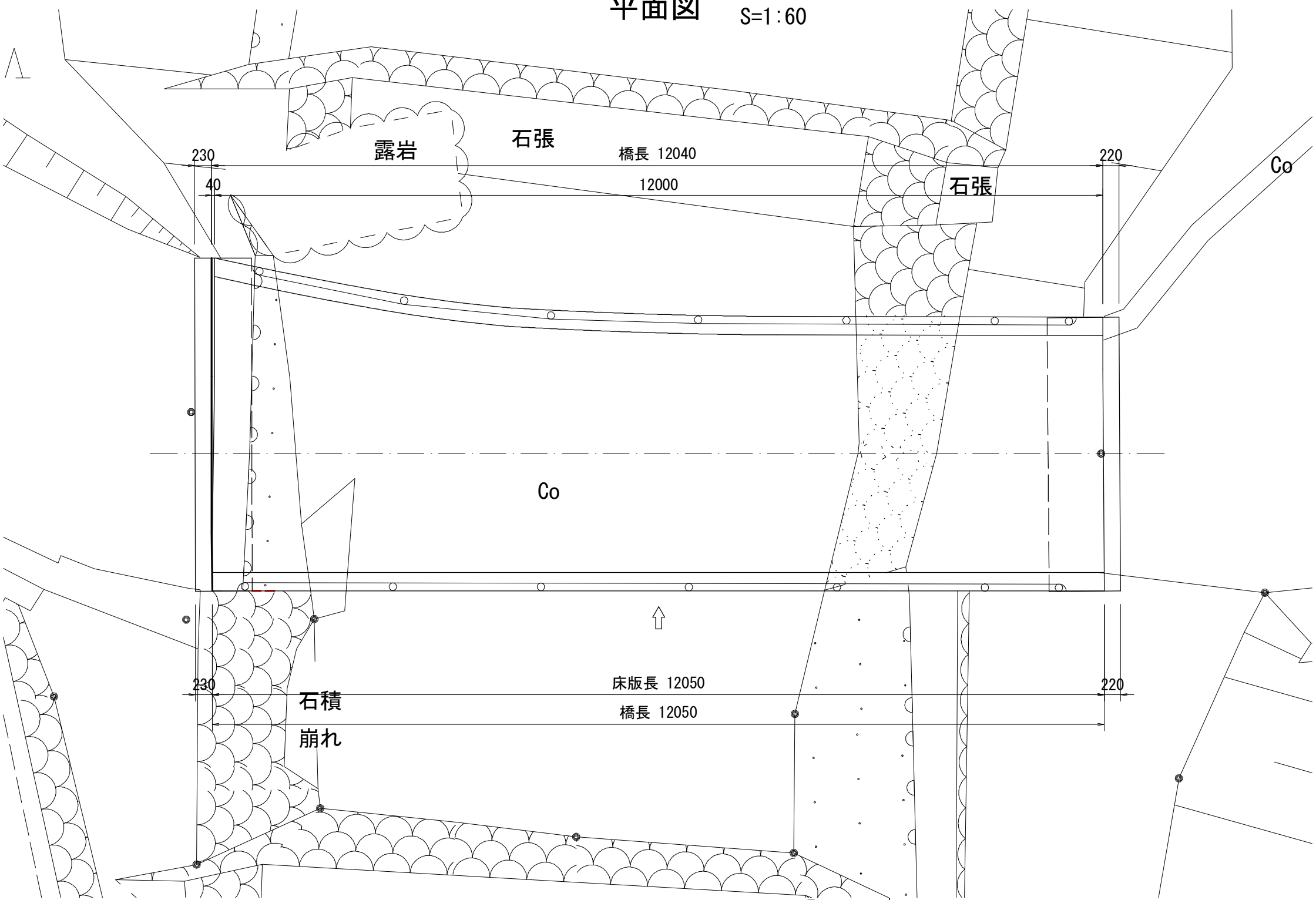
図面番号	第 1 号	図面総数	17 葉
図名	位置図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分宇竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

橋梁一般図

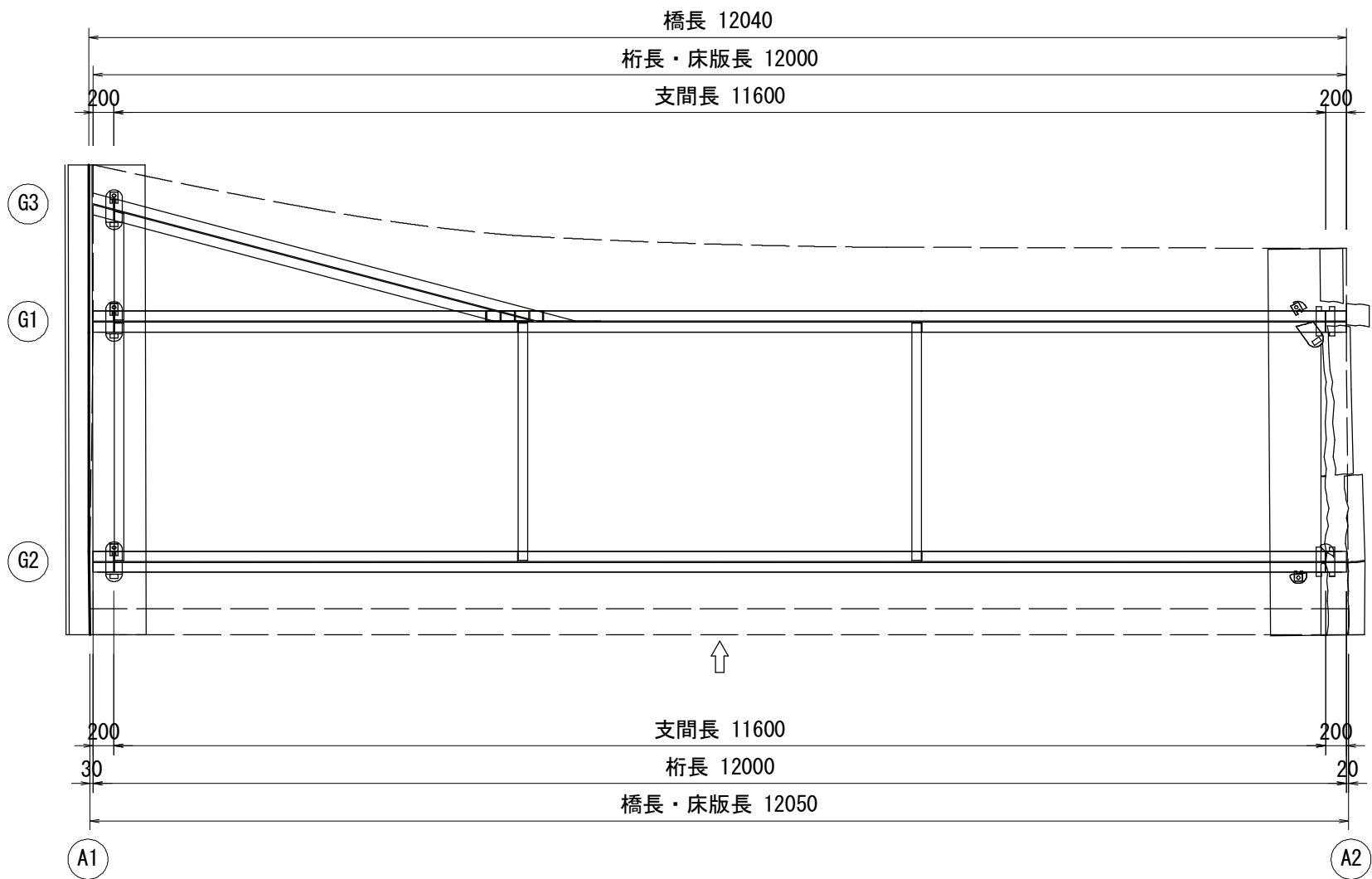
側面図 S=1:60



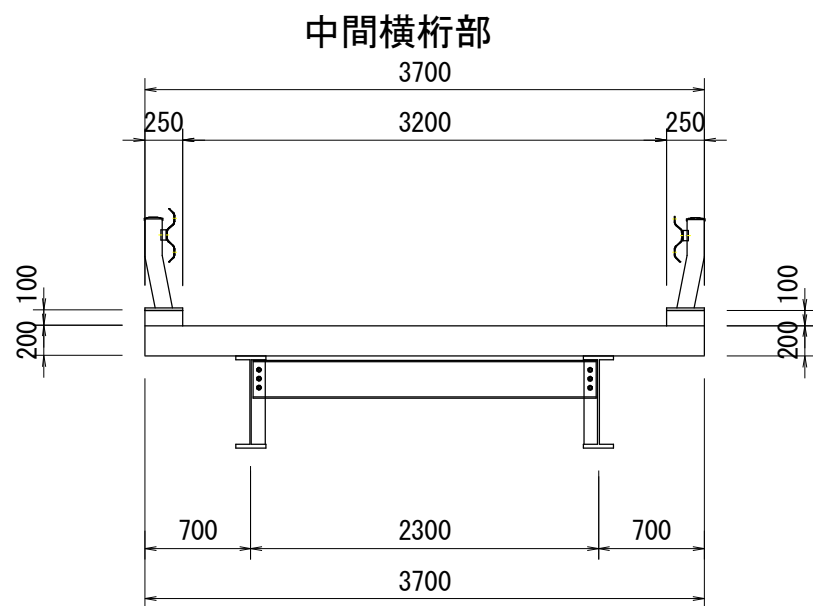
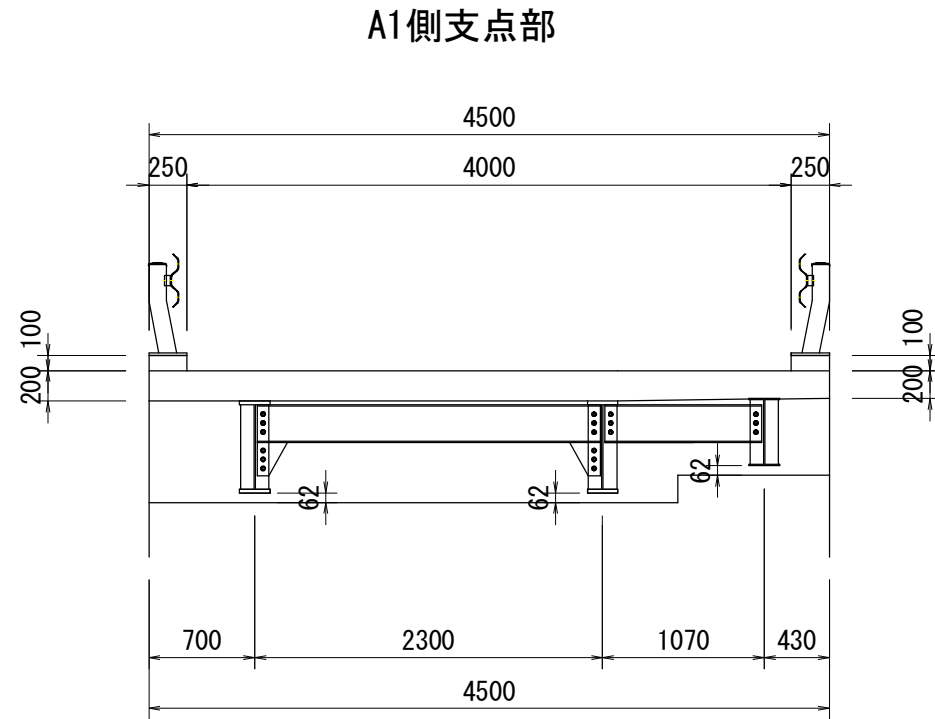
平面図 S=1:60



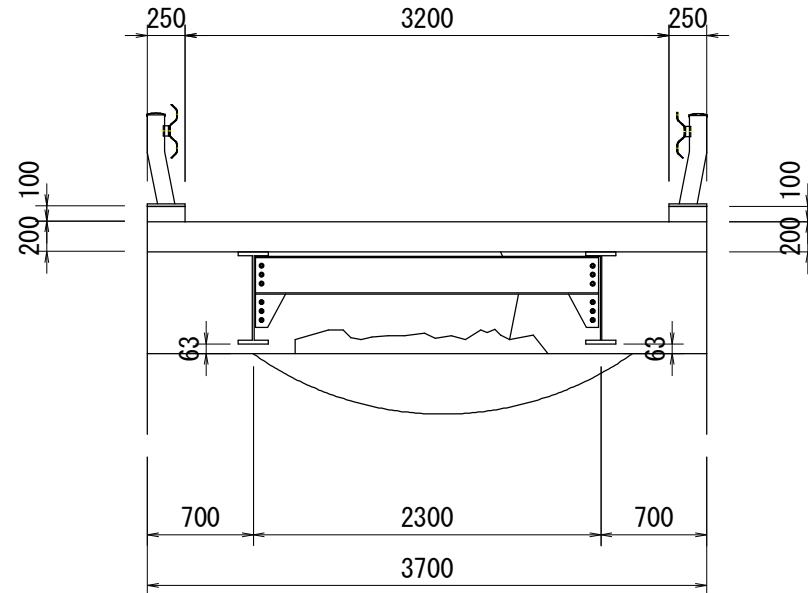
桁下面図 S=1:60



上部工 S=1:50

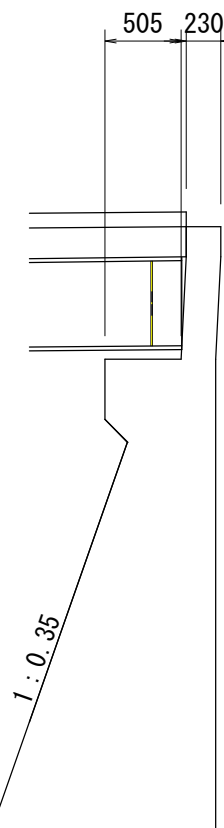
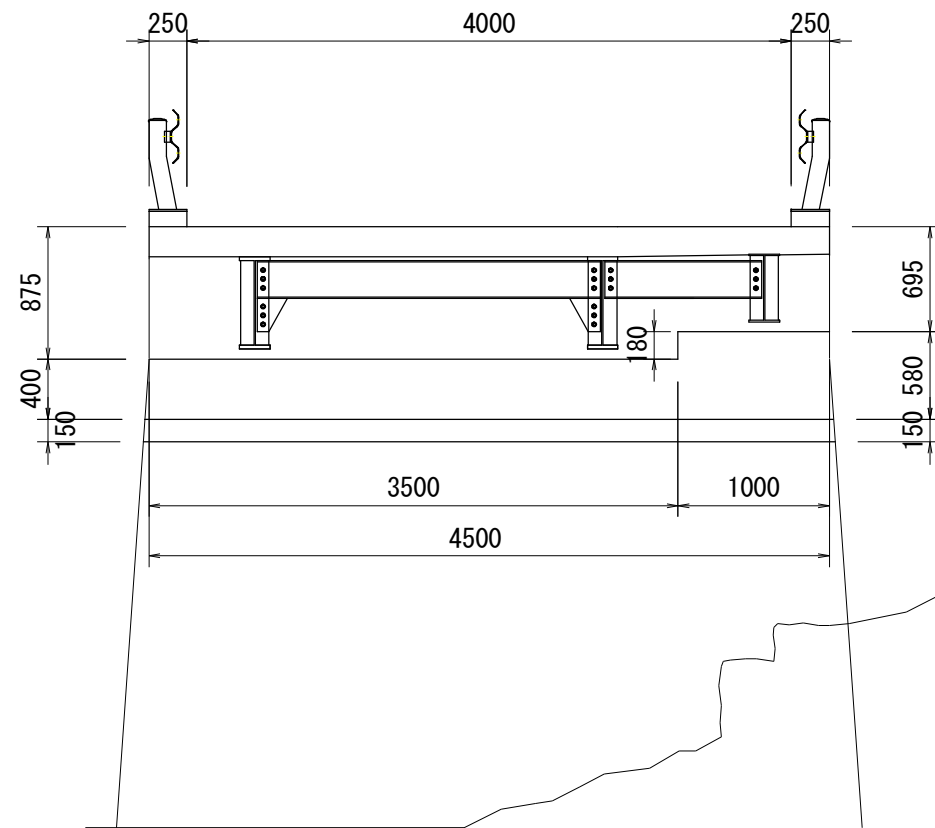


A2側支点部

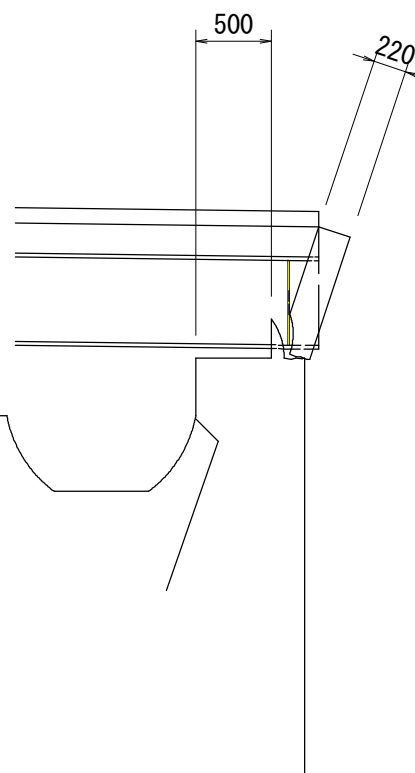
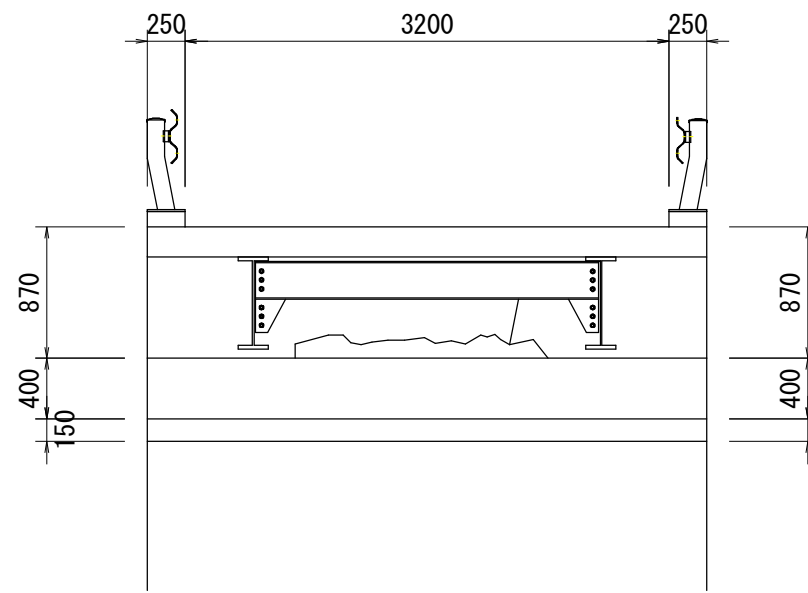
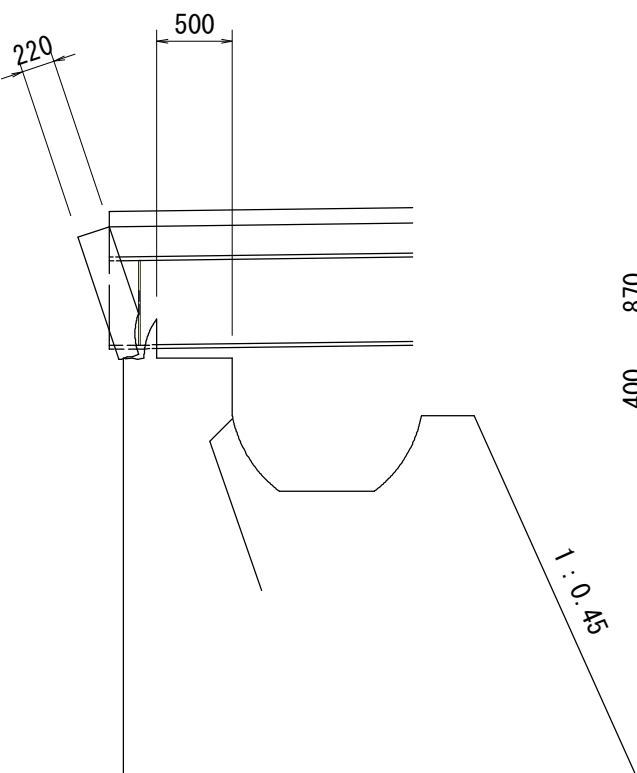


下部工 S=1:50

A1橋台



A2橋台



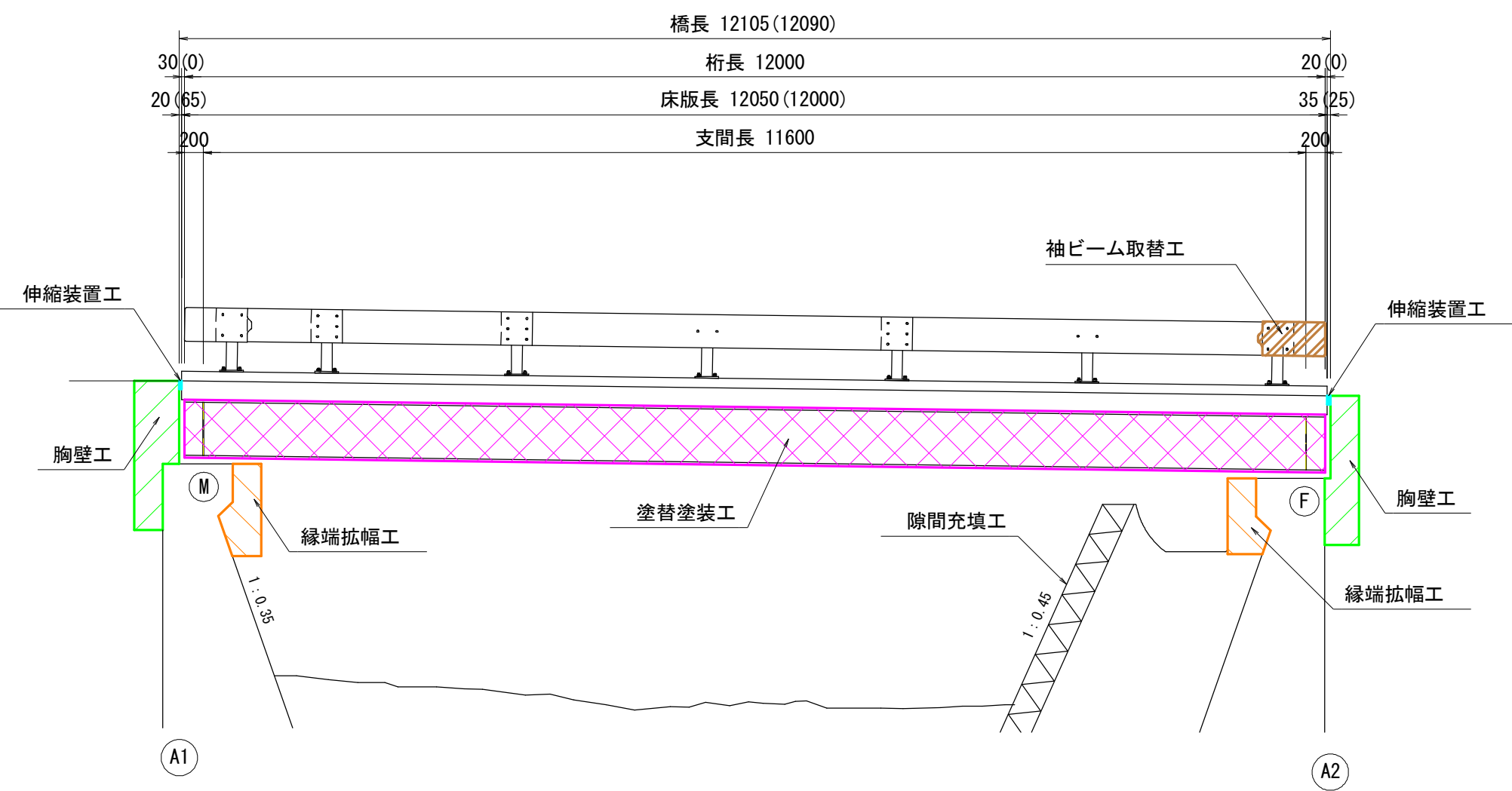
橋梁諸元

橋 梁 名	竹平橋
橋梁番号	5902
所 在 地	徳島県名西郡神山町下分竹平
路線種別	市町村道
路線番号	
路線名称	川又中内線
緊急輸送路指定	なし
25t 指定	なし
上部工形式	鋼1桁橋
下部工形式	半重力式橋台×2基
基礎工形式	直接基礎
橋 長	12.05m(上流側)、12.04m(下流側)
桁 長	12.0m
最大支間長	11.6m
有効幅員	3.2m(一般部)、4.0m(拡幅部)
全 幅 員	3.7m(一般部)、4.5m(拡幅部)
橋 面 積	46.5m ²
架 設 年	昭和42年 3月
適用示方書	昭和39年鋼道路橋設計示方書
設計活荷重	TL-9t
地盤種別	一
斜 角	90° 00' 00"

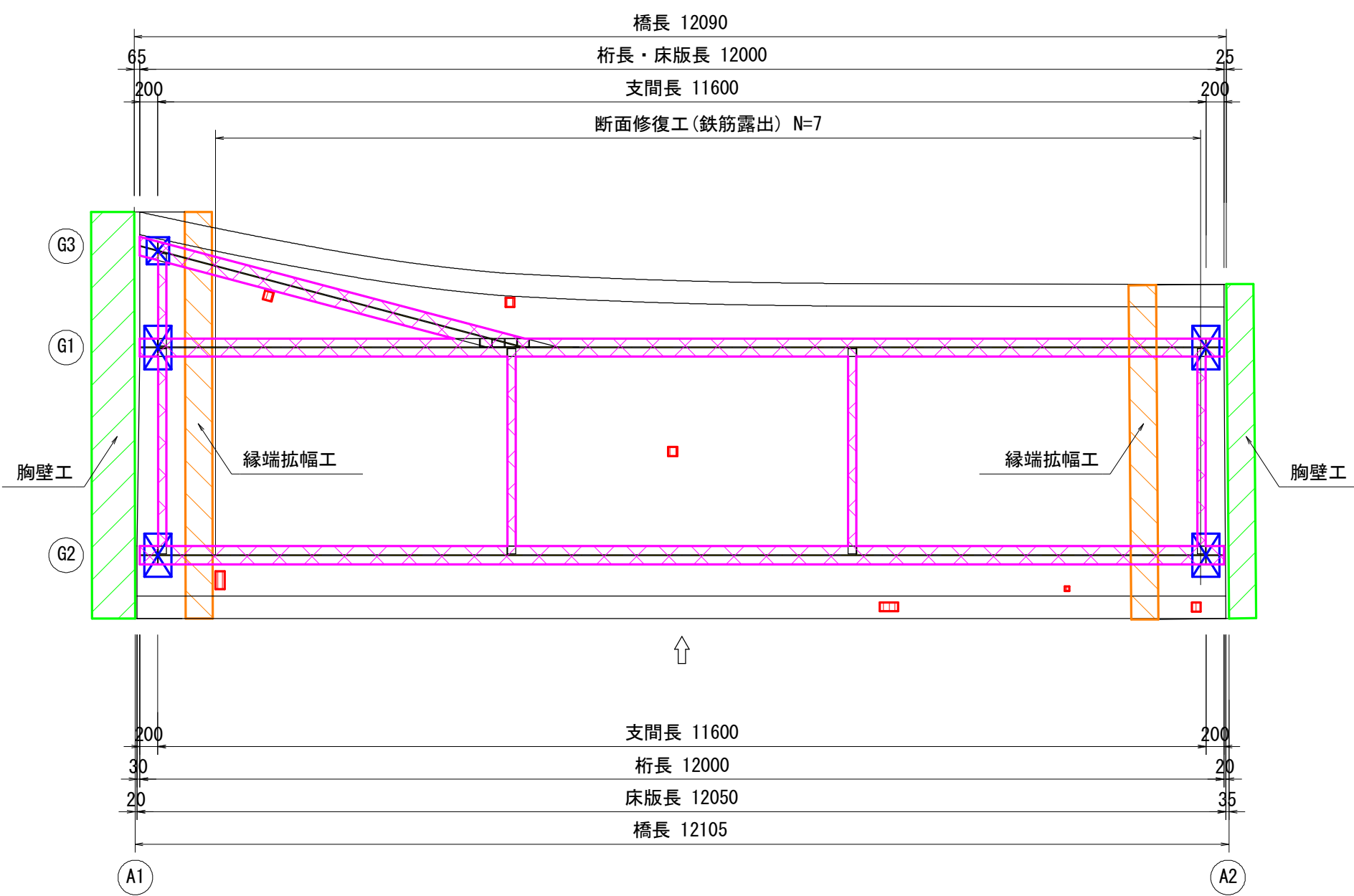
図 面 番 号	第 1 号	図 面 総 数	17 葉
図 名	橋梁一般図	縮 尺	図示
名 称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施 行 箇 所	神山町下分竹平		
工 事 種 別			
所 属 年 度	令 和 8 年 度	工 事 番 号	
課 長	設 計	製 図	徳島県 神山町

補修工一般図

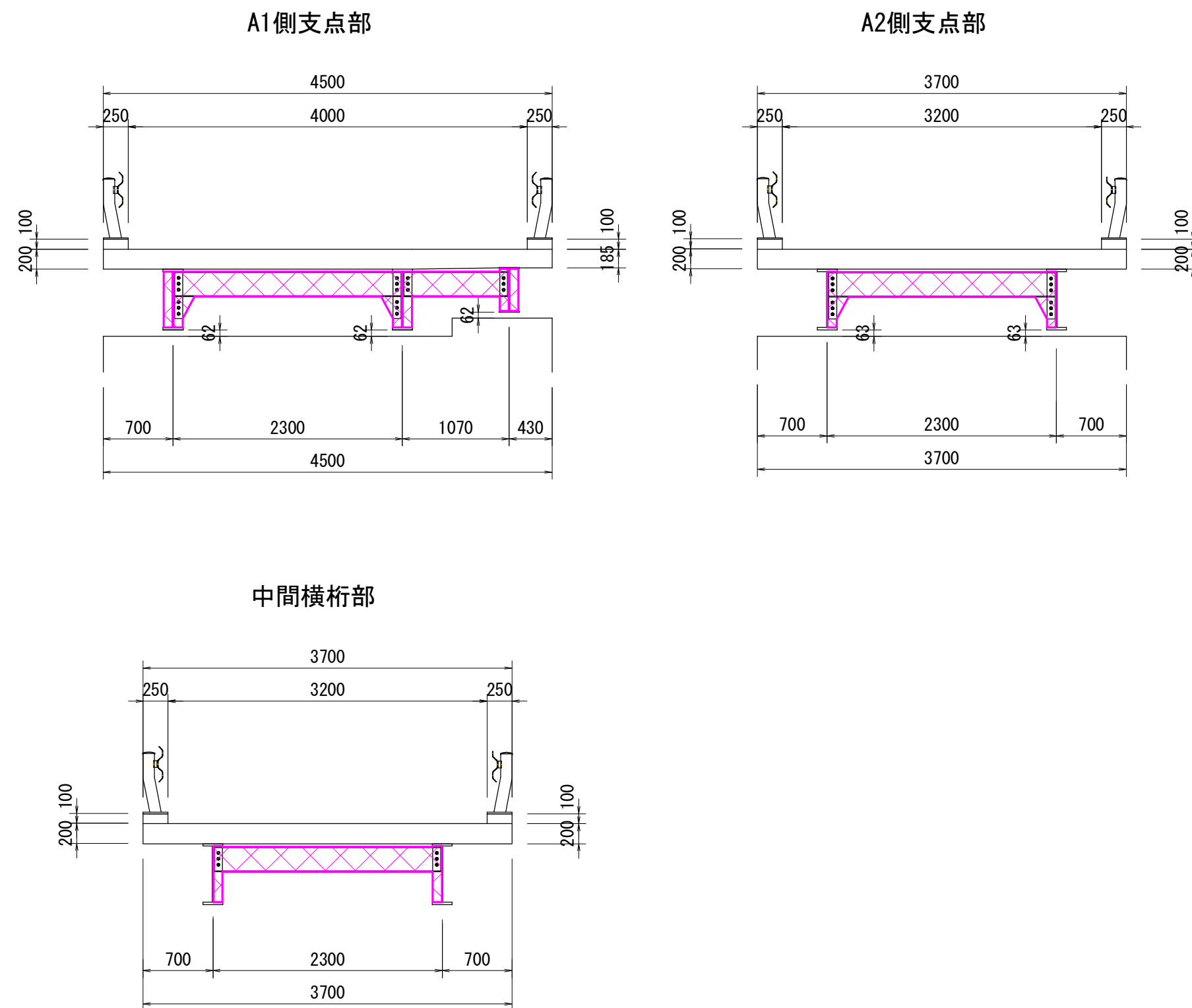
側面図 S=1:60



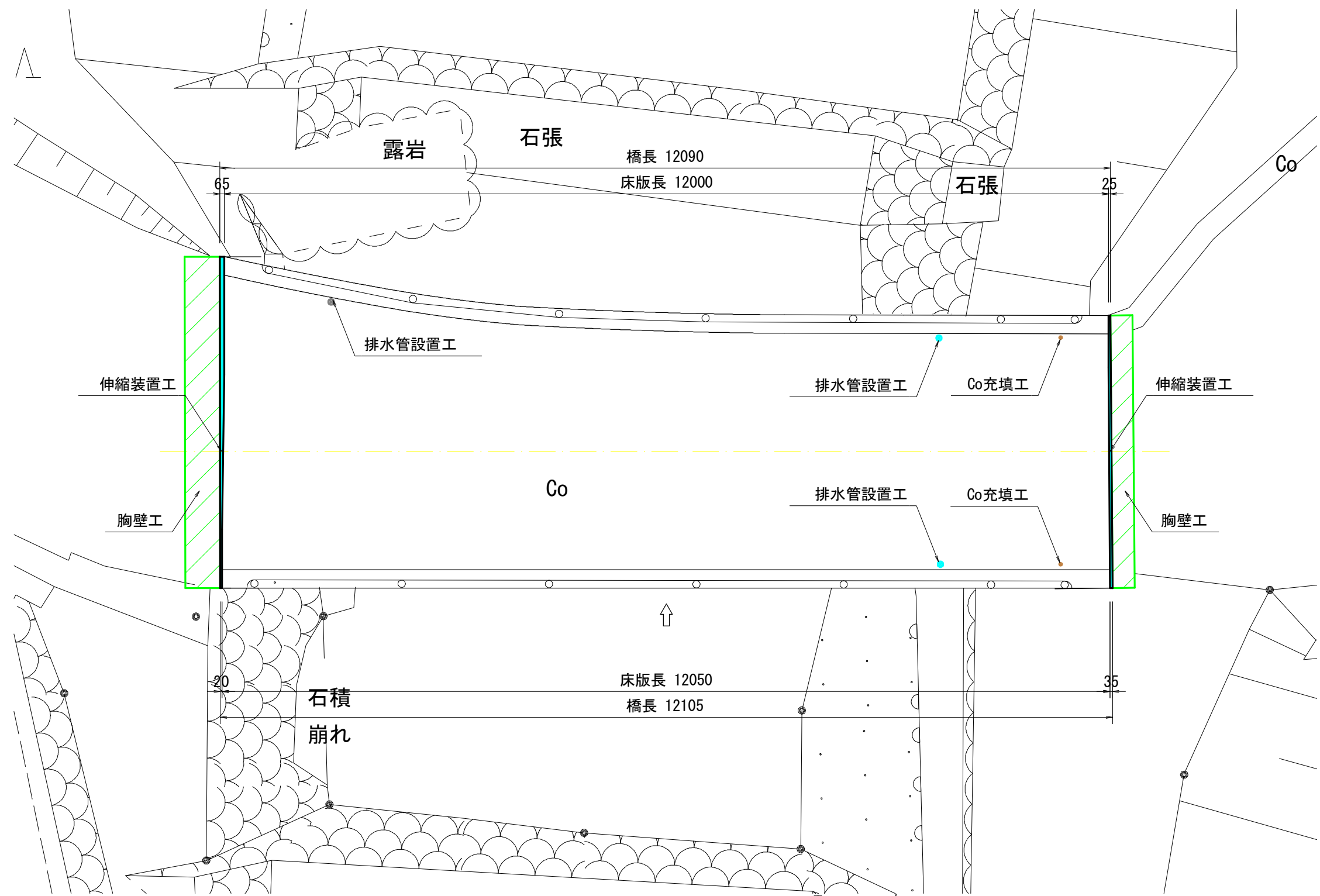
桁下面図 S=1:60



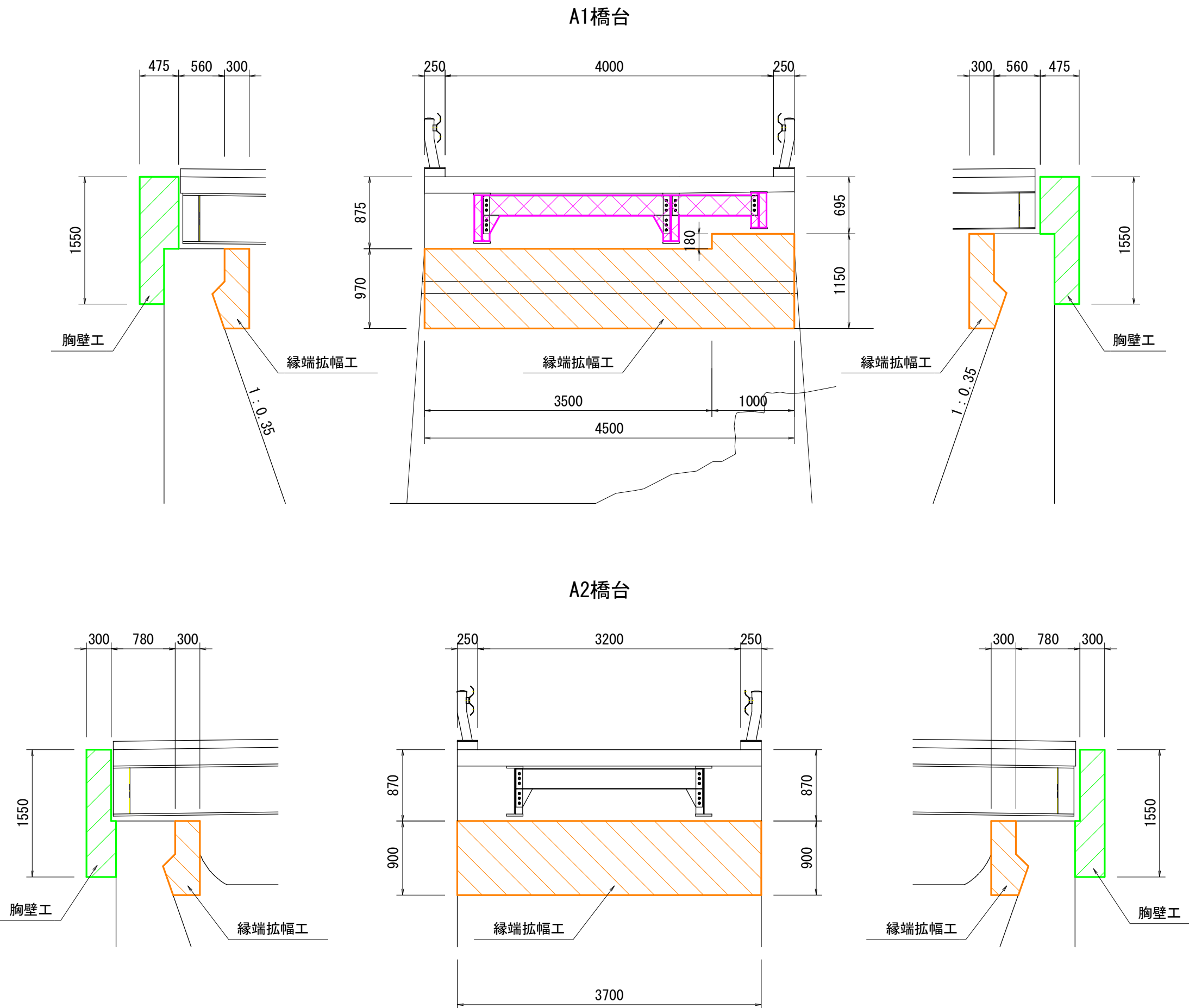
上部工 S=1:50



平面図 S=1:60



下部工 S=1:50



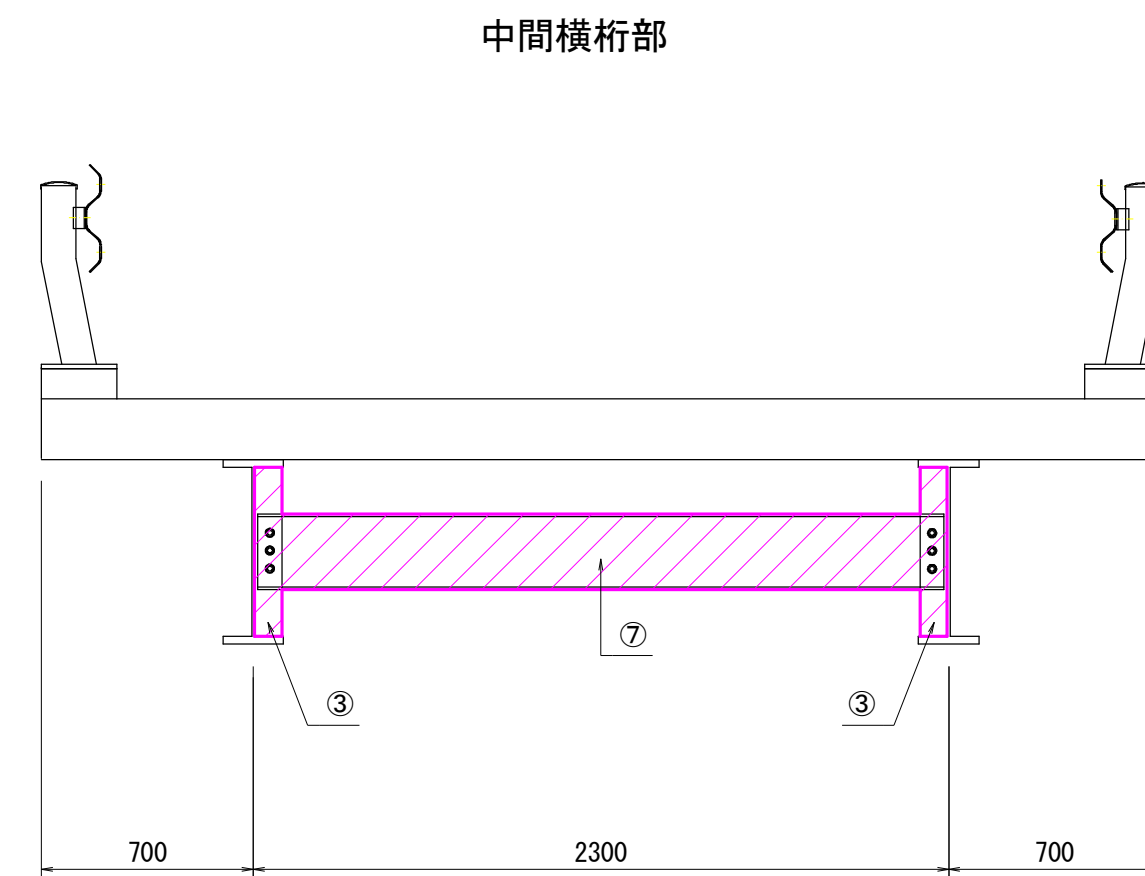
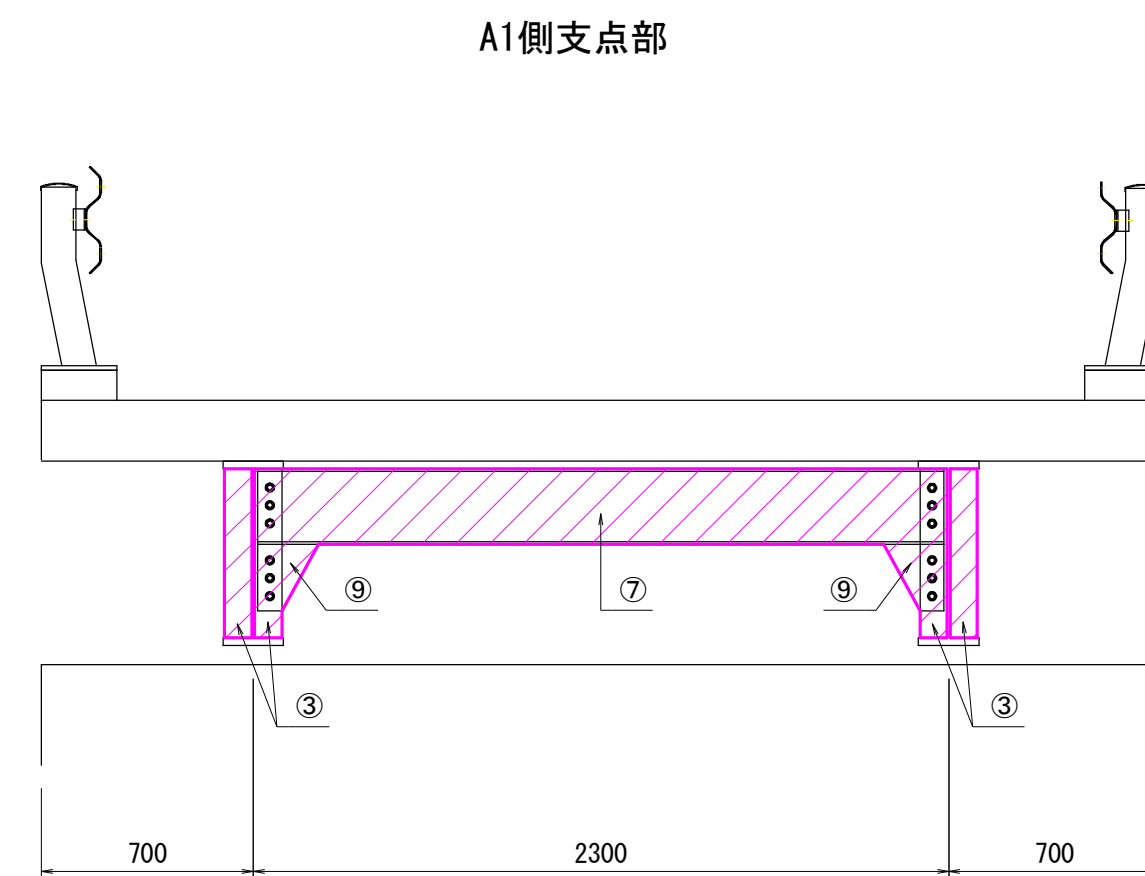
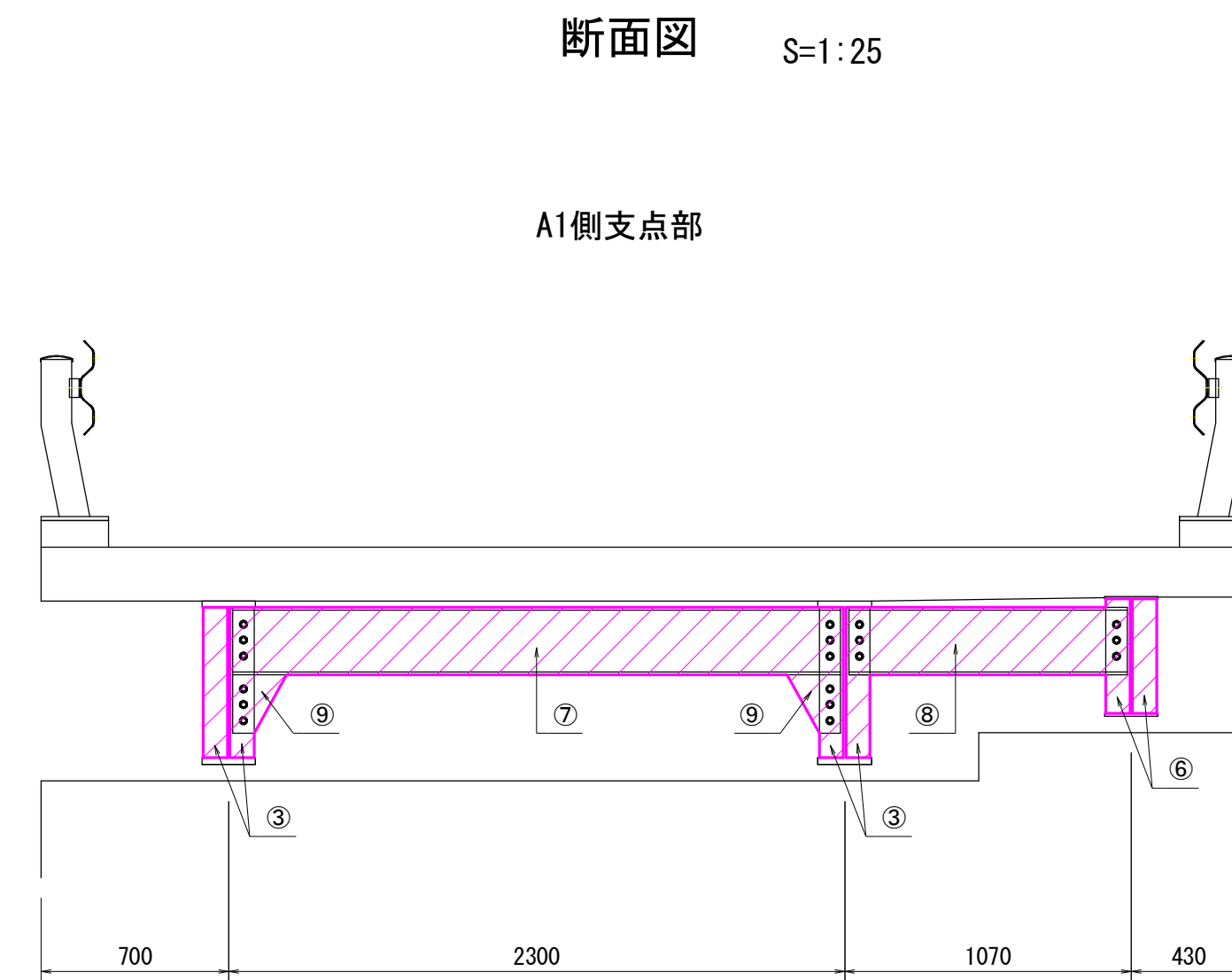
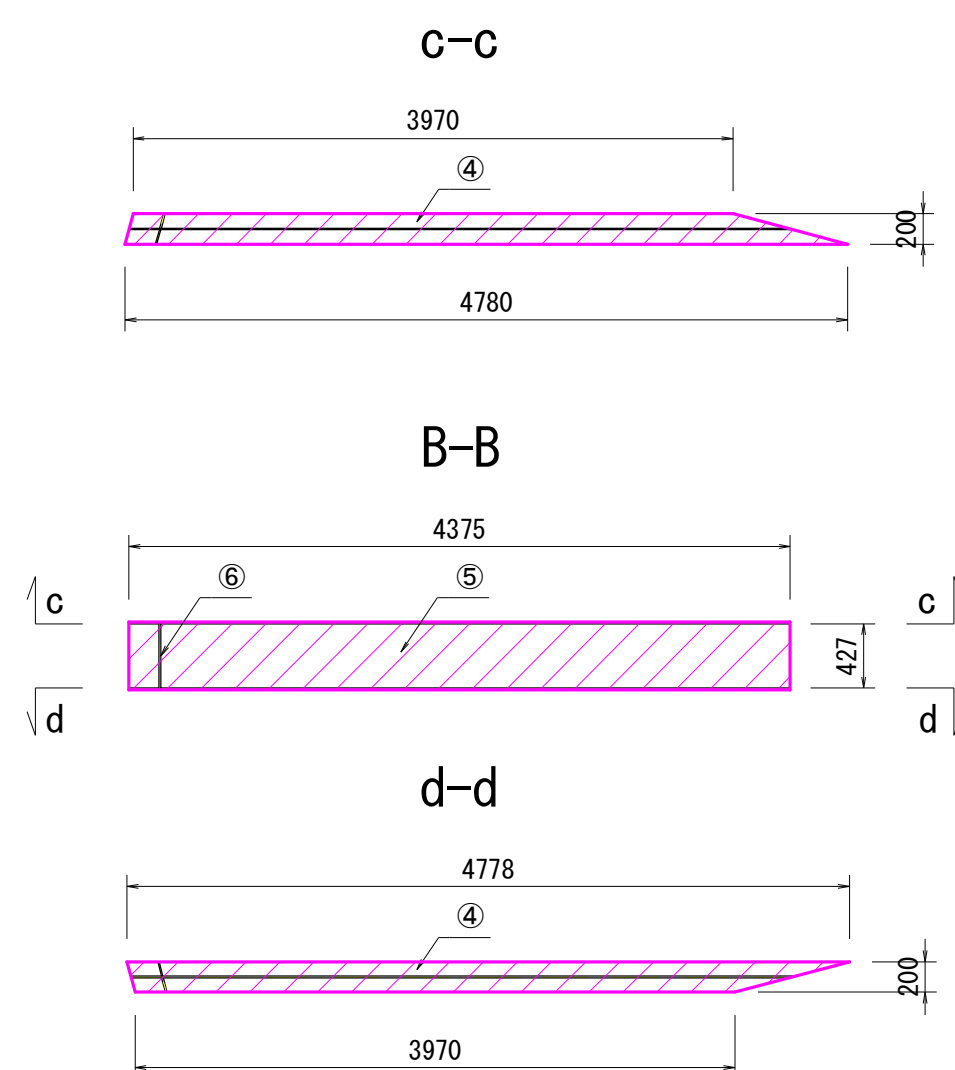
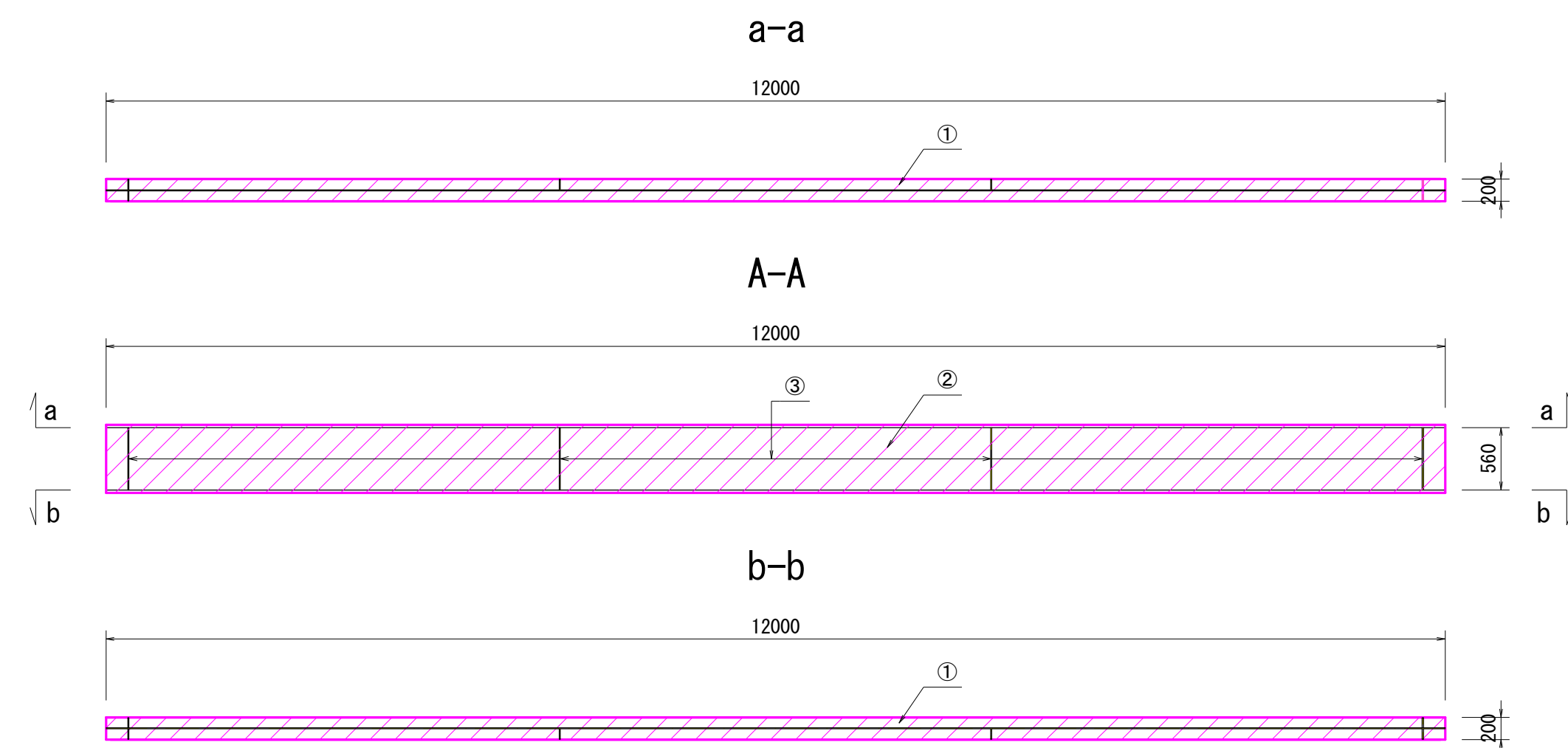
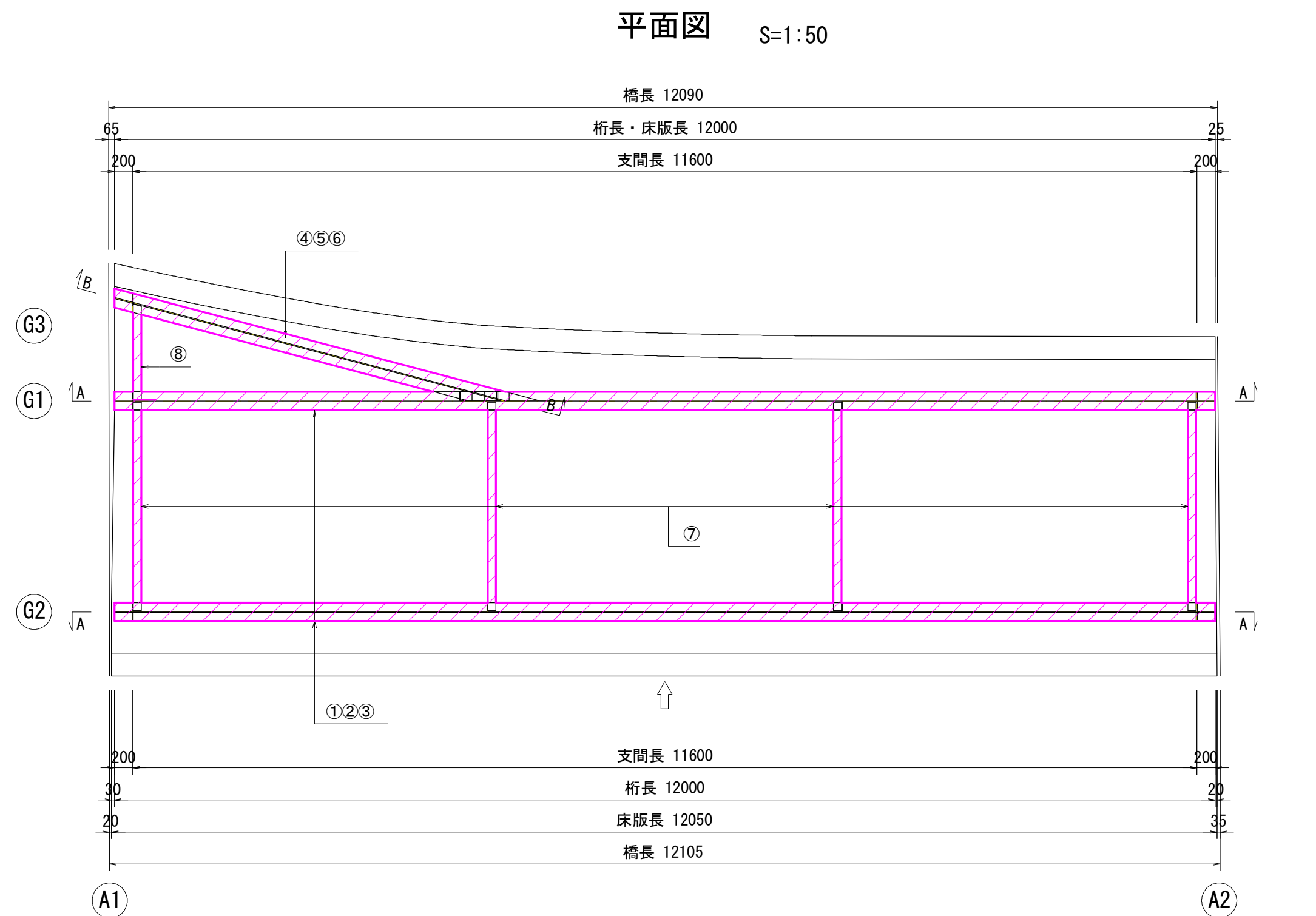
橋梁諸元	
橋梁名	竹平橋
橋梁番号	5902
所在地	徳島県名西郡神山町下分竹平
路線種別	市町村道
路線番号	
路線名称	川又中内線
緊急輸送路指定	なし
25t 指定	なし
上部工形式	鋼桁橋
下部工形式	半重力式橋台×2基
基礎工形式	直接基礎
橋長	12.090m(上流側)、12.105m(下流側)
桁長	12.0m
最大支間長	11.6m
有効幅員	3.2m(一般部)、4.0m(拡幅部)
全幅員	3.7m(一般部)、4.5m(拡幅部)
橋面積	46.7m ²
架設年	昭和42年 3月
適用示方書	昭和39年鋼道路橋設計示方書
設計活荷重	TL-9t
地盤種別	—
斜角	90° 00' 00"

凡例

記号	工種	補修部位
	塗替塗装工	主桁、端横桁、中間横桁
	断面修復工(鉄筋露出)	床版
	胸壁工	A1、A2橋台胸壁
	縁端拡幅工	A1、A2橋台橋座前面
	支承取替工	A1、A2橋台上
	伸縮装置工	A1、A2遊間
	排水管設置工	橋面
	コンクリート充填工	旧橋面排水孔
	袖ビーム取替工	A2上流側袖ビーム

図面番号	第 2 号	図面総数	17 葉
図名	補修工一般図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

塗替塗装工図



- ① 4-F1g PL 300 × 25 × 12000
- 2-Web PL 560 × 9 × 12000
- ② 12-PL 90 × 560
- ③ 2-F1g PL 200 × 10 × 4375
- ④ 1-Web PL 427 × 9 × 4375
- ⑤ 2-PL 90 × 427
- ⑥ 4-[250 × 90 × 9 × 13 × 2270
24-HTB M20 × 55
- ⑦ 1-[250 × 90 × 9 × 13 × 1040
6-HTB M20 × 55
- ⑧ 4-Guss PL 200 × 9 × 220 NET70%
12-HTB M20 × 55

塗装仕様

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	塗膜除去工(塗膜剝離剤)+1種ケレン相当		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変形エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

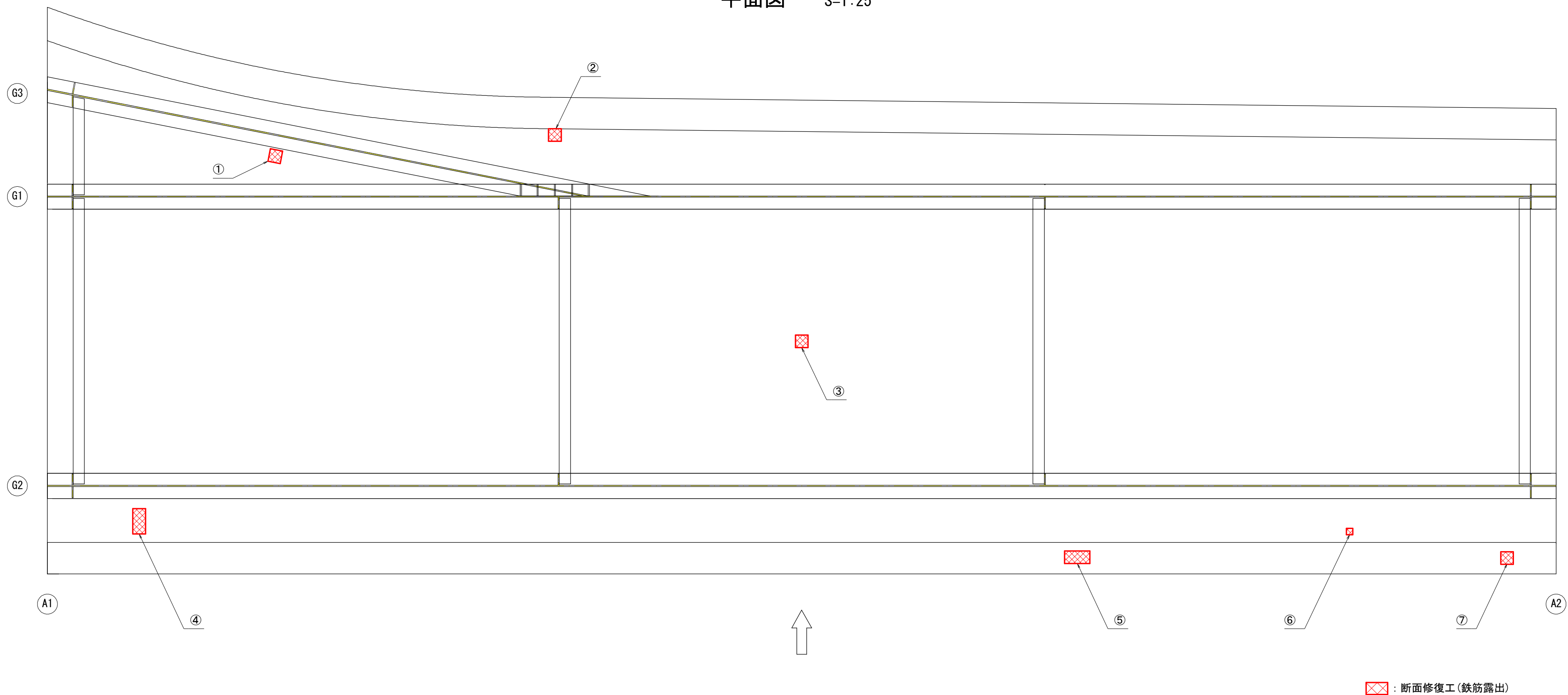
数量表

工 種	仕 様	単位	数量	摘要
塗装塗替工	Rc-Ⅰ 塗装系	m ²	58	

図面番号	第 3 号	図面総数	17 葉
図名	塗替塗装工図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

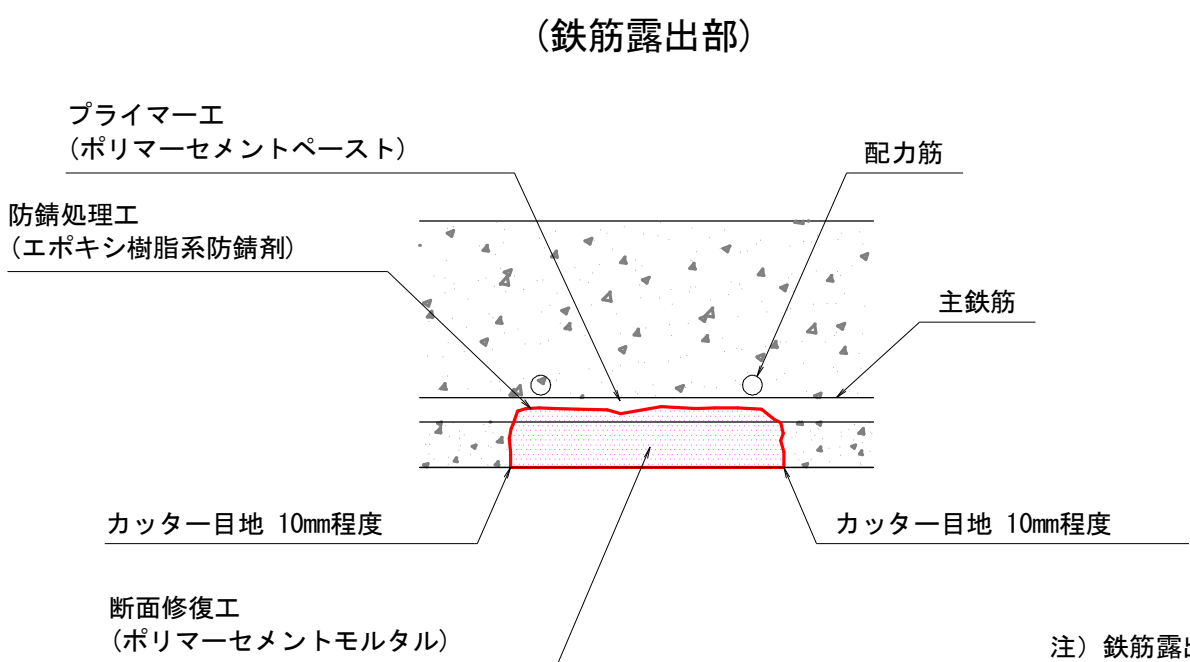
補修工図

平面図 S=1:25



断面修復工(鉄筋露出)

断面修復工要領図 S=1:5



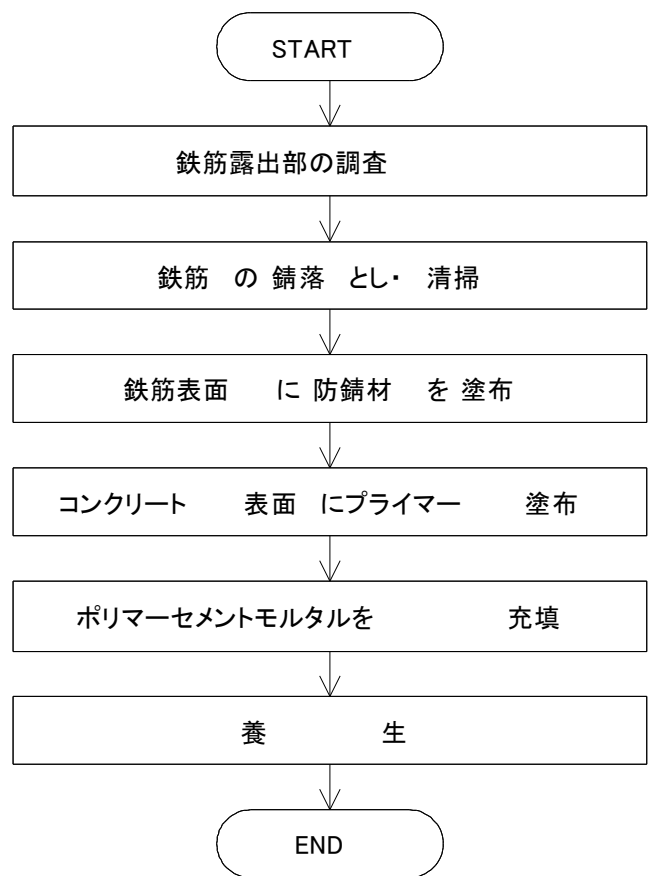
注) 鉄筋露出部のはつり深さは、設計上、鉄筋が半分程度露出するように40mmと想定しているが、発生部位によって鉄筋のかぶりにばらつきがあると考えられるので、鉄筋の半分程度を目安にはつりを行うものとする。

断面修復工寸法表

No	幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ t(mm)
①	100	100	40
②	100	100	40
③	100	100	40
④	200	100	40
⑤	100	200	40
⑥	50	50	40
⑦	100	100	40

施工手順

(鉄筋露出部)



断面修復材(左官工法)の性能照査項目

NEXCO構造物施工管理要領

試験項目	試験体の履歴条件	基準値
硬化時間	—	断面修復時の固化時間は1時間以上であること
断面修復材の外観	温冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれがないこと
硬化収縮性	—	・断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること ・硬化に伴う発熱により反りかえりがないこと
熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は $2 \times 10^{-4}/^{\circ}\text{C}$ 以下であること
コンクリートとの付着性	湿潤時 耐アルカリ性試験後 温冷繰り返し試験後	コンクリートと断面修復材との付着強度は、1.5N/mm ² 以上であること
塗装塗膜との付着性	温冷繰り返し試験後	塗膜と断面修復材との付着強度は、1.0N/mm ² 以上であること
圧縮強度	—	補修設計で定めた設計基準強度以上

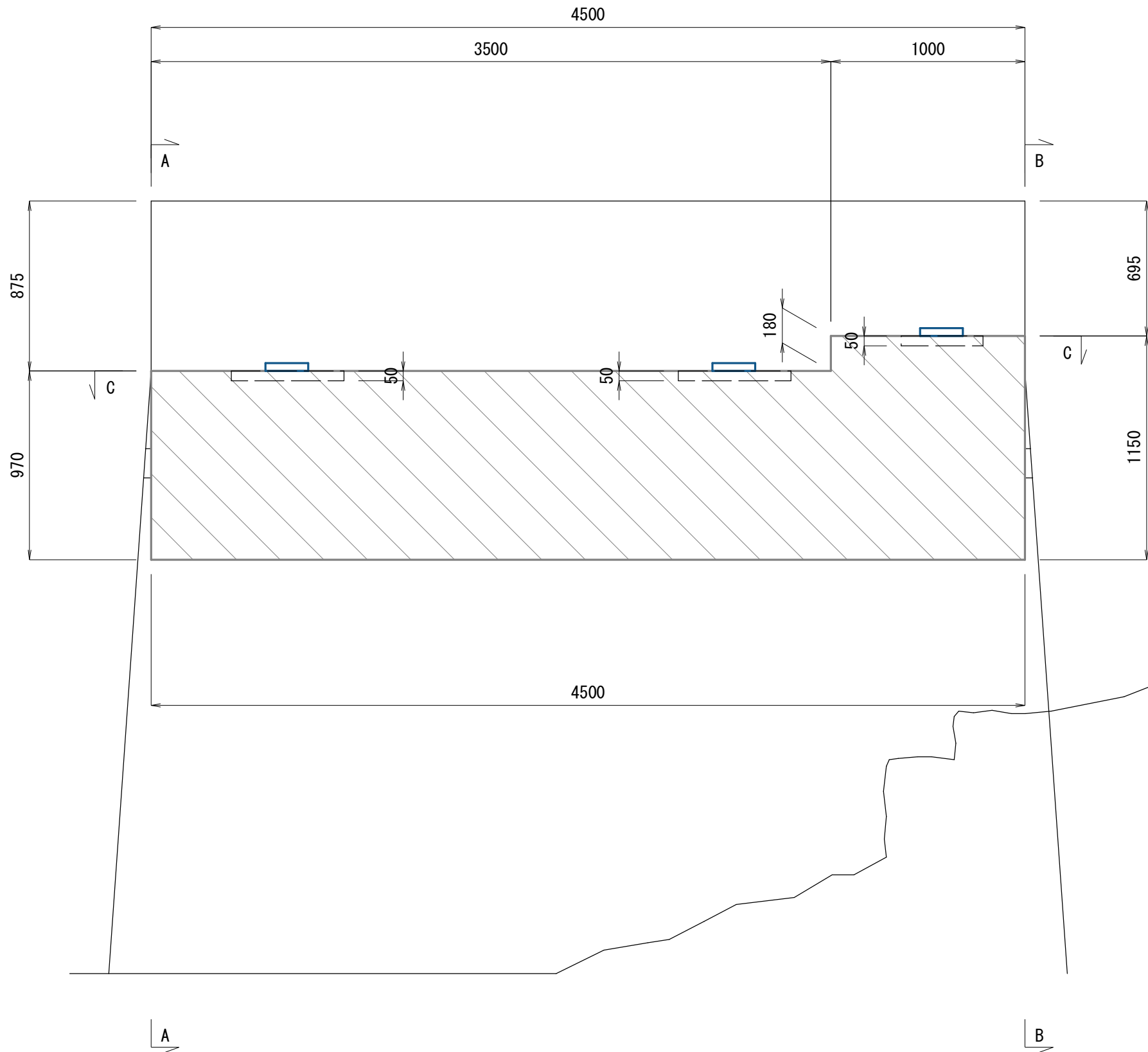
図面番号	第 4 号	図面総数	17 葉
図名	補修工図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

下部工構造図

S=1:25

A1橋台

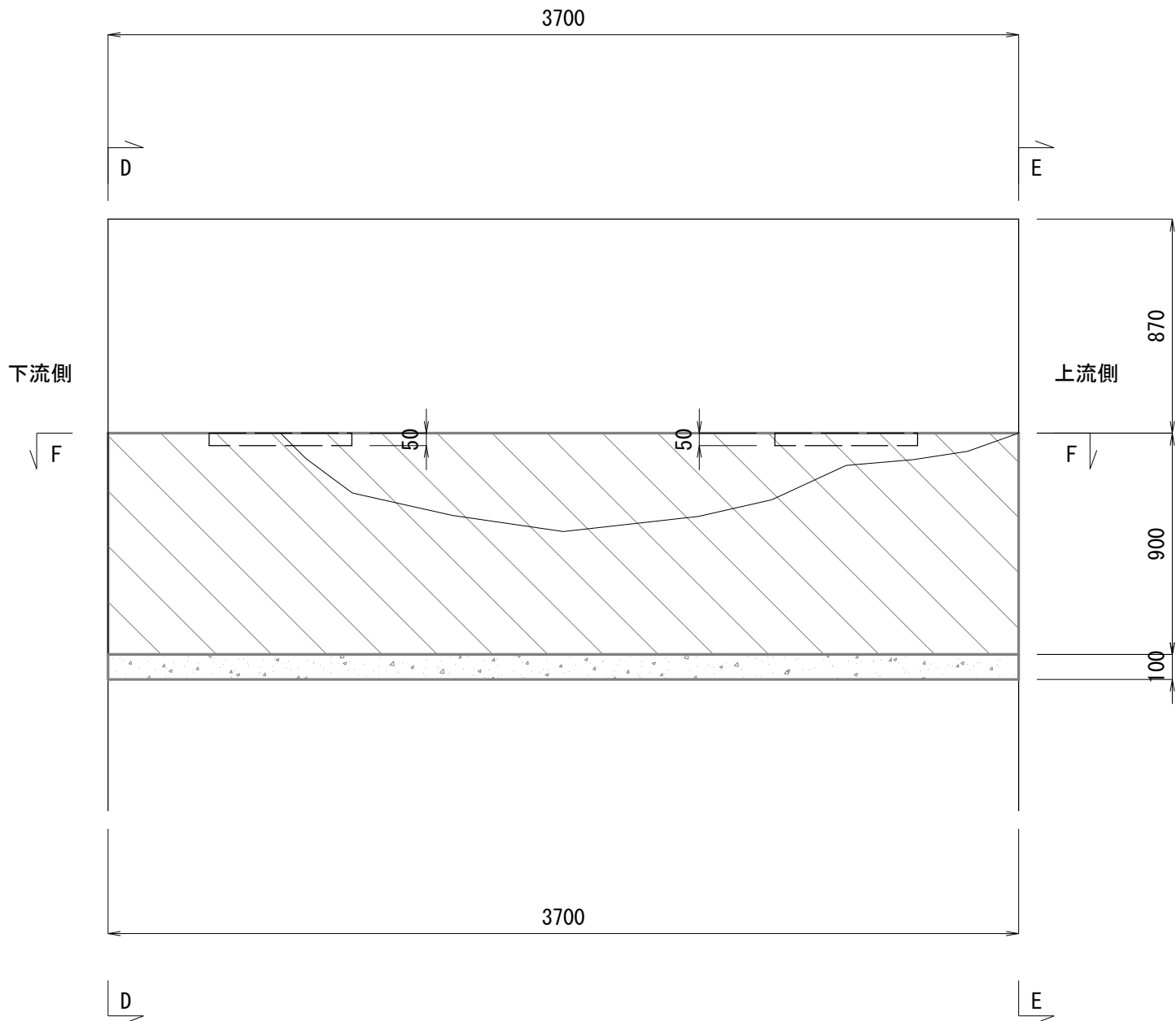
正面図 (G-G)



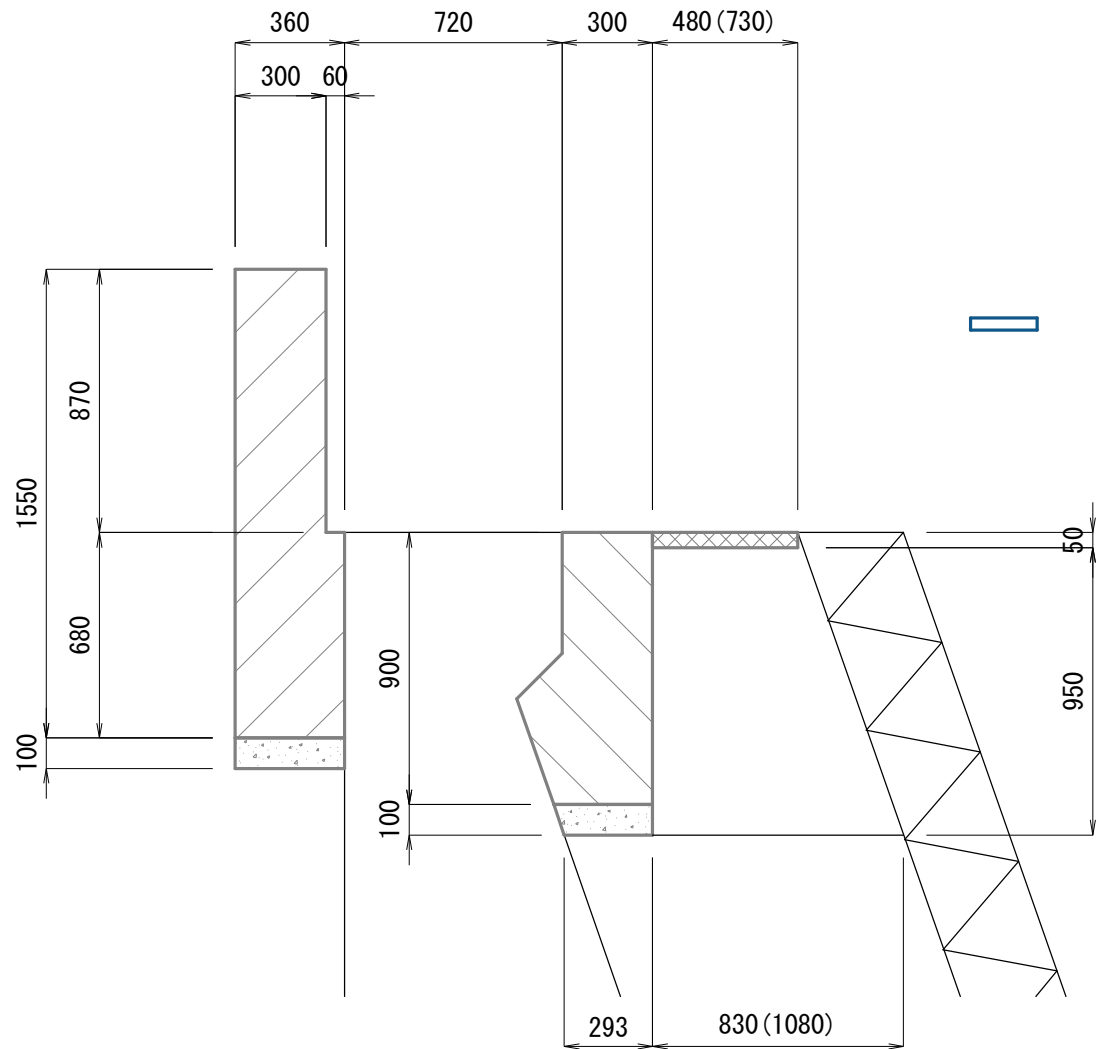
※ () 内の数値は、B-B側面を表す。

A2橋台

正面図 (H-H)

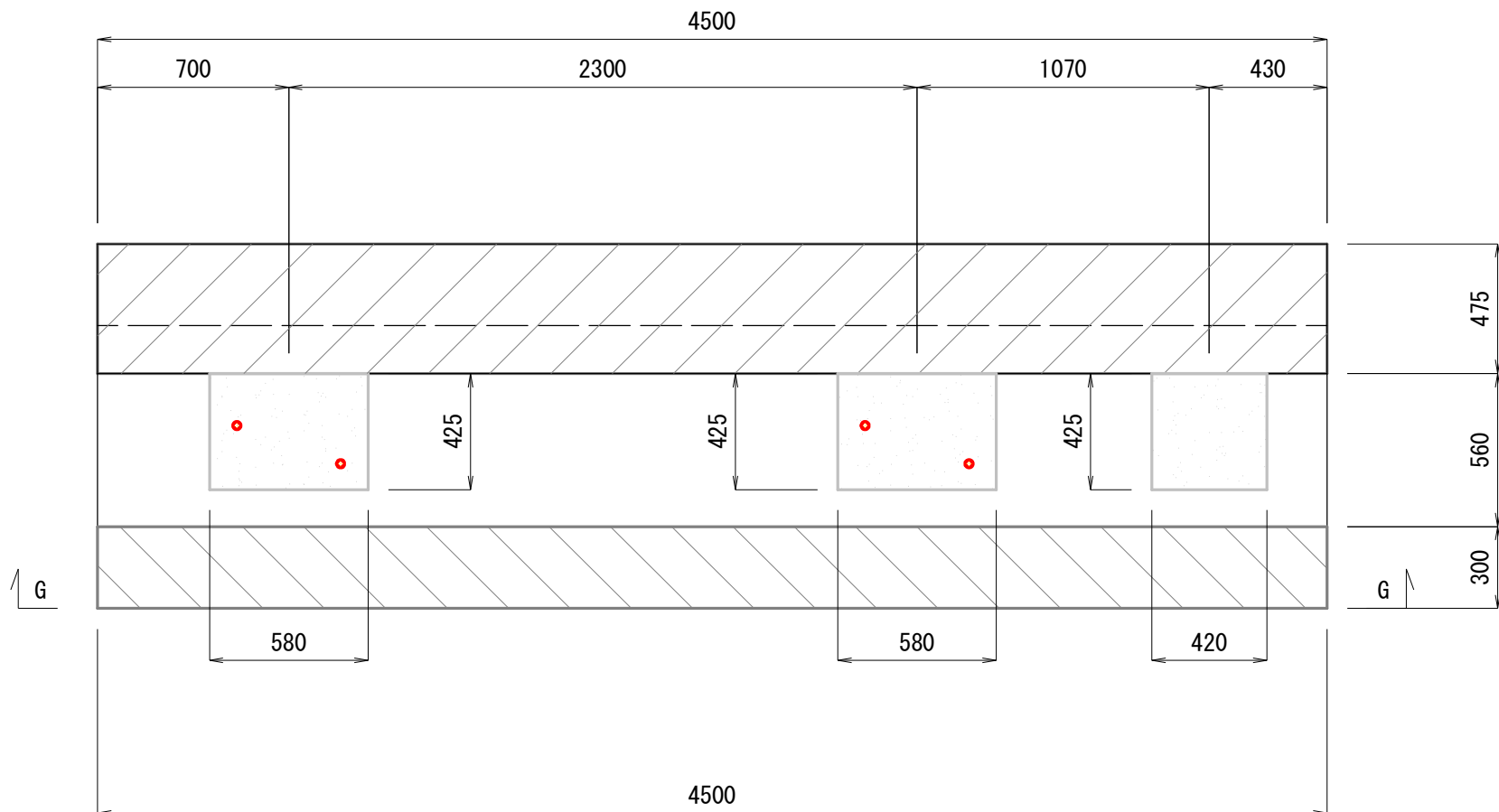


D-D (E-E) 側面図

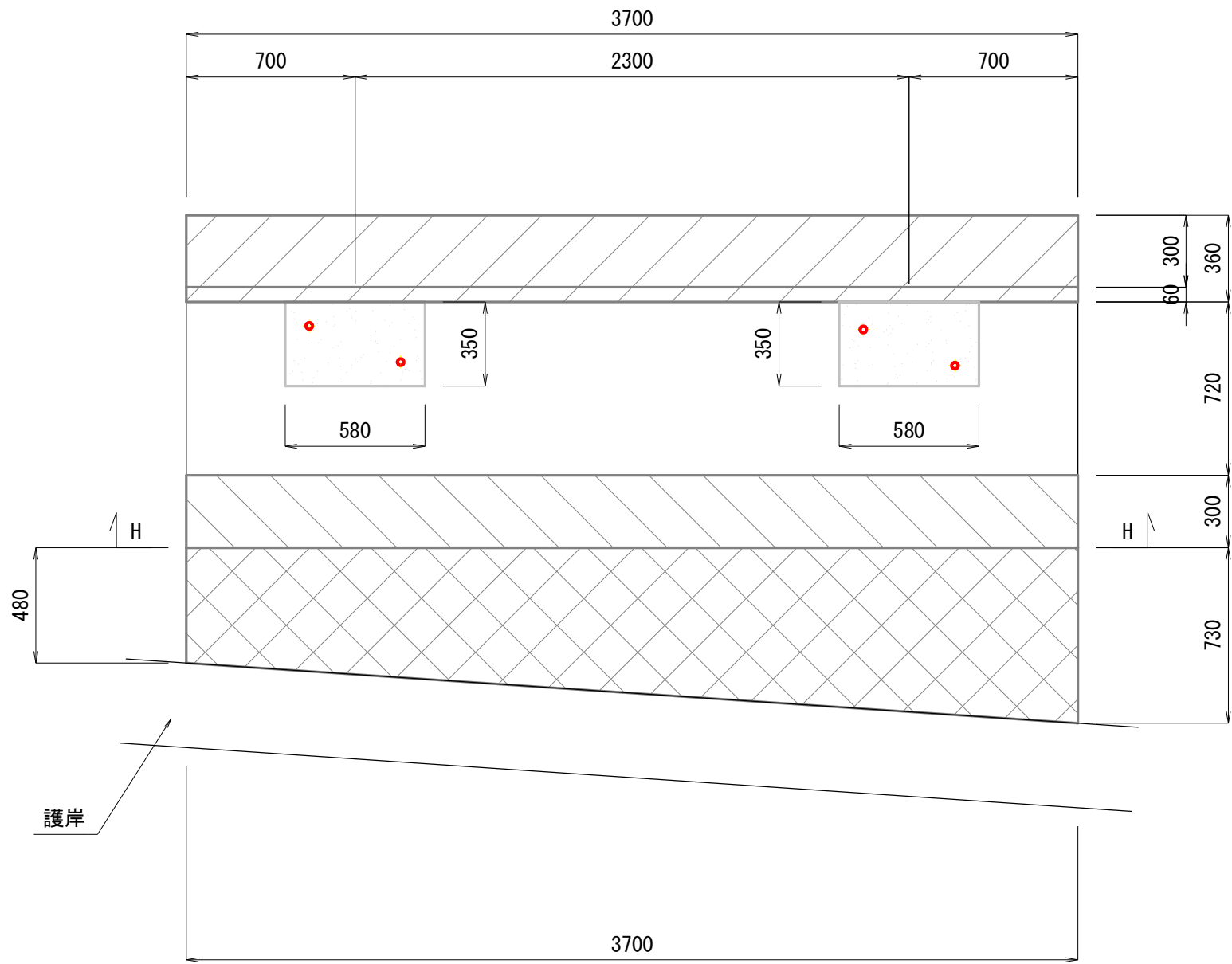


※ () 内の数値は、E-E側面を表す。

平面図 (C-C)



平面図 (F-F)



凡例)

- 胸壁工
- 縁端拡幅工
- 均しコンクリート工
- 沓座モルタル工
- コンクリート張工

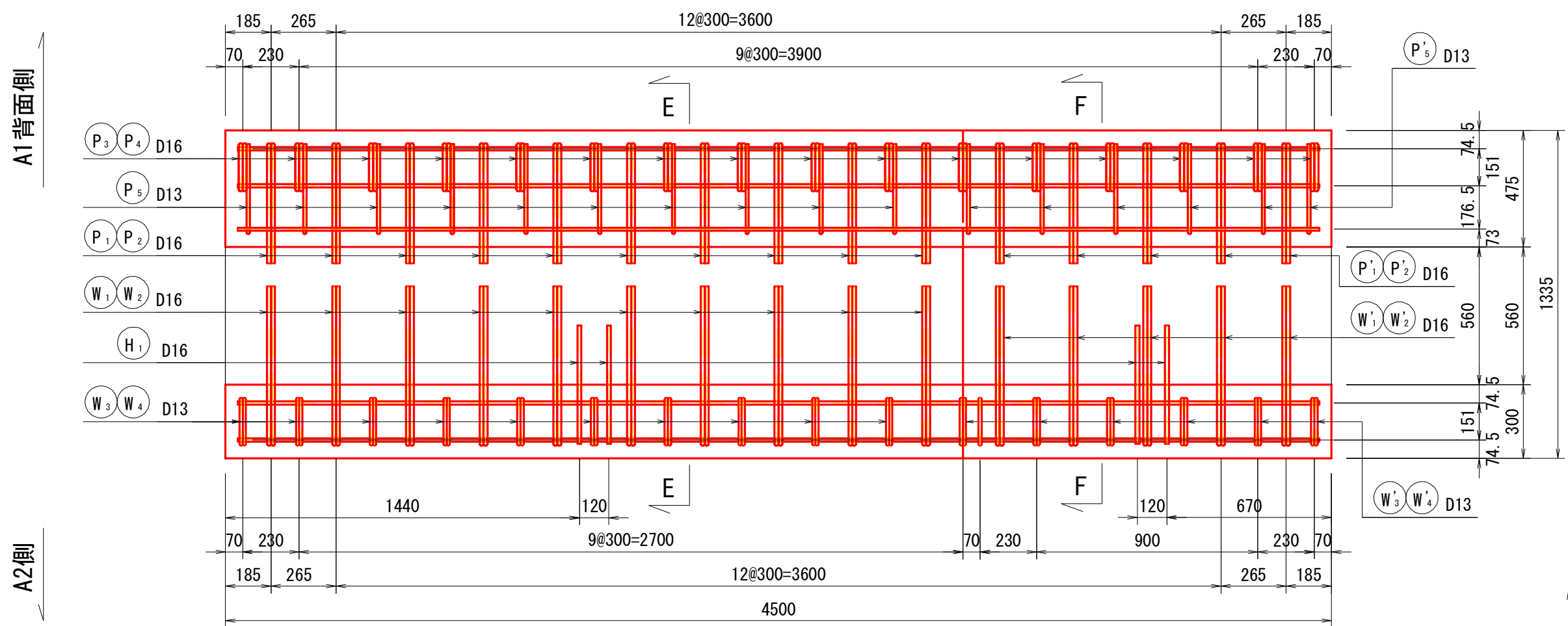
※ 既設上部工は回転により橋台と平行ではないことから、新たに構築する胸壁の前面位置は、現況橋座前面よりA1橋台では560mm、A2橋台では780mm下がった位置をコントロールとする。
現況床版端面との離隔が、20mm以下もしくは75mm以上となる場合は、胸壁位置の見直しを行い、現況床版との離隔が20mm～75mmの範囲に収まるように調整を行うこと。

図面番号	第 5 号	図面総数	17 業
図名	下部工構造図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施工箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

A1橋台胸壁及び縁端拡幅配筋図

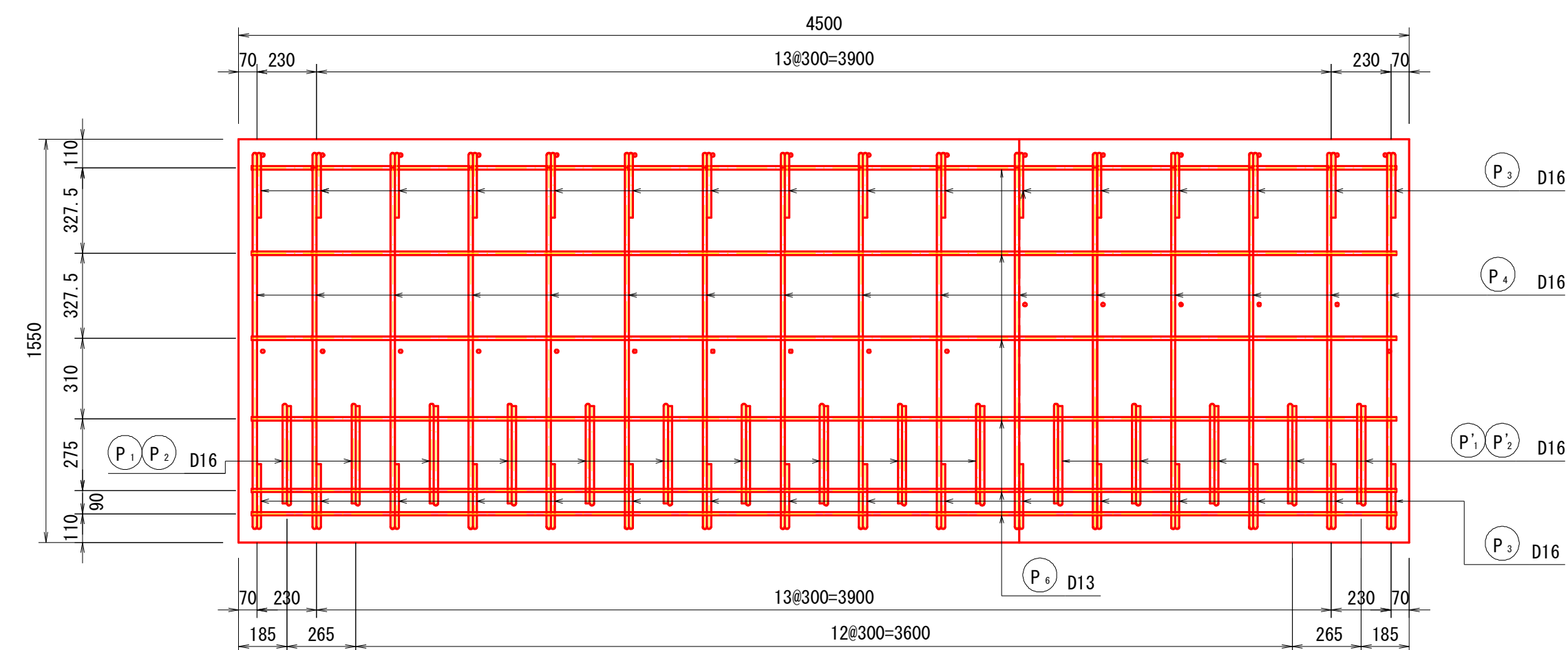
A-A 断面図

S=1:20



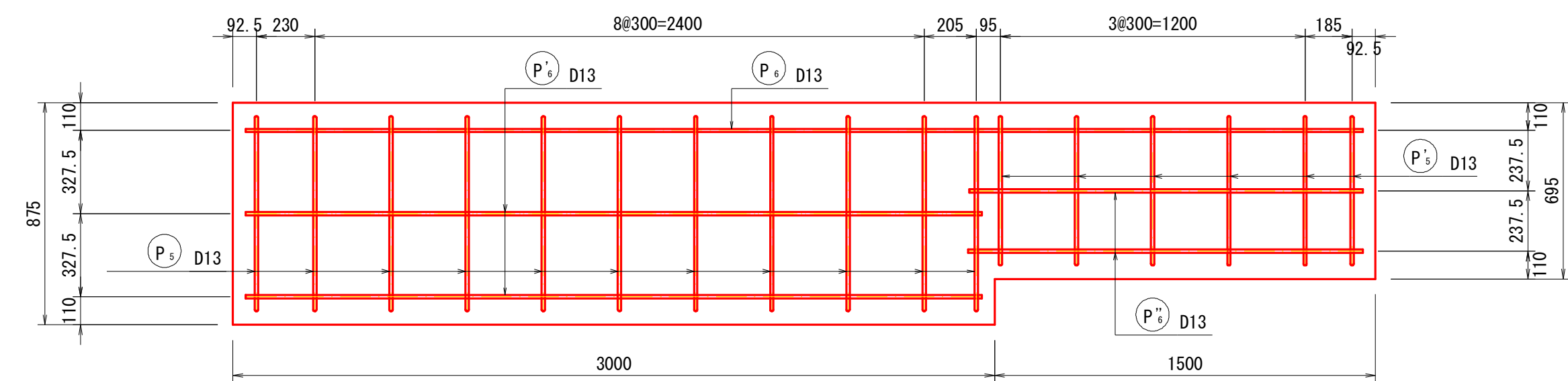
B-B 断面図

S=1:20



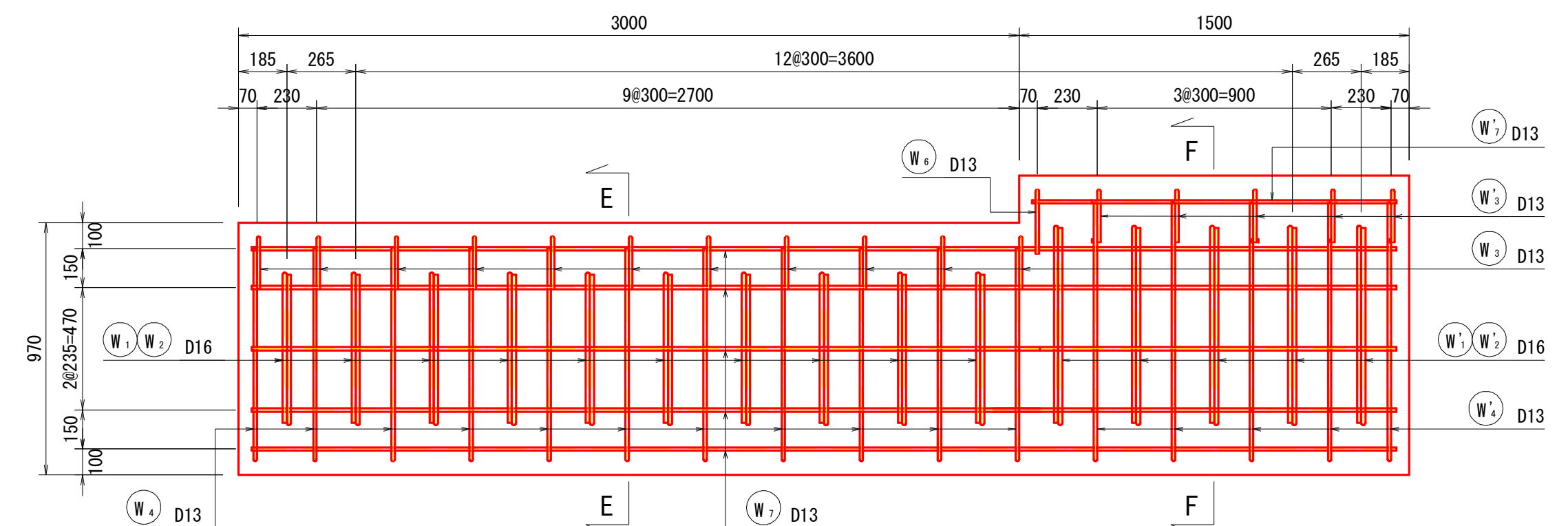
C-C 断面図

S=1:20



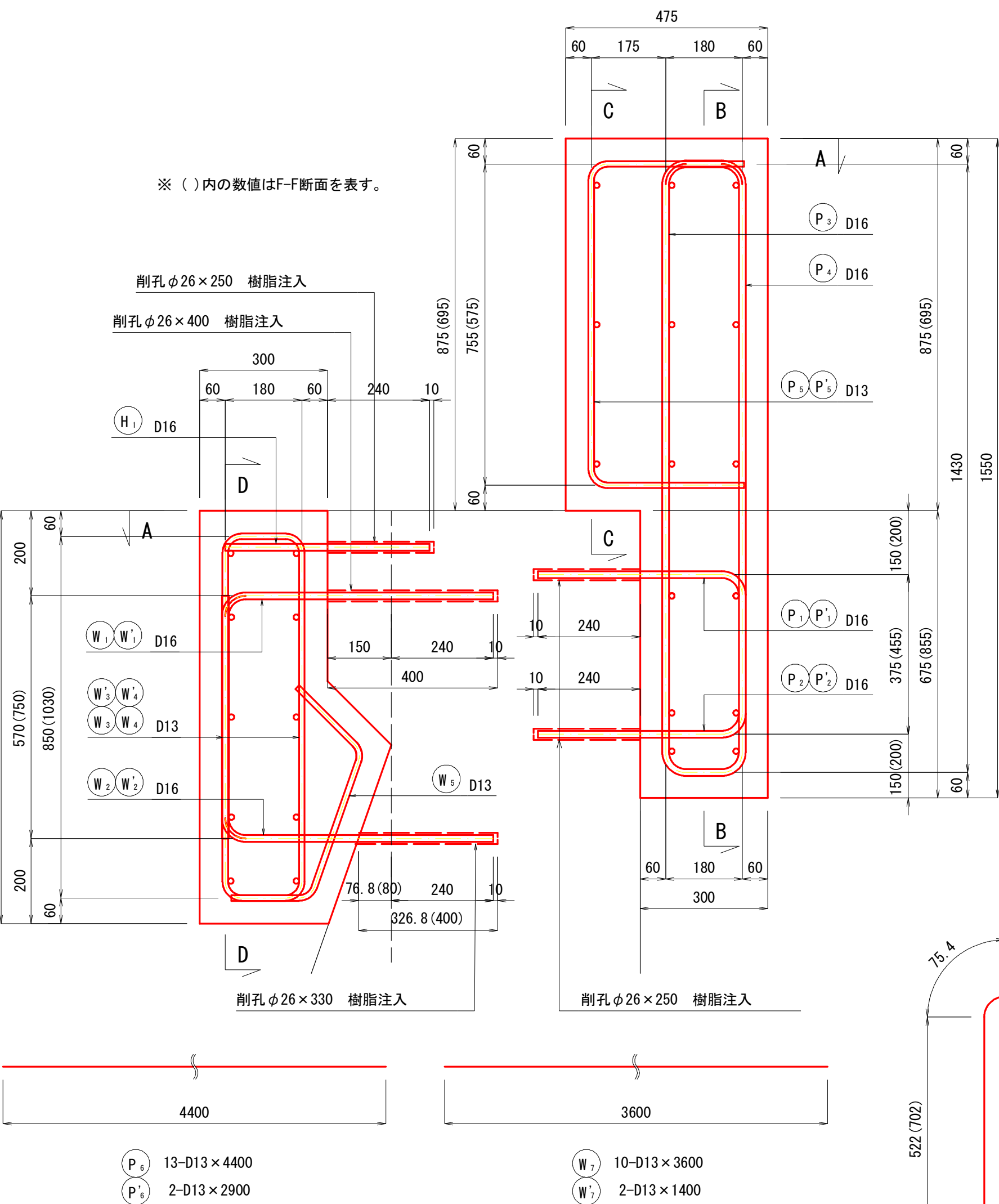
D-D 断面図

S=1:20



E-E (F-F) 断面図

S=1:10



※ () 内の数値はF-F断面を表す。

削孔φ26×250 樹脂注入

削孔φ26×400 樹脂注入

削孔φ26×330 樹脂注入

削孔φ26×250 樹脂注入

削孔φ26×330 樹脂注入

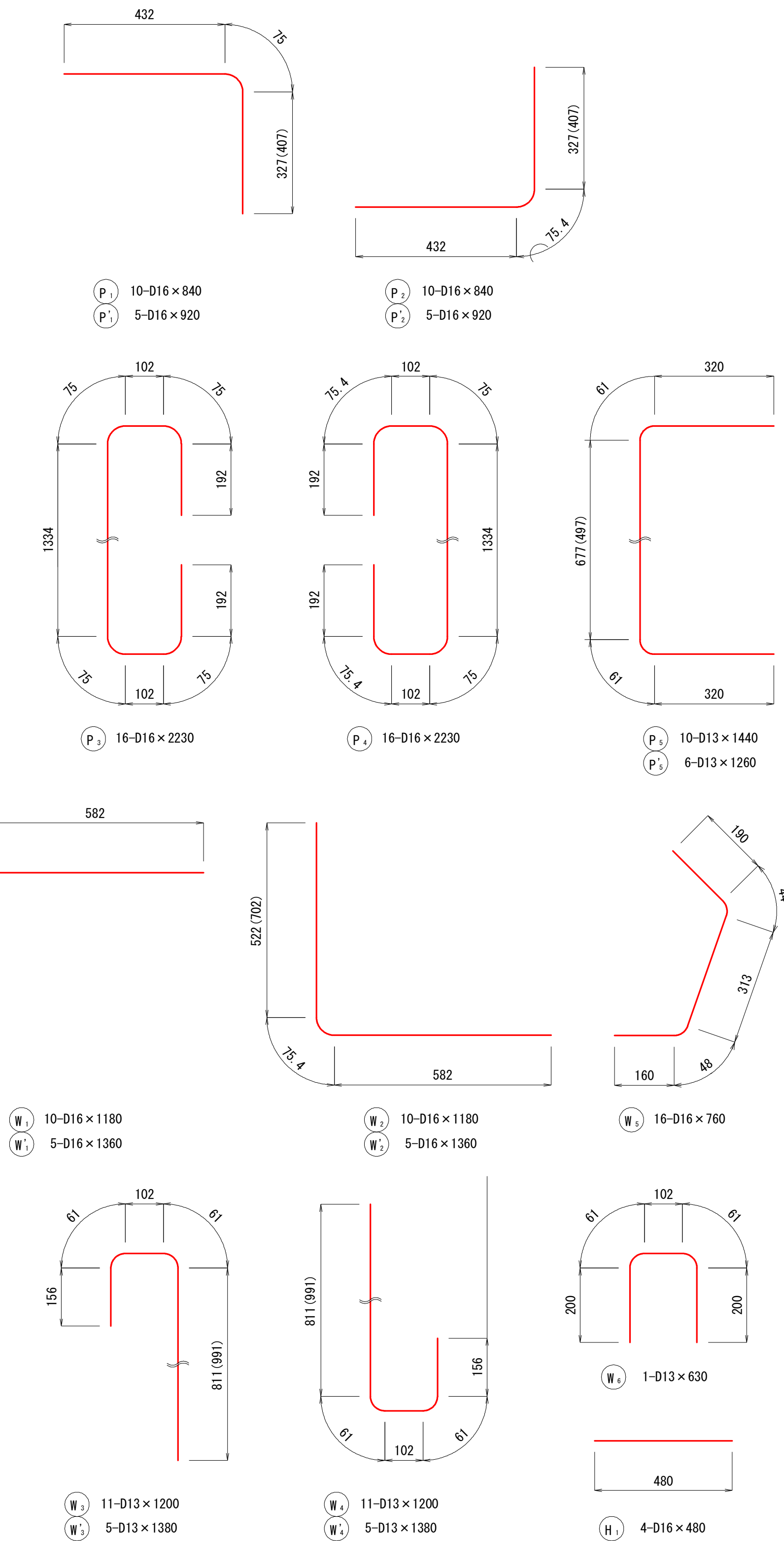
削孔φ26×250 樹脂注入

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質量 (kgf)	摘要
P ₁	D16	840	10	1.56	1.31	13	
P ₁ '	D16	920	5	1.56	1.44	7	
P ₂	D16	840	10	1.56	1.31	13	
P ₂ '	D16	920	5	1.56	1.44	7	
P ₃	D16	2230	16	1.56	3.48	56	
P ₃ '	D16	2230	16	1.56	3.48	56	
P ₄	D13	1440	10	0.995	1.43	14	
P ₄ '	D13	1260	6	0.995	1.25	8	
P ₅	D13	4400	13	0.995	4.38	57	
P ₅ '	D13	2900	2	0.995	2.89	6	
P ₆	D13	1550	2	0.995	1.54	3	kg
D13						88	
D16						152	kg
合 計						240	kg

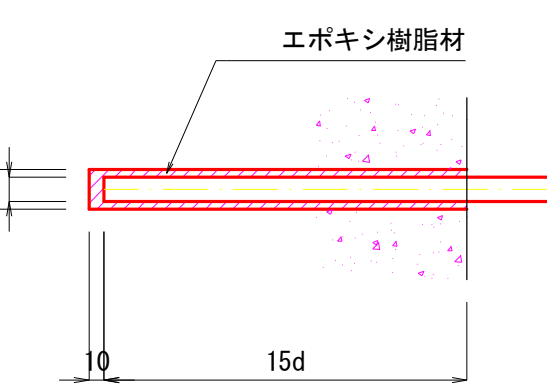
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質量 (kgf)	摘要
W ₁	D16	1180	10	1.56	1.84	18	
W ₁ '	D16	1360	5	1.56	2.12	11	
W ₂	D16	1180	10	1.56	1.84	18	
W ₂ '	D16	1360	5	1.56	2.12	11	
W ₃	D13	1200	11	0.995	1.19	13	
W ₃ '	D13	1380	5	0.995	1.37	7	
W ₄	D13	1200	11	0.995	1.19	13	
W ₄ '	D13	1380	5	0.995	1.37	7	
W ₅	D13	760	16	0.995	0.76	12	
W ₅ '	D13	630	1	0.995	0.63	1	
W ₆	D13	3600	10	0.995	3.58	36	
W ₆ '	D13	1400	1	0.995	1.39	1	
H ₁	D16	480	4	1.56	0.75	3	仮定ジョッキ用補強鉄筋
D1 3						90	kg
D16						61	kg
合 計						151	kg

鉄筋加工図

S=1:10



アンカー部詳細図



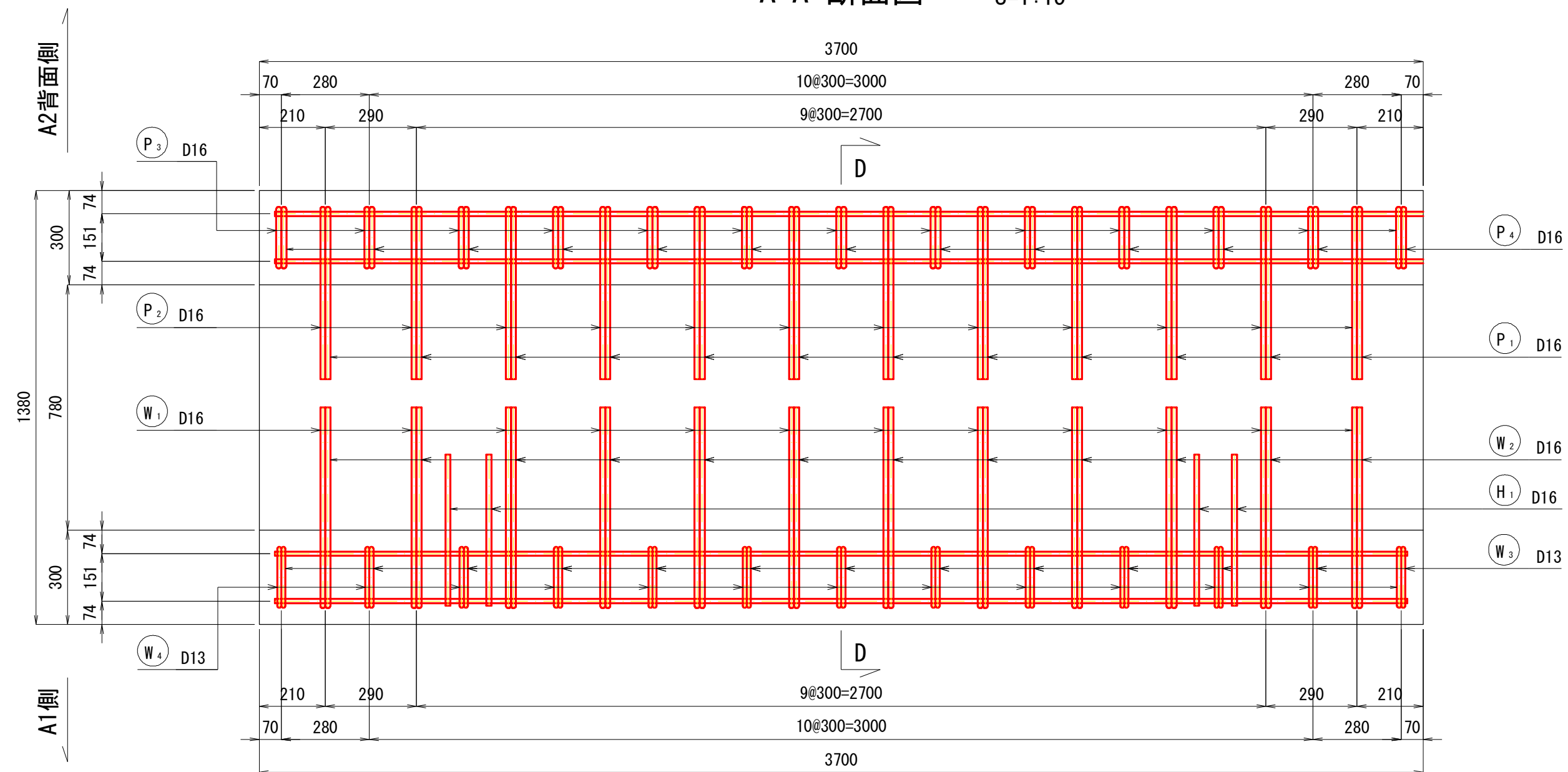
S=1:5

図面番号	第 6 号	図面総数	17 葉
図名	A1橋台胸壁及び縁端拡幅配筋図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課	設	製	徳島県 神山町
長	計	図	

A2橋台胸壁及び縁端拡幅配筋図

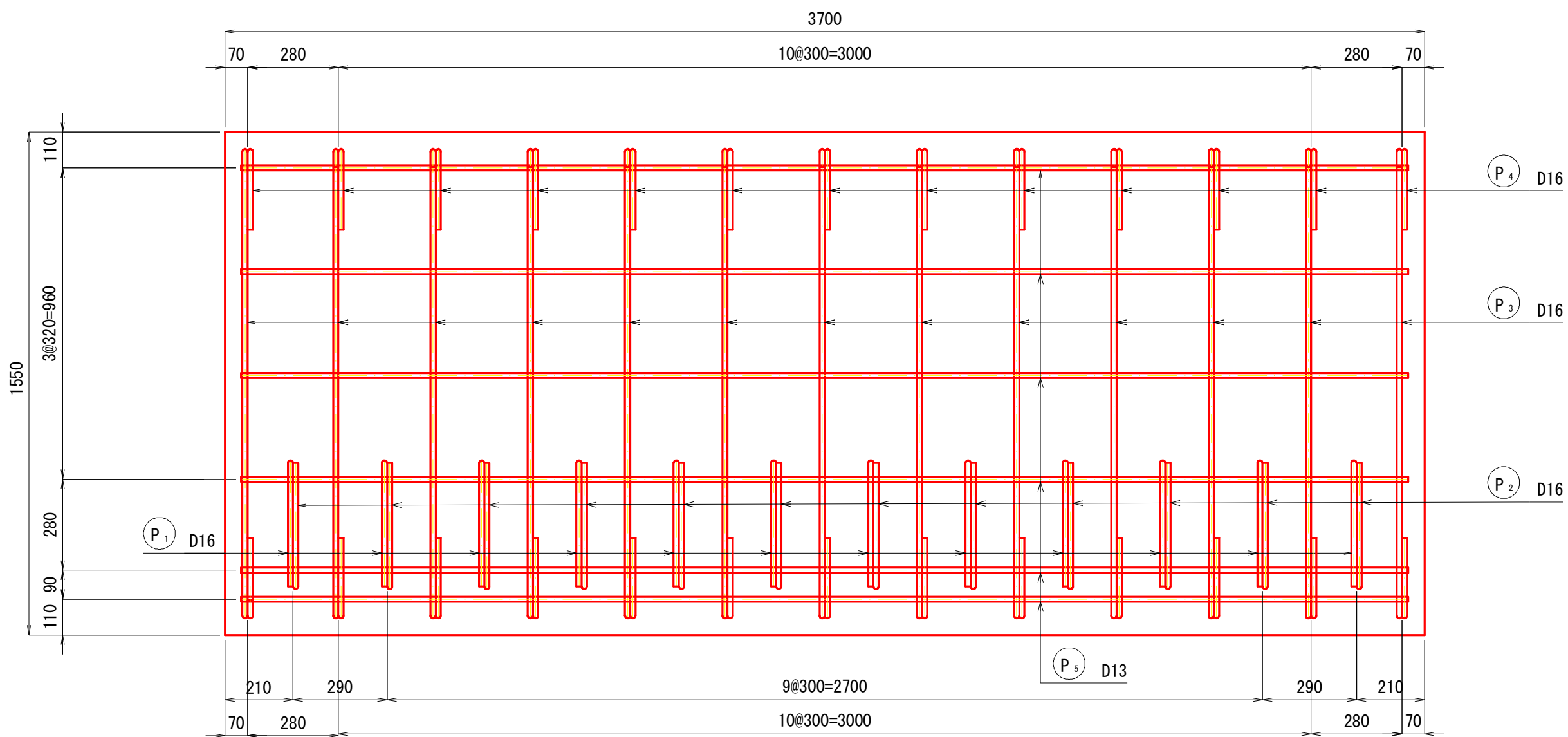
A-A 断面図

S=1:15



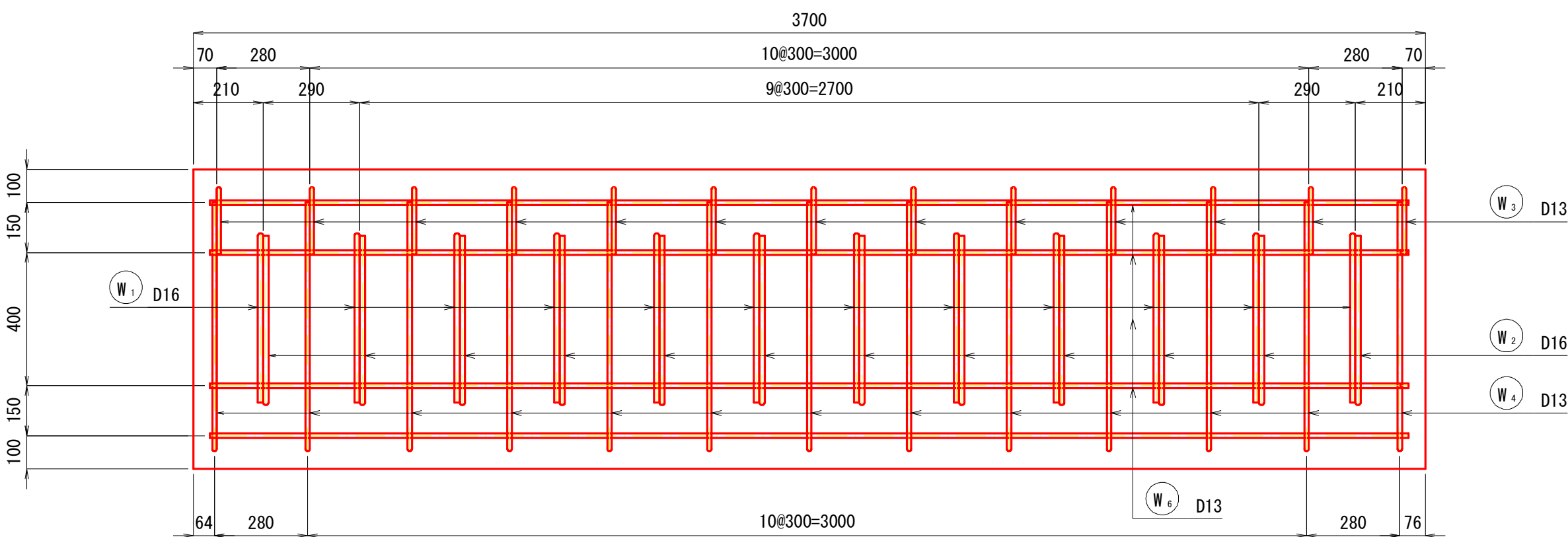
B-B 断面図

S=1:15



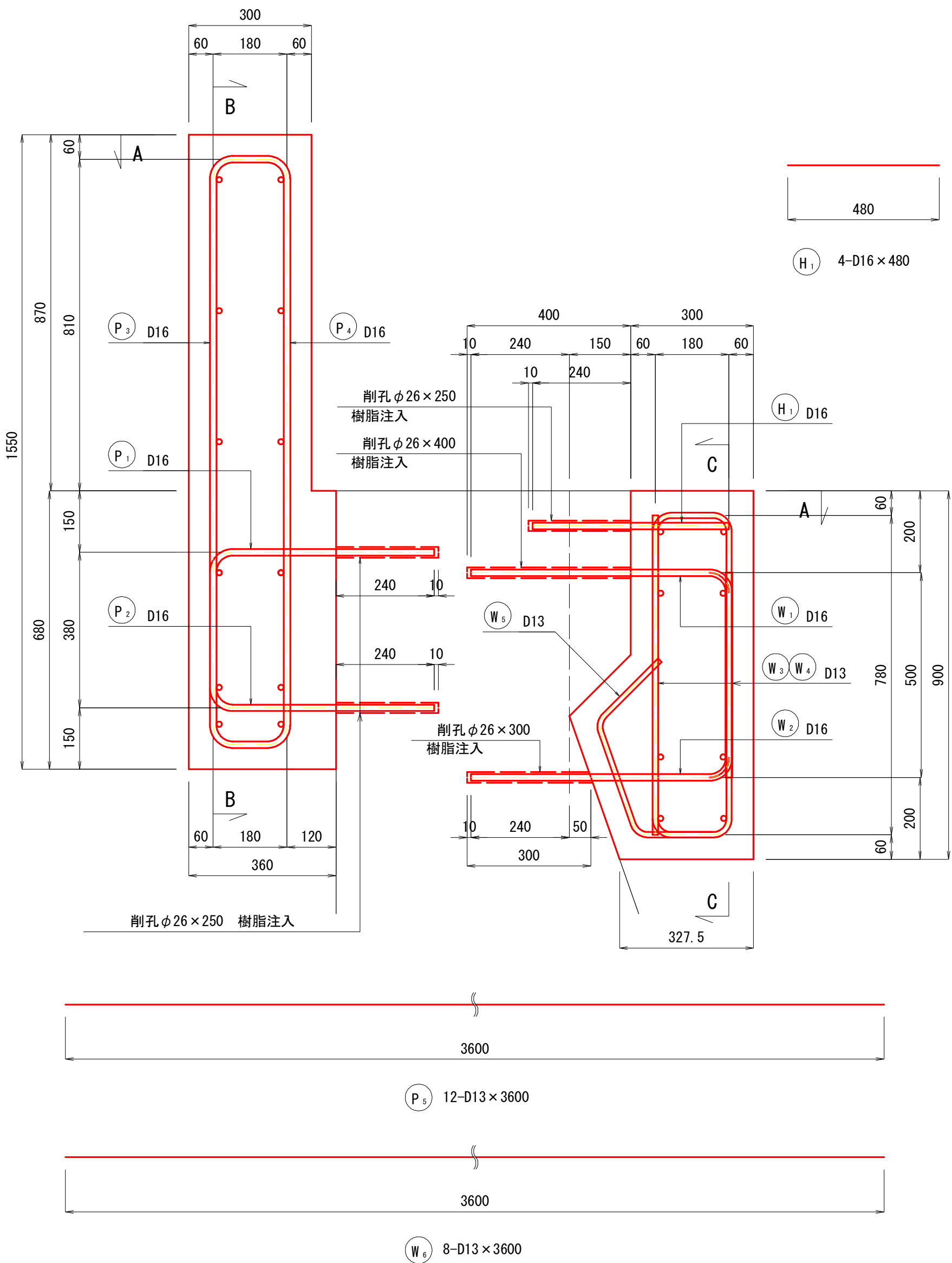
C-C 断面図

S=1:15



D-D 断面図

S=1:10

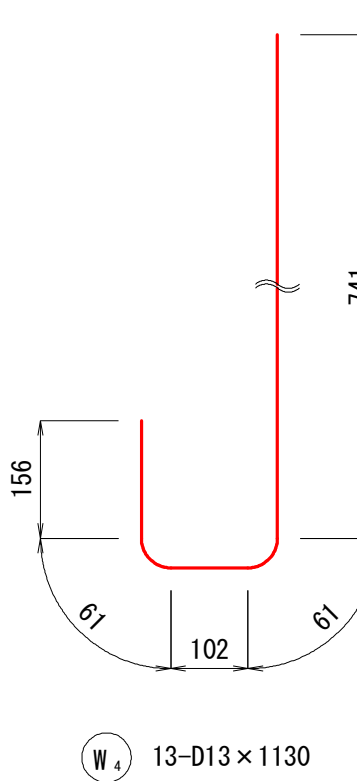
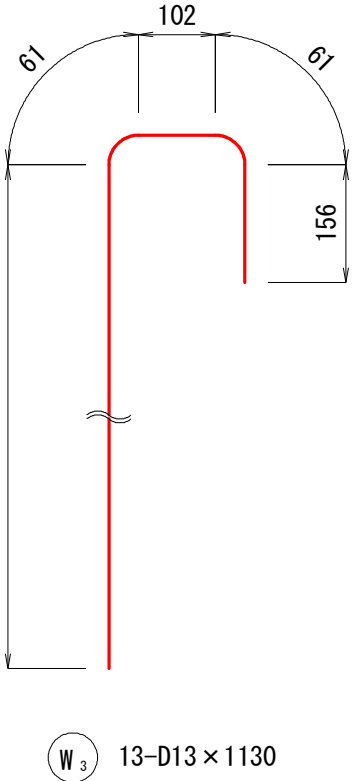
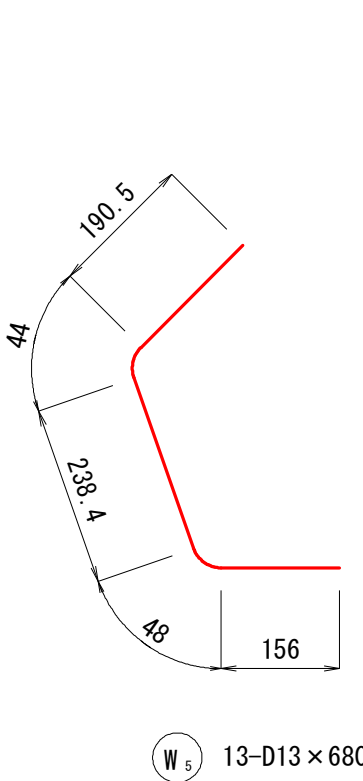
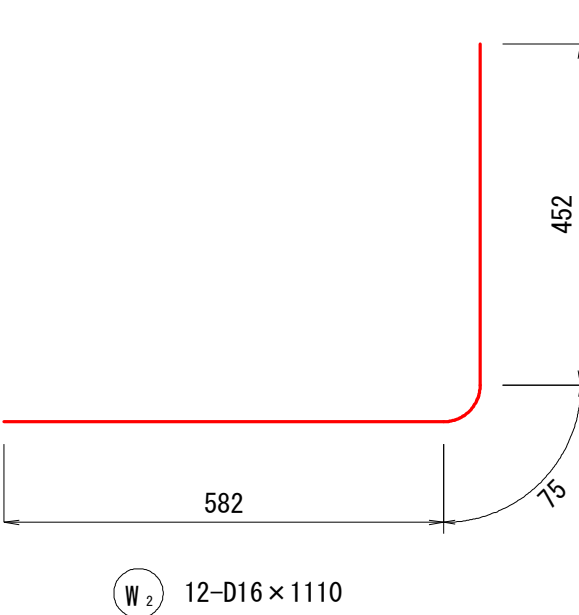
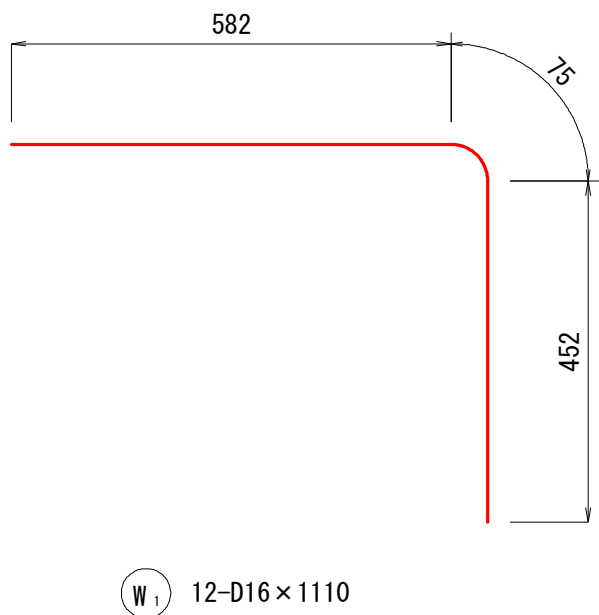
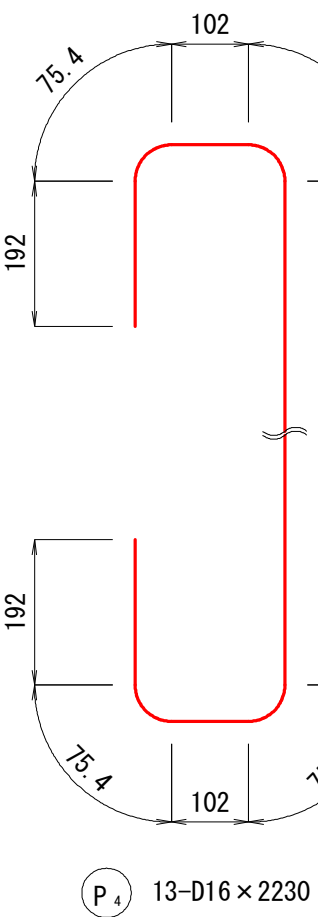
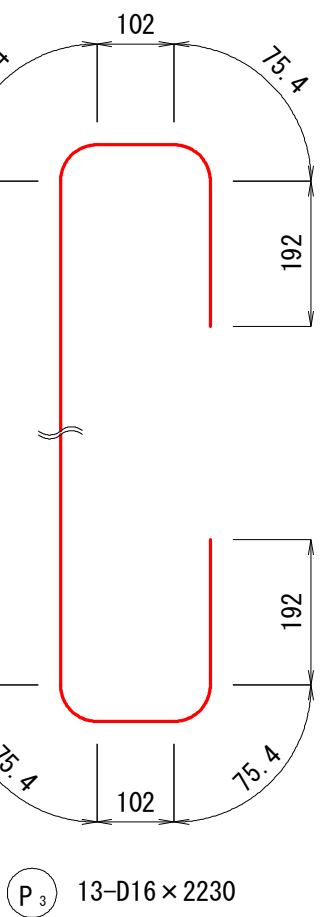
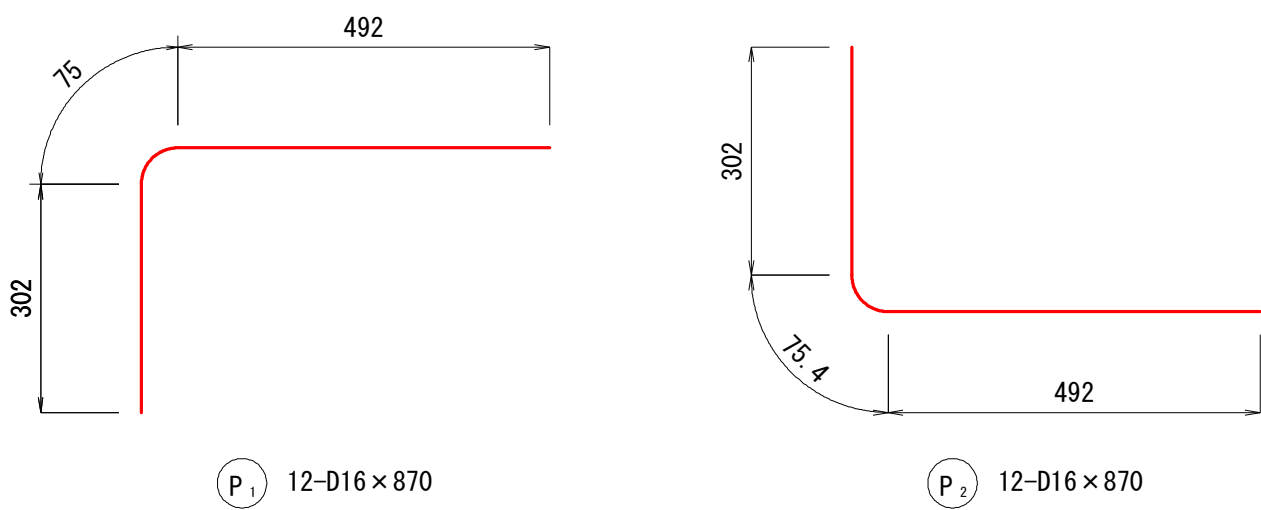


記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質量 (kgf)	摘要
(P ₁)	D16	870	12	1.56	1.36	16	
(P ₂)	D16	870	12	1.56	1.36	16	
(P ₃)	D16	2200	13	1.56	3.43	45	
(P ₄)	D16	2200	13	1.56	3.43	45	
(P ₅)	D13	3600	12	0.995	3.58	43	
						D1 3	43 kg
						D16	122 kg
						合 計	151 kg

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質量 (kgf)	摘要
(W ₁)	D16	1110	12	1.56	1.73	21	
(W ₂)	D16	1110	12	1.56	1.73	21	
(W ₃)	D13	1130	13	0.995	1.12	15	
(W ₄)	D13	1130	13	0.995	1.12	15	
(W ₅)	D13	680	13	0.995	0.68	9	
(W ₆)	D13	3600	8	0.995	3.58	29	
(H ₁)	D16	480	4	1.56	0.75	3	反発ジャッキ用補強鉄筋
						D1 3	68 kg
						D16	45 kg
						合 計	113 kg

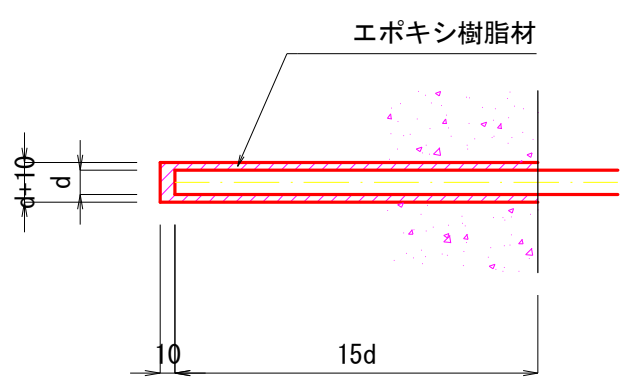
鉄筋加工図

S=1:10



アンカー部詳細図

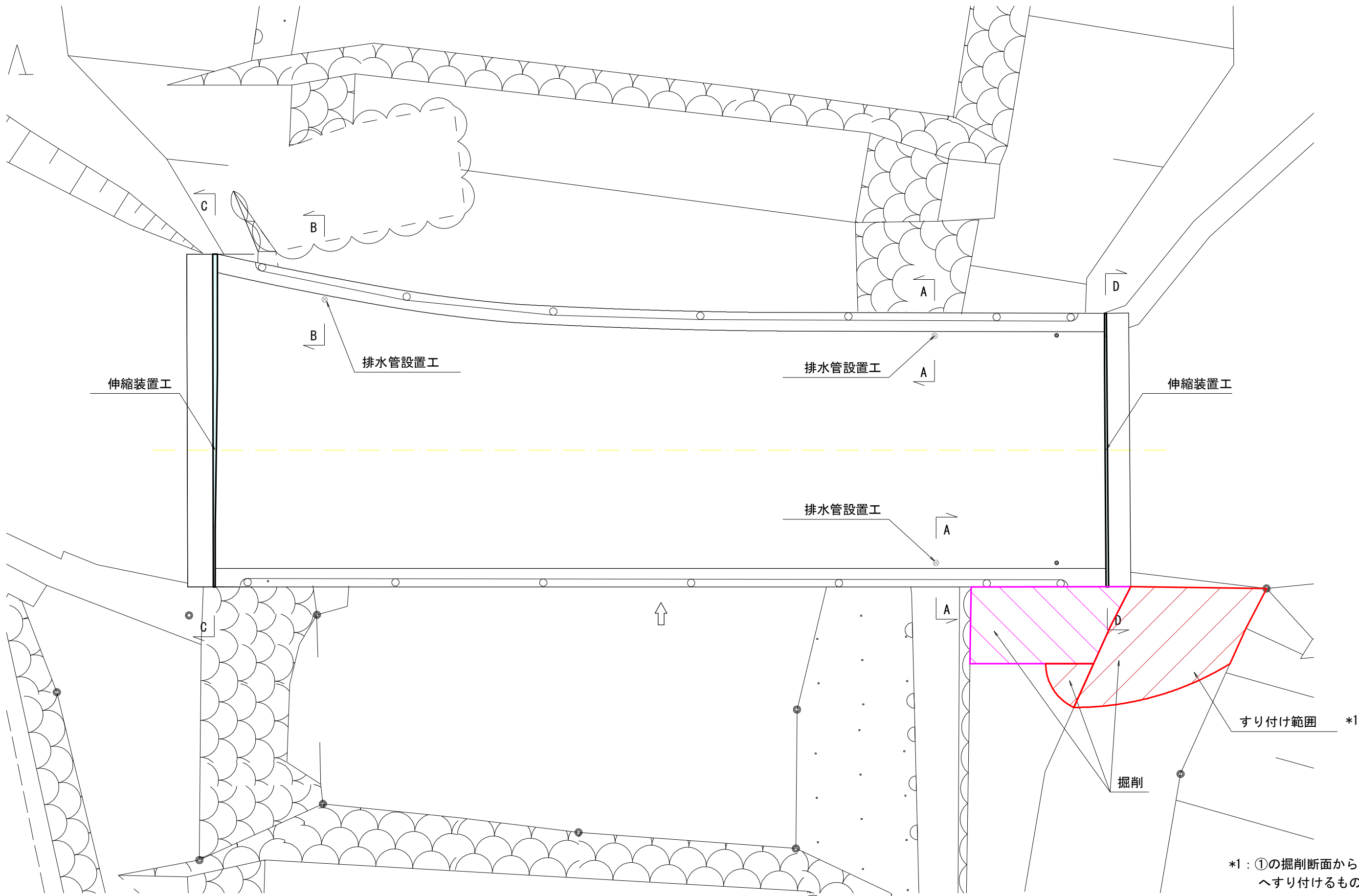
S=1:5



図面番号	第 7 号	図面総数	17 葉
図名	A2橋台胸壁及び縁端拡幅配筋図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設 計	製 図	徳島県 神山町

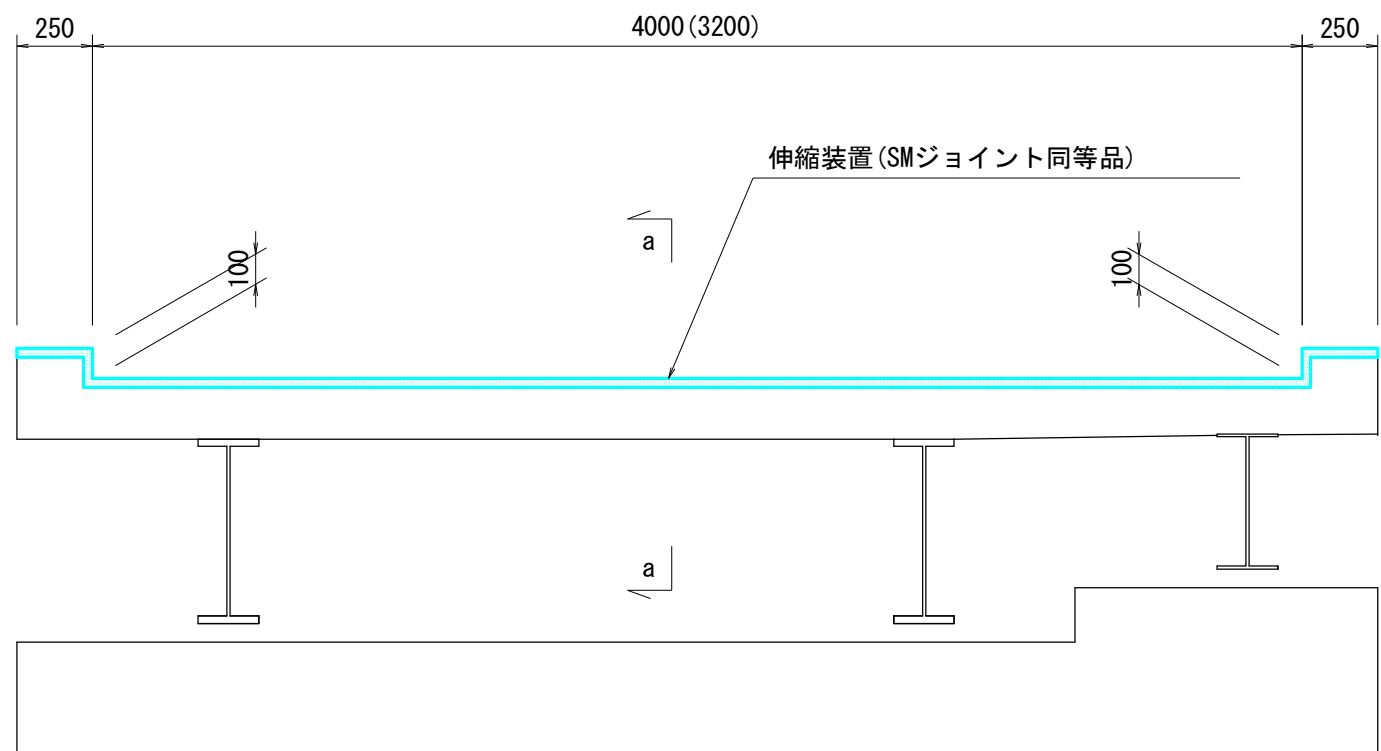
伸縮装置工、排水管取替工及び雑工図

平面図 S=1:50



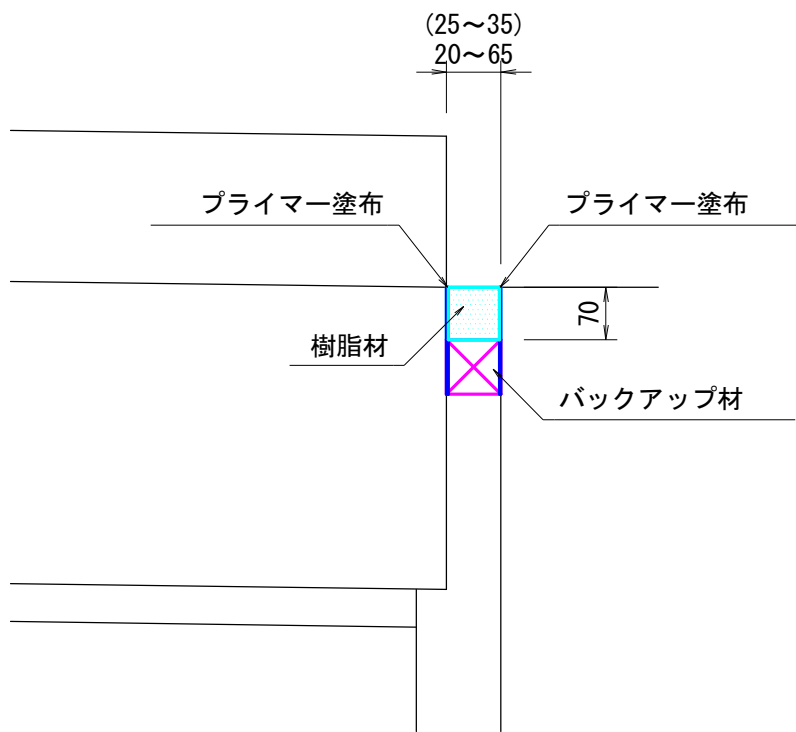
伸縮装置工図

C-C(D-D)断面図 S=1:25



伸縮装置性能表			
	伸縮量	最大遊間量	標準施工厚
SMジョイント	60mm以下	75mm以下	170mm以下

a-a断面図 S=1:5

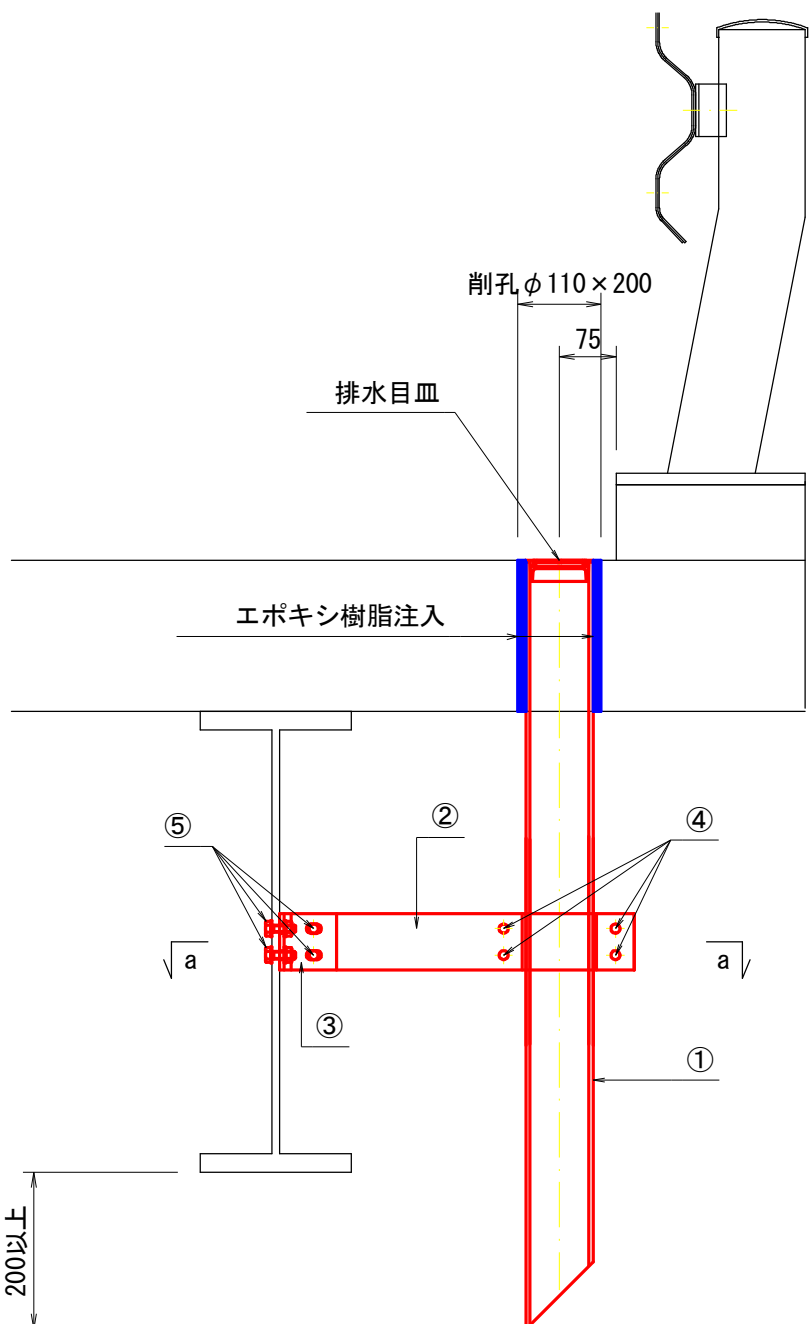


※ () 内の数値はD-D断面を表す。

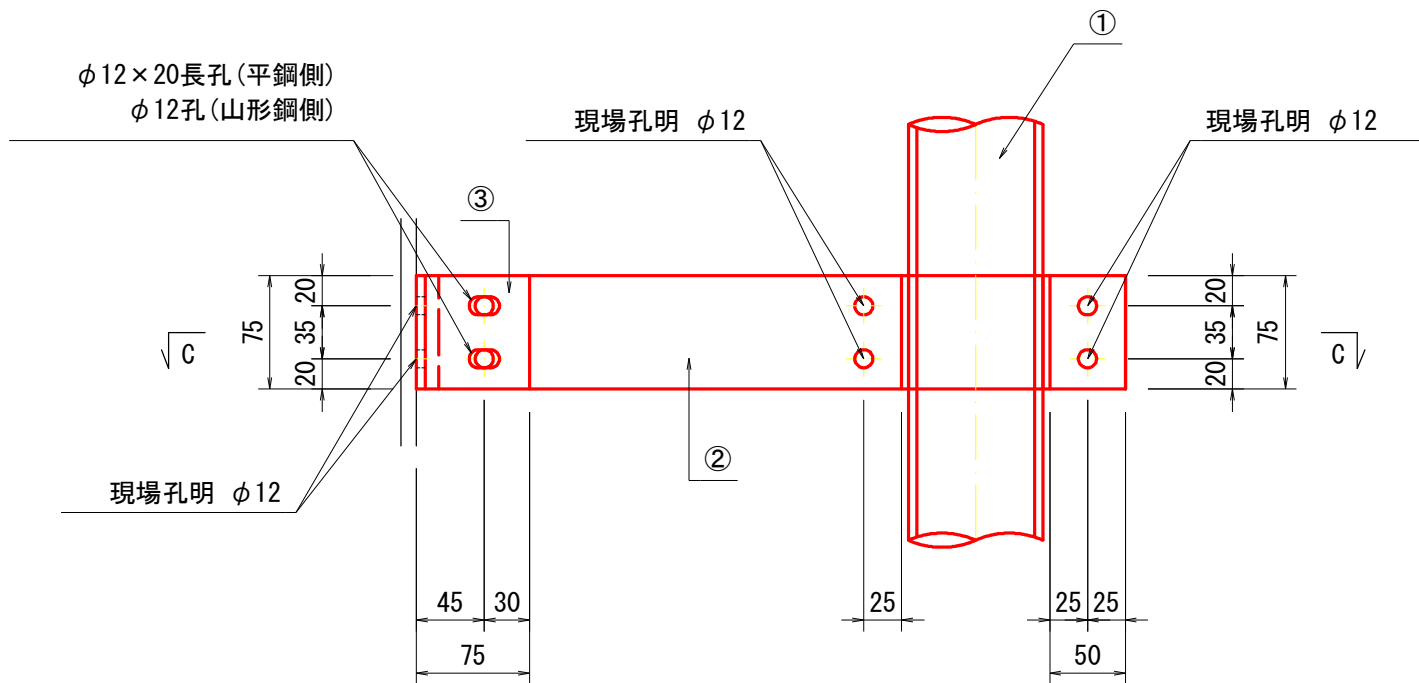
※ 既設上部工は回転により橋台と平行ではないことから、新たに構築する胸壁の前面位置は、現況橋座前面よりA1橋台では560mm、A2橋台では780mm下がった位置をコントロールとする。
現況床版端面との離隔が、20mm以下もしくは75mm以上となる場合は、胸壁位置の見直しを行い、現況床版との離隔が20mm～75mmの範囲に収まるように調整を行うこと。

排水管取替工図

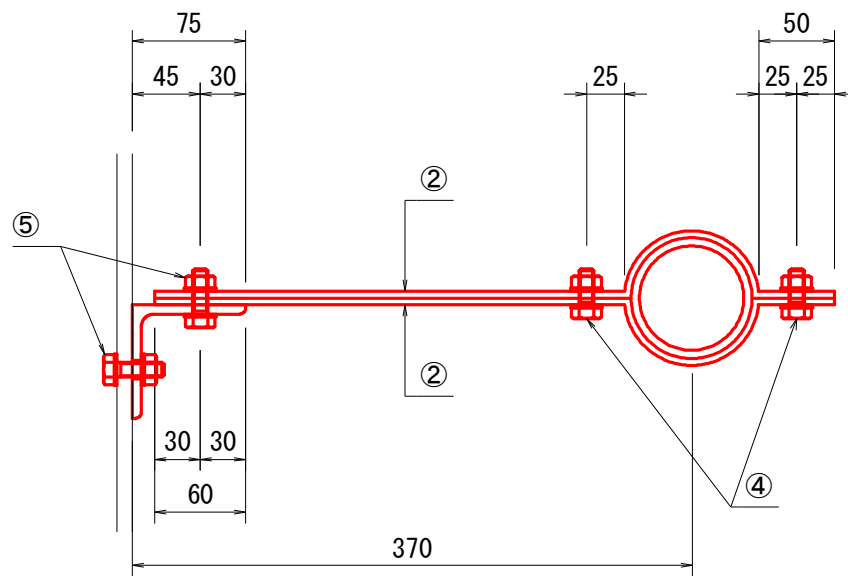
A-A(B-B)断面図 S=1:10



支持金物詳細図 S=1:5



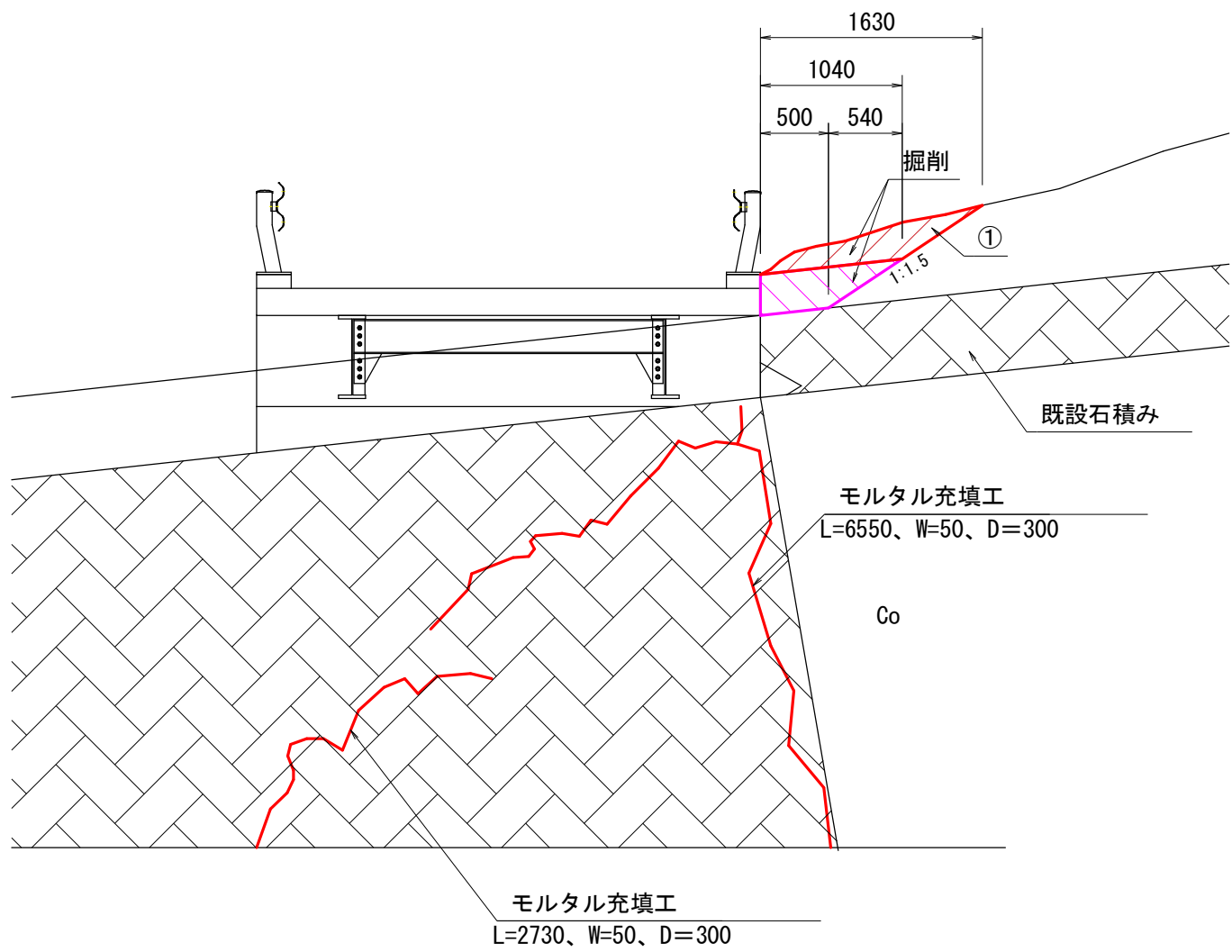
a-a断面図



- ① 2-VP φ75×970
(1-VP φ75×650)
- ② 4-PL 75×4.5×495
(2-PL 75×4.5×275)
- ③ 1-L 75×75×6×75
- ④ 12-B.N.2W W×25₅₀
- ⑤ 12-B.N.2W W×32₅₀
- ⑥ 3-排水目皿 呼び径75 (ニツタリめつき仕上げ)

注) () 内の数値はB-B断面を表す。

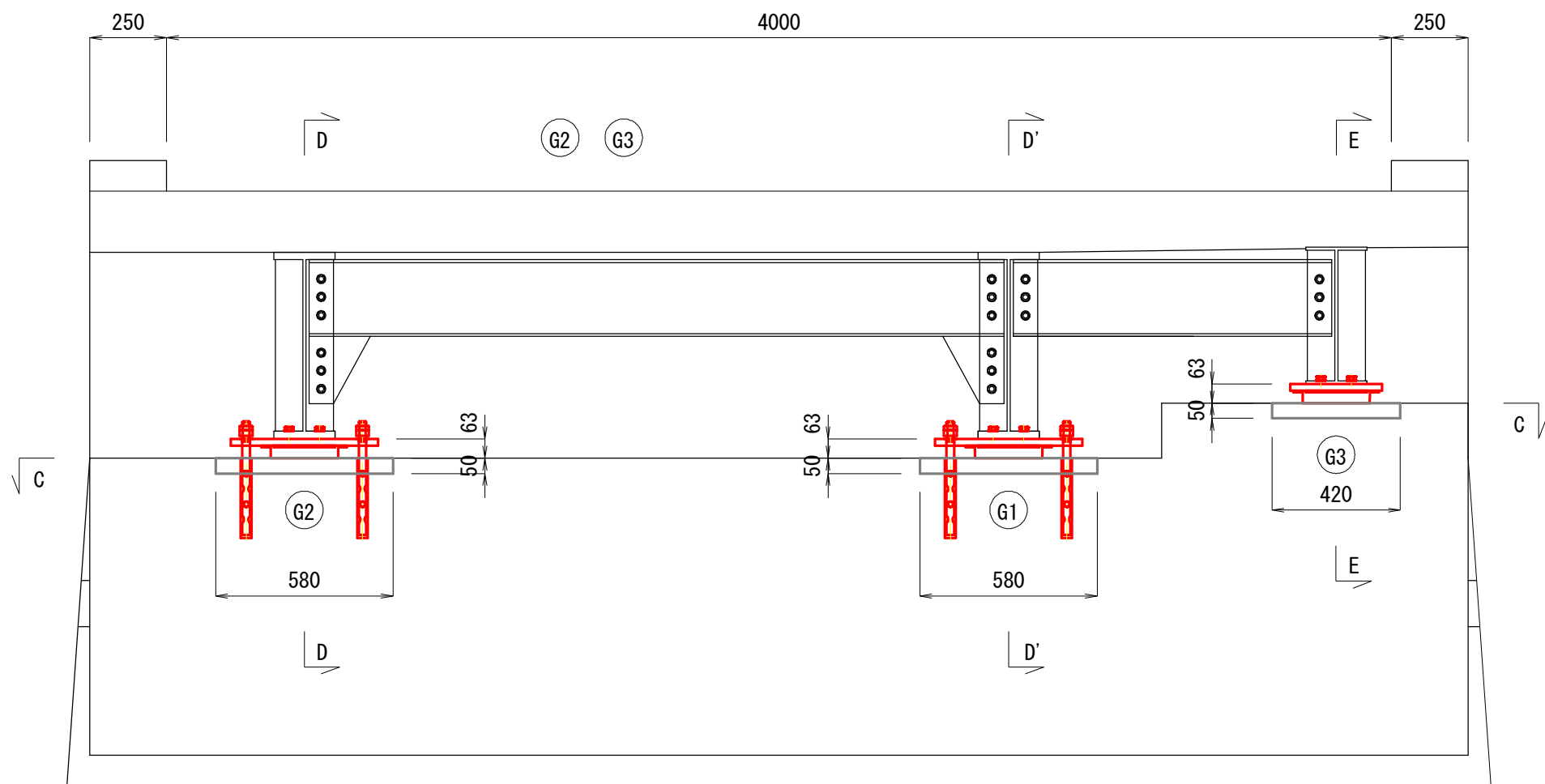
雑工図 S=1:50



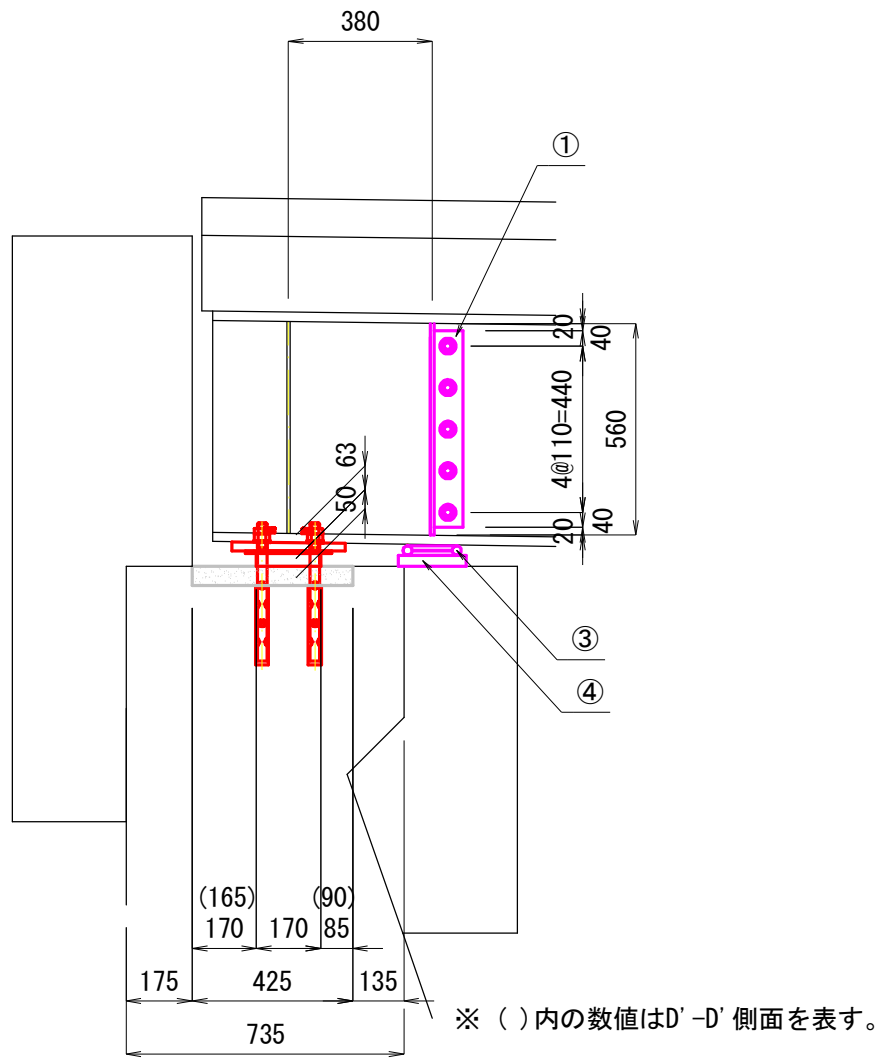
図面番号	第 8 号	図面総数	17 葉
図名	伸縮装置工、排水管取替工及び雑工図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設 計	製 図	徳島県 神山町

支承工構造図（その１）

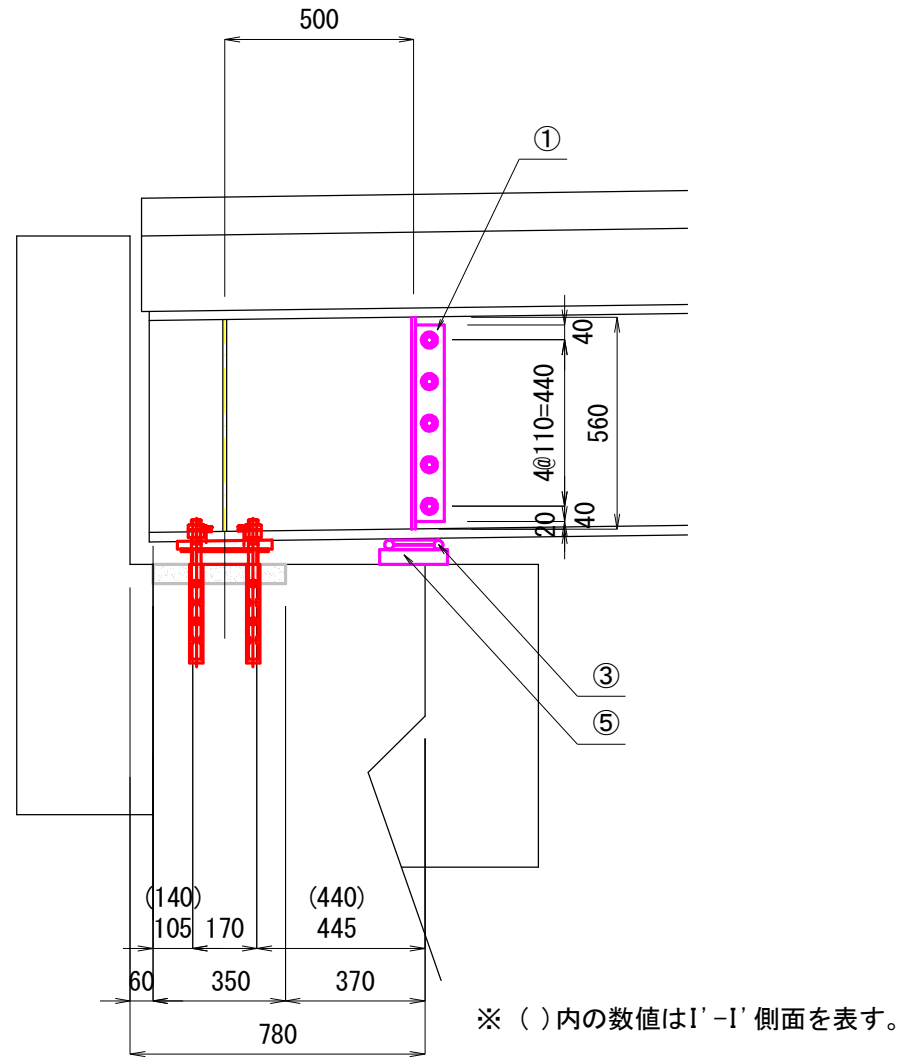
A-A 断面図 S=1:20



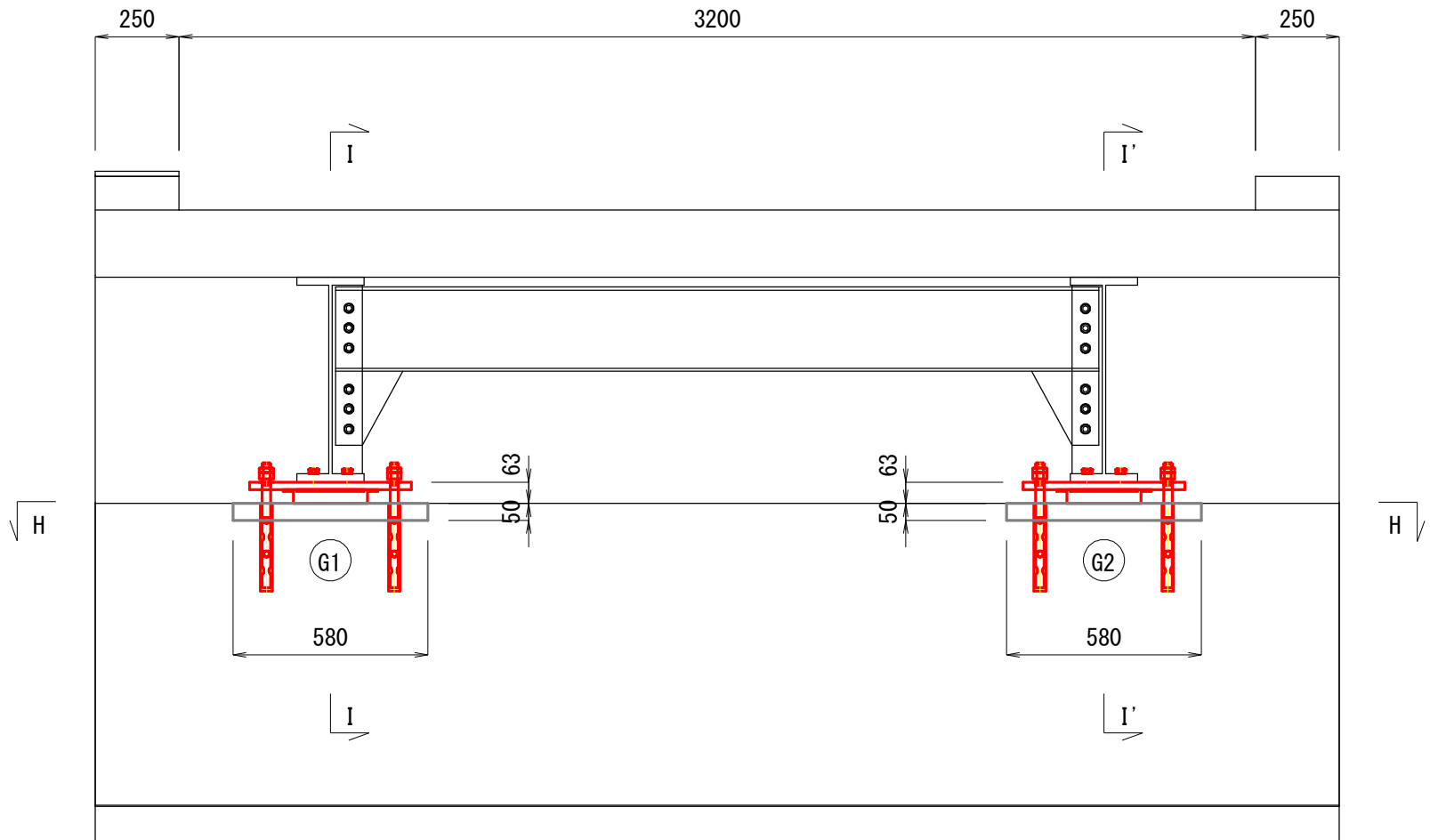
D-D (D'-D') 側面図 S=1:20



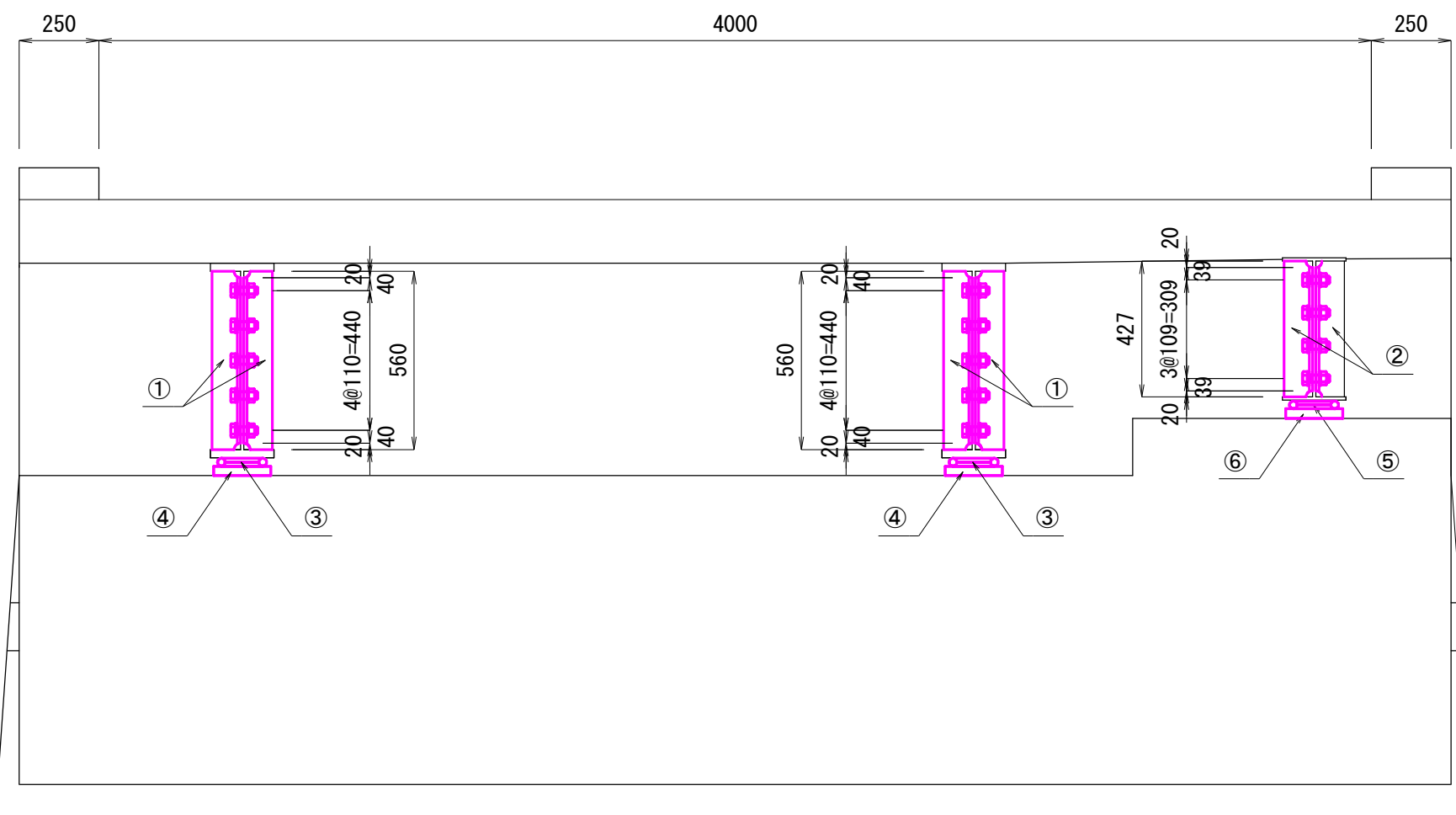
I-I (I'-I') 側面図 S=1:20



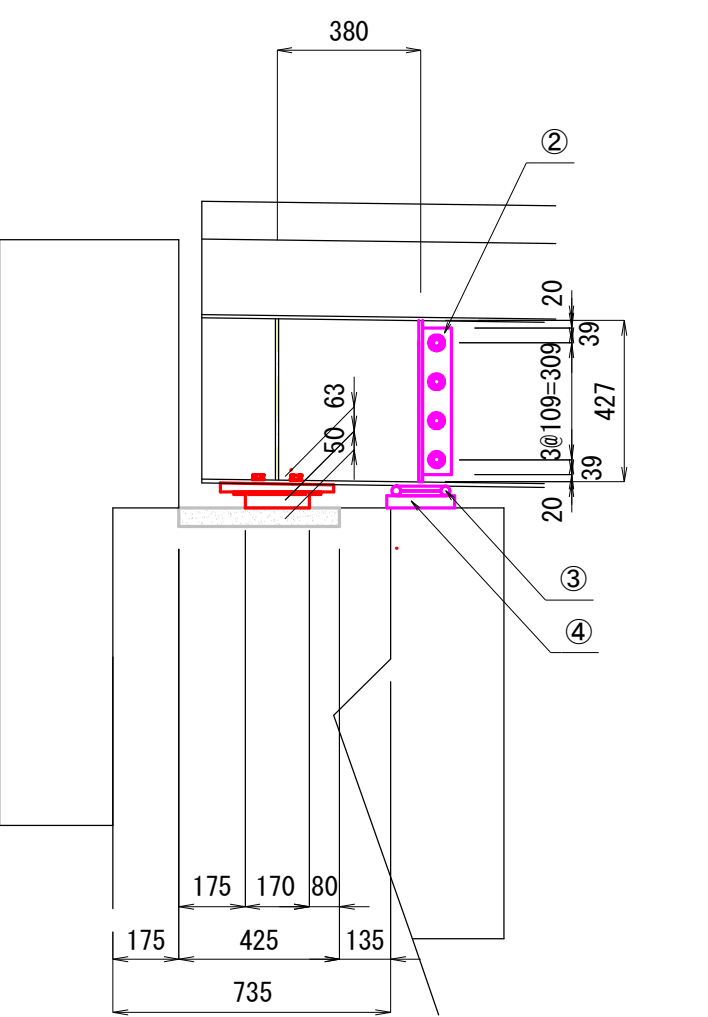
F-F 断面図 S=1:20



B-B 断面図 S=1:20

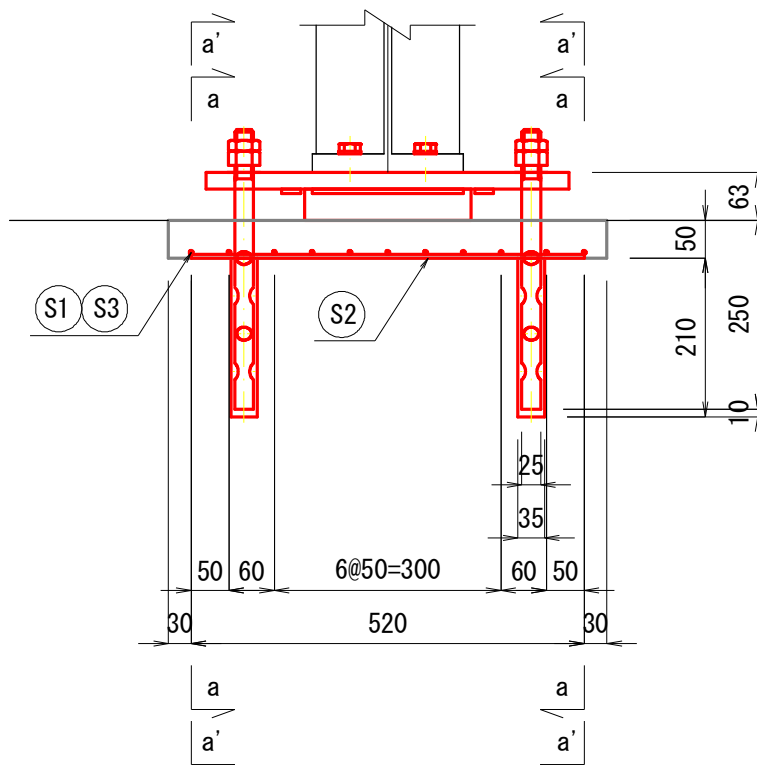


E-E 側面図 S=1:20

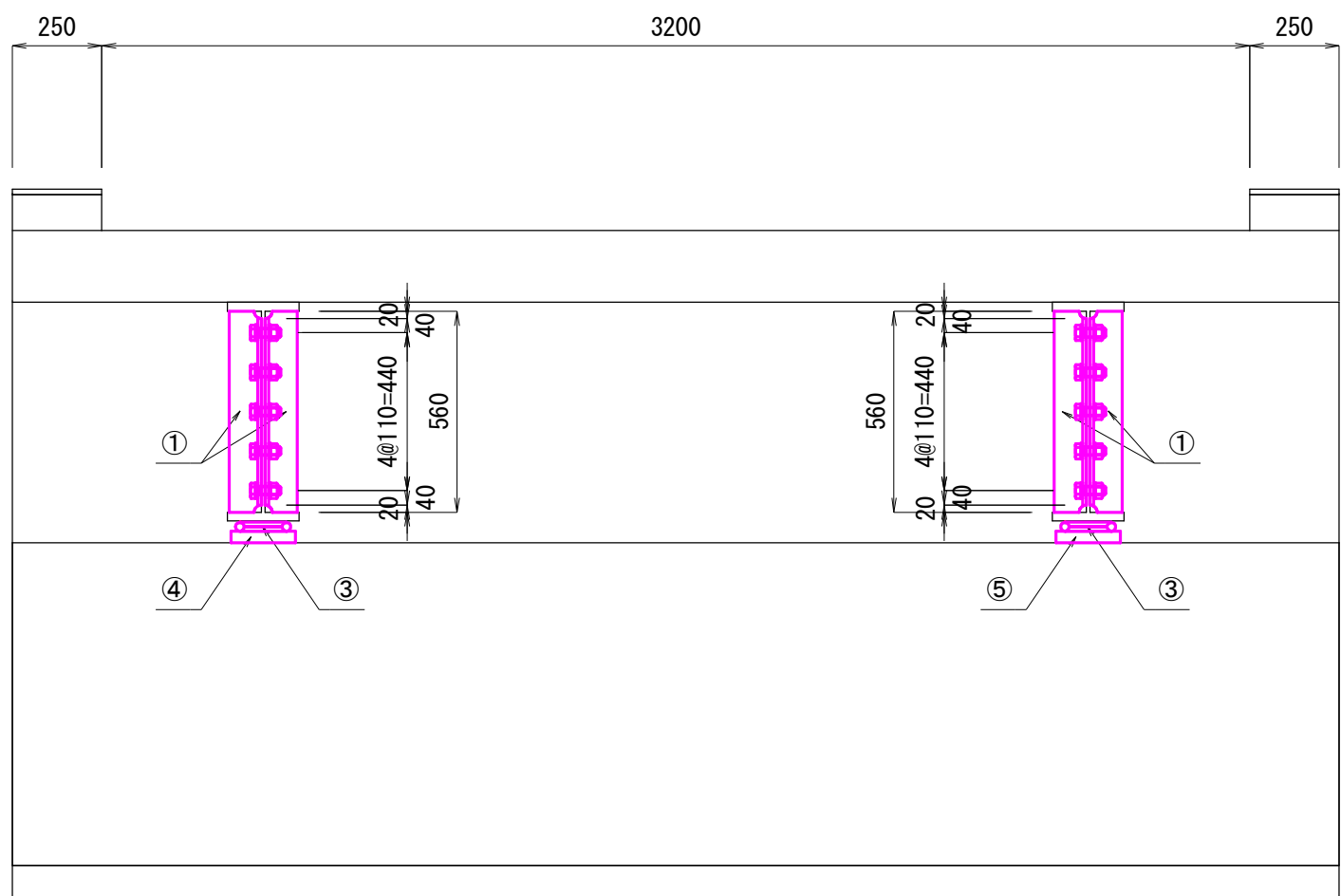


沓座詳細図 S=1:10

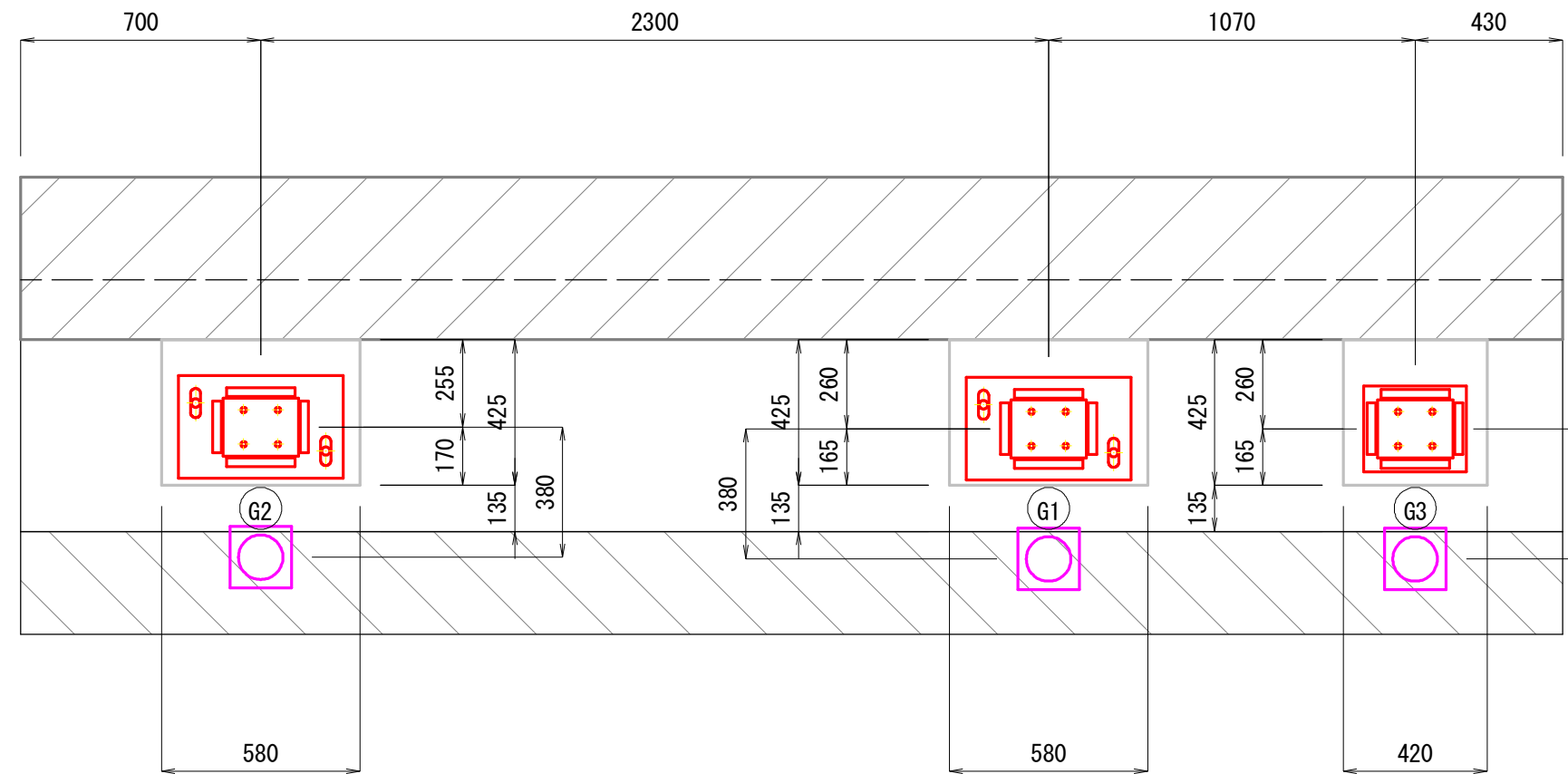
A1、A2橋台 (G1、G2)



G-G 断面図 S=1:20

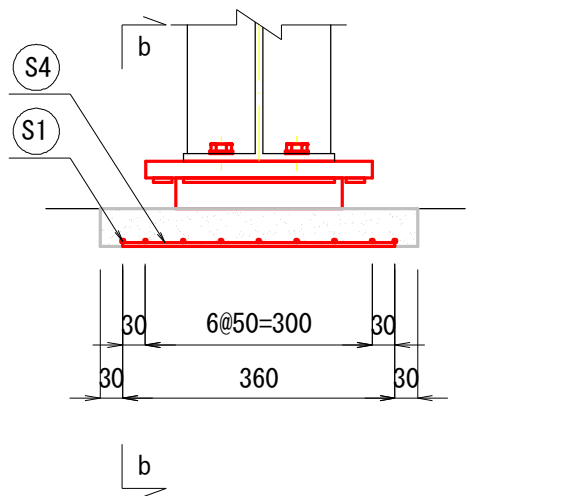


C-C 断面図 S=1:20

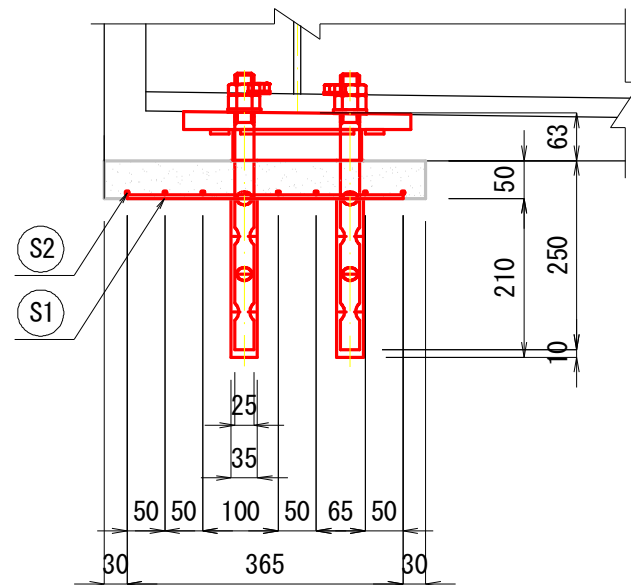


沓座詳細図 S=1:10

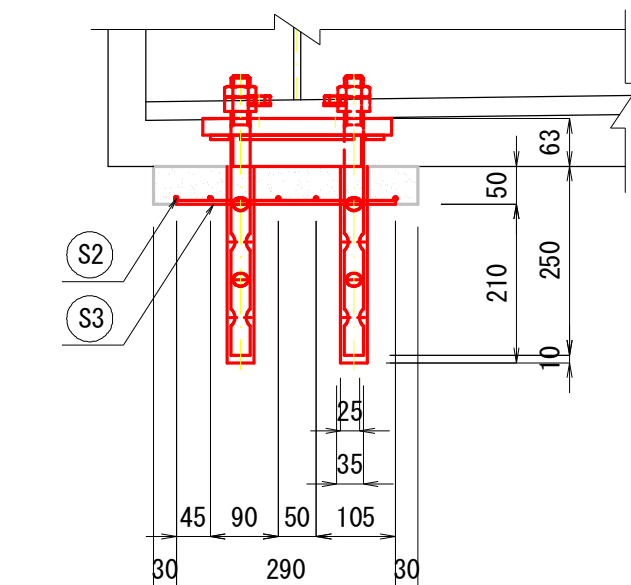
A1橋台 (G3)



a-a



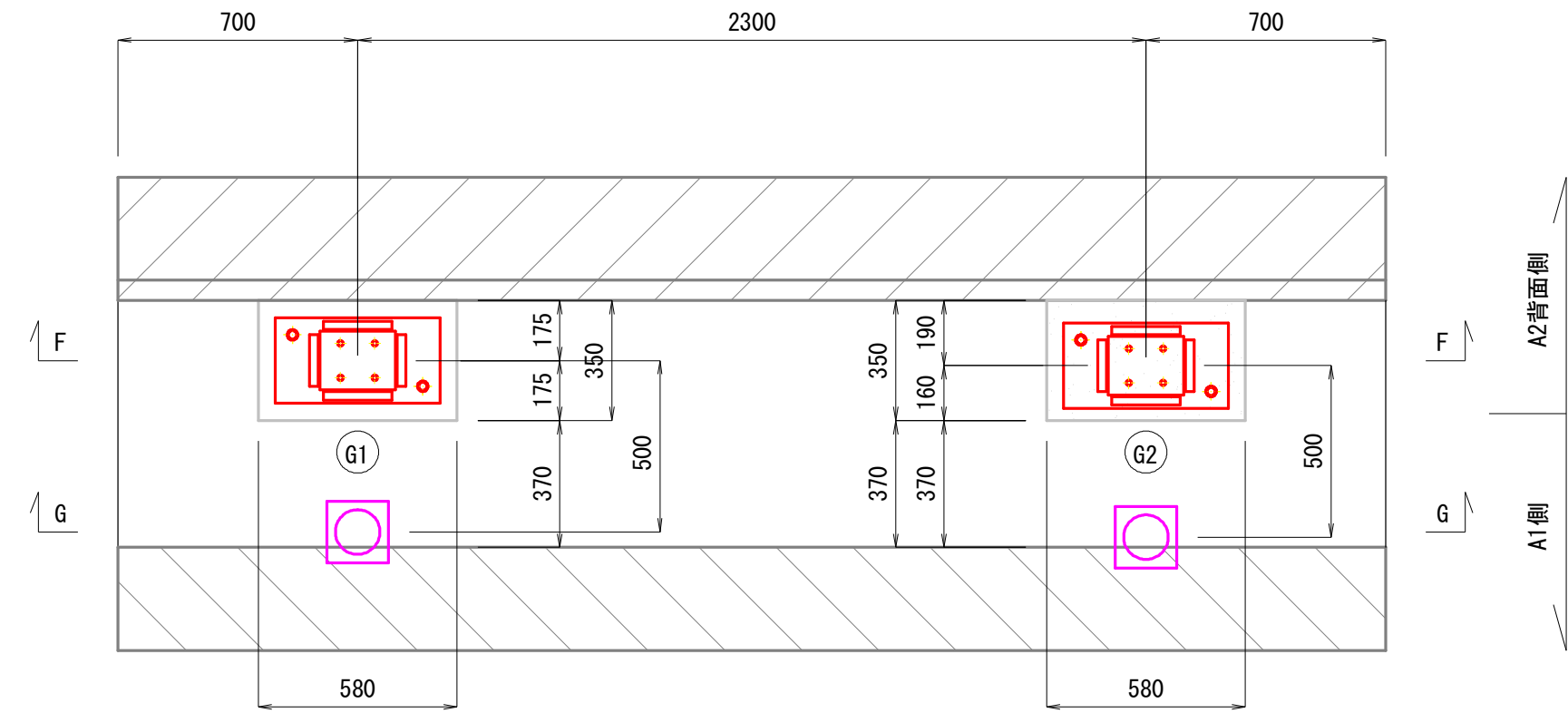
a'-a'



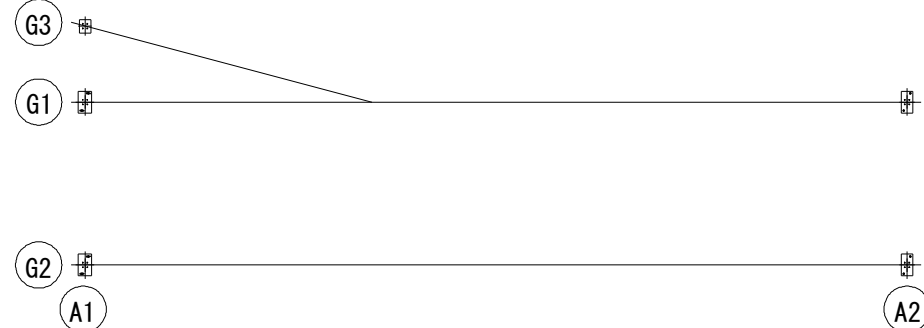
- ① 8-L 90×90×10×560
- 20-HTB M20×55
- ② 2-L 90×90×10×427
- 4-HTB M20×55
- ③ 5-フラットジャッキ FJ-10
- ④ 3-PL 180×180×30
- ⑤ 2-PL 180×180×40

※ 施工後、①②は残置、③④⑤は撤去

H-H 平面図 S=1:20



配置図



※ a-aはA1橋台を、a'-a'はA2橋台を表す。

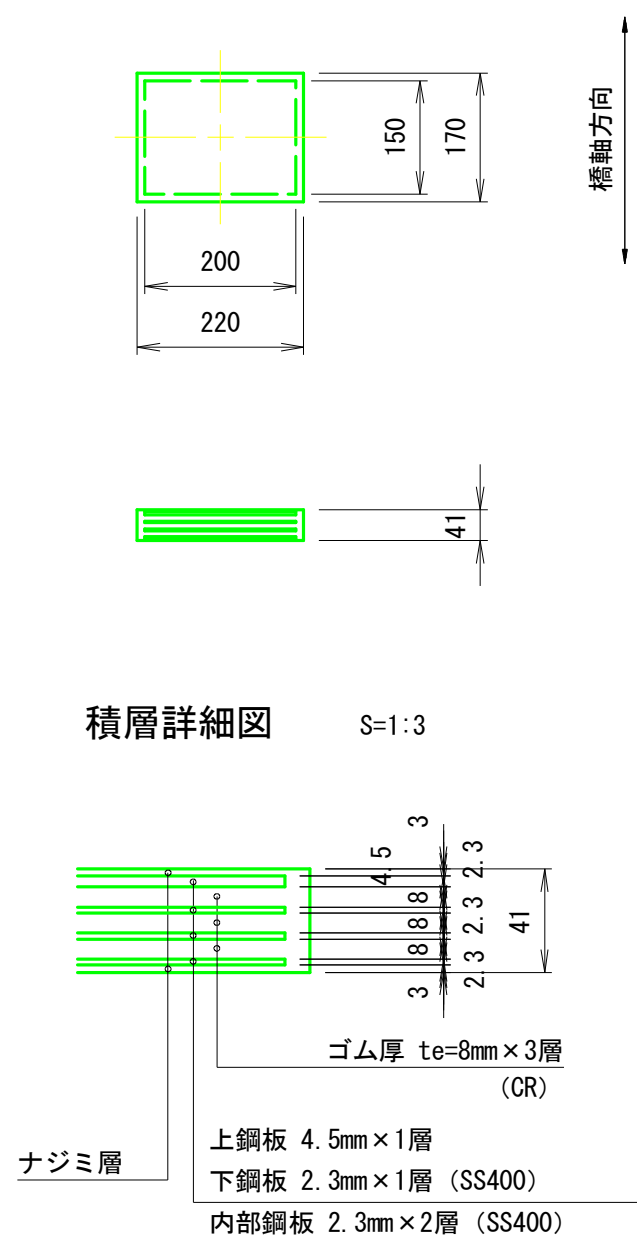
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kgf/m)	1本当り質量 (kgf)	質量 (kgf)	摘要
S1	D10	365	31	0.56	0.20	6	
S2	D10	520	24	0.56	0.29	7	
S3	D10	290	22	0.56	0.16	4	
S4	D10	360	9	0.56	0.20	2	
合 計						19 kg	

図 面 番 号	第 9 号	図 面 総 数	17 葉
図 名	支承工構造図（その１）	縮 尺	図示
名 称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施 行 箇 所	神山町下分字竹平		
工 事 種 別			
所 属 年 度	令 和 8 年 度	工 事 番 号	
課 長	設 計	製 図	徳島県 神山町

S=1:10

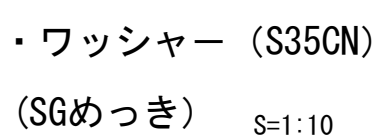
① ゴム支承 (CR+SS400)

S=1:10

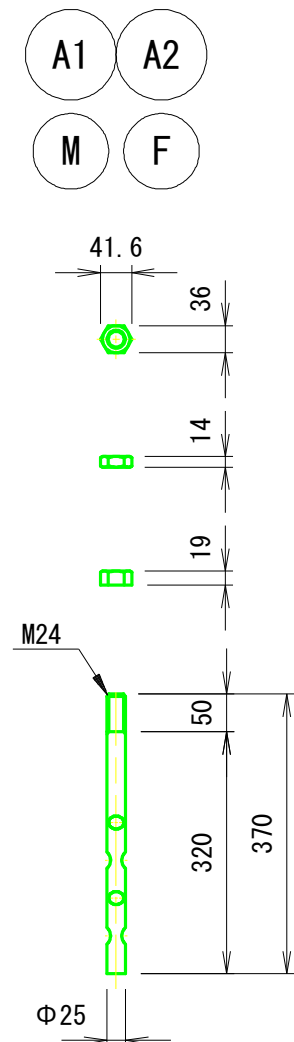


※ アンカーボルト位置及びソールプレート形状は現地調査後決定のこと。

S=1:10



S=1:10



※ ずれ止めの6mm厚のプレートのみSS400とする。

※ アンカーボルト位置及びソールプレート形状は現地調査後決定のこと。

支 承 条 件		A1	A1-枝	A2	
最大 反 力	Rmax	160 KN	30 KN	150 KN	
最大 反 力 回転照査用	Rmax2	150 KN	20 KN	150 KN	
最大 死 荷 重 反 力	RD	80 KN	20 KN	80 KN	
最大 活 荷 重 反 力	RL+1	90 KN	20 KN	80 KN	
照査荷重時変位量 (RL+1/2)	δcl	0.24 mm	— mm	0.21 mm	
回 転 変 位 量	δr	0.50 mm	— mm	0.50 mm	
常時	橋軸方向	ΔL1	12.4 mm	12.4 mm	0.0 mm
地震時	橋軸方向	ΔLe1	— mm	— mm	— mm
	橋軸直角方向	ΔLe2	— mm	— mm	— mm

	名 称	材 質	A1数量		A1-枚数数量		A2数量		備 考
			個	重量 (kg)	個	重量 (kg)	個	重量 (kg)	
1	ゴム支承	CR+SS400	4	2	4	2	2	4.2	Ge=0.8N/mm2
2	ソールプレート	SM490A+SS400	2	25.8	1	13.8	2	21.6	
3	アンカーボルト・ナット	S35CN	4	3.3	0	0.0	4	3.3	ナット含む
4	セットボルト		8	---	4	---	8	---	平座金付
全質量 (kg)			66.6		18.0		58.2		

注) 1. ○印は、ST-SG仕様とする。

注) 2. 質量は参考質量とする。

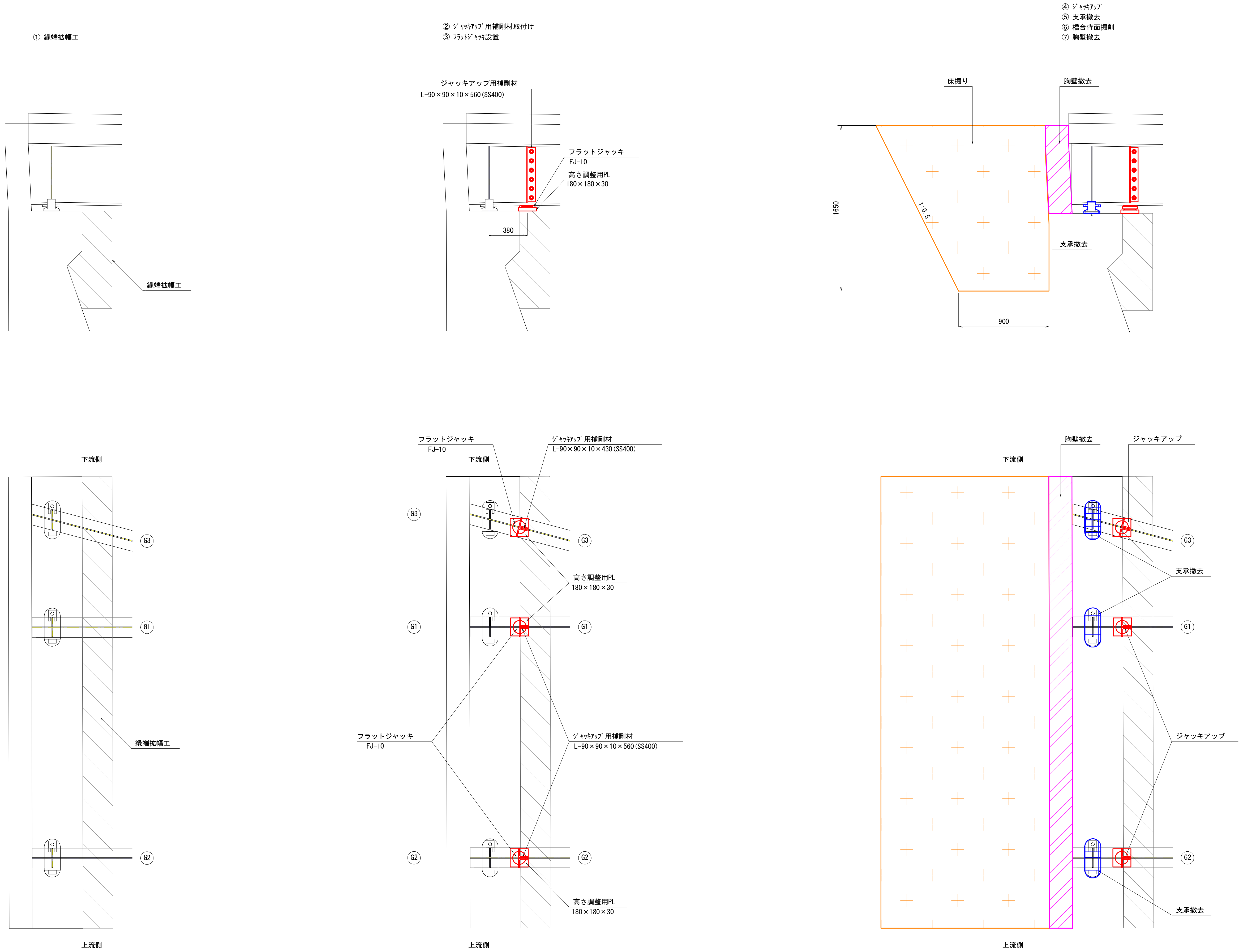
注) 3. セットボルト長は現地状況確認の上、適宜決定のこと。

④ 六角ボルト M16xL 強度区分8.8
平座金付

図 面 番 号	第 10 号	図 面 総 数	17 葉
図 名	支保工構造図(その2)		縮 尺 図 示
名 称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施 行 箇 所	神山町下分字竹平		
工 事 種 別			
所 属 年 度	令 和 8 年 度	工 事 番 号	
課 長	設 計	製 図	徳島県 神山町

A1橋台支承取替工要領図（その1）

S=1:20

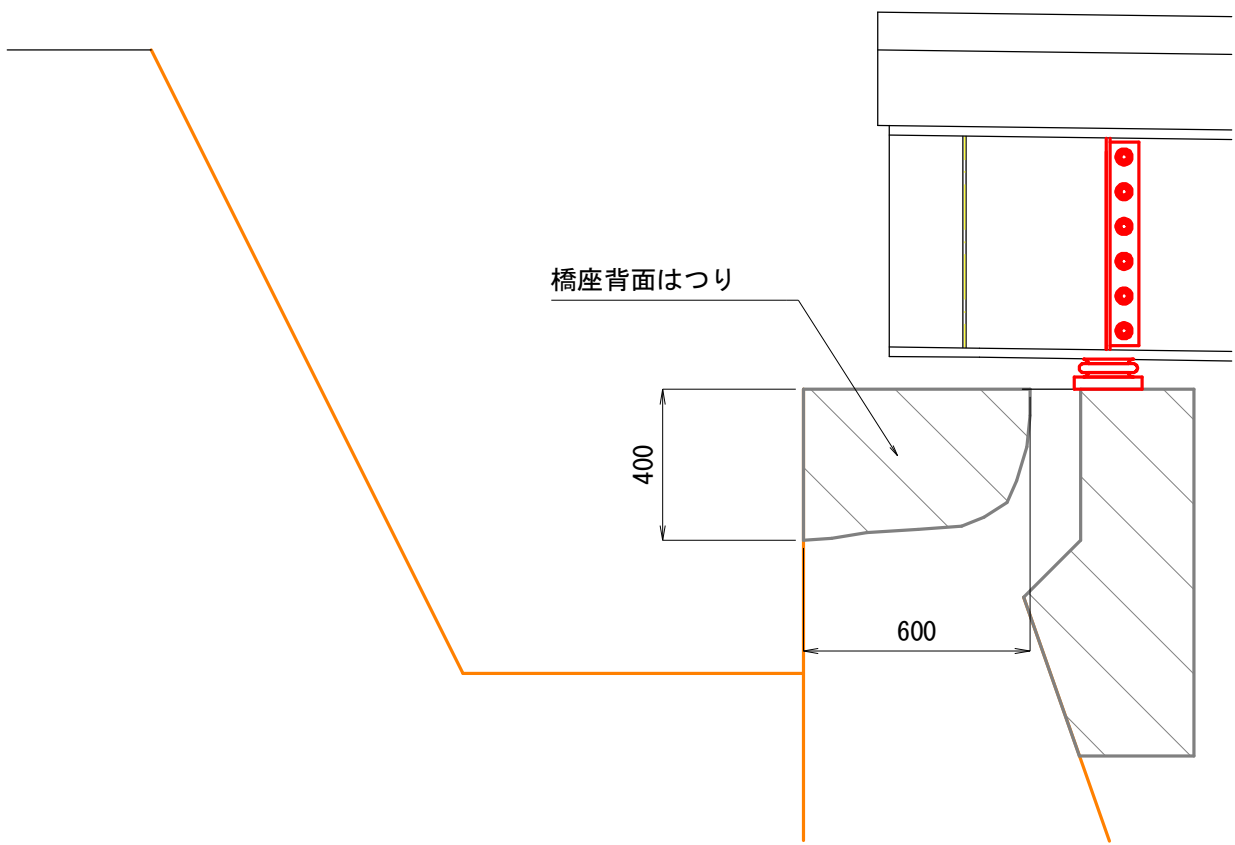


図面番号	第 11 号	図面総数	17 葉
図名	A1橋台支承取替工要領図（その1）	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

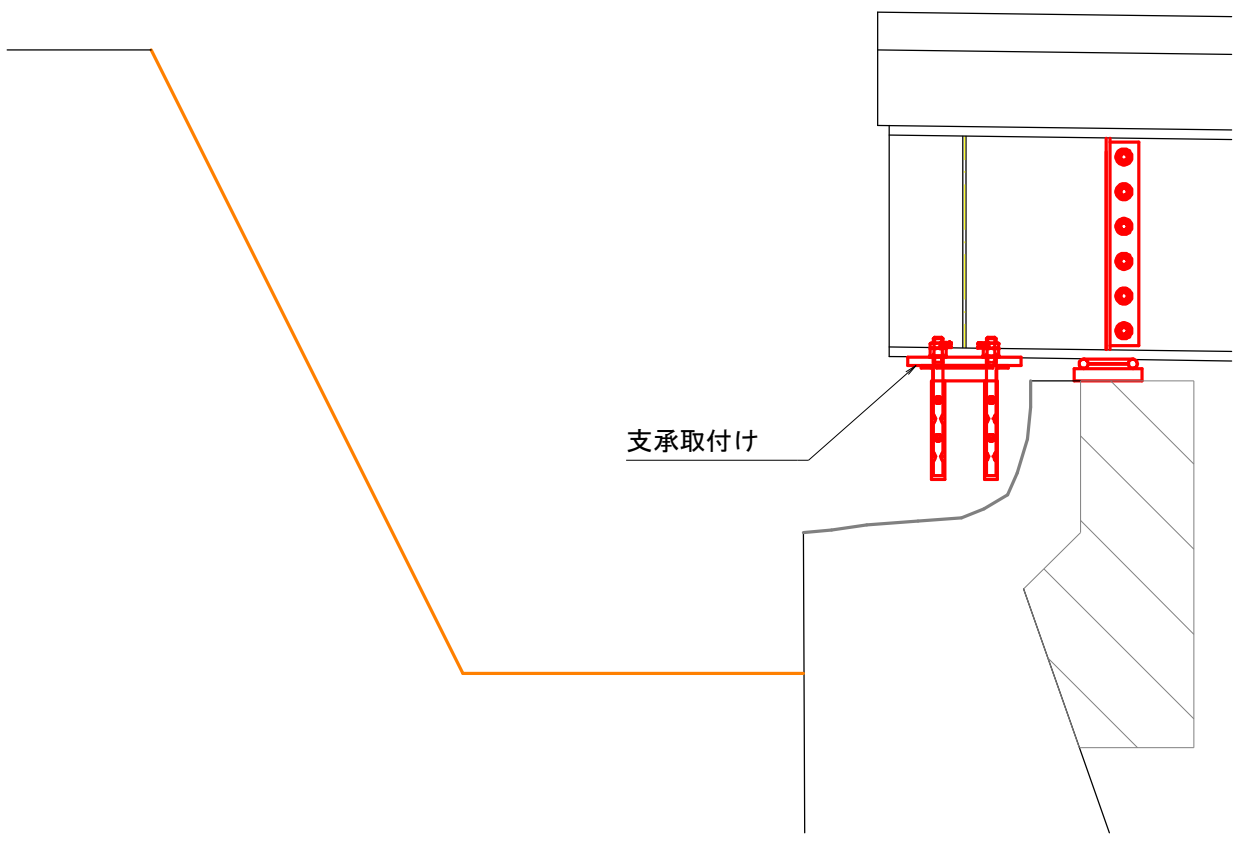
A1橋台支承取替工要領図（その2）

S=1:20

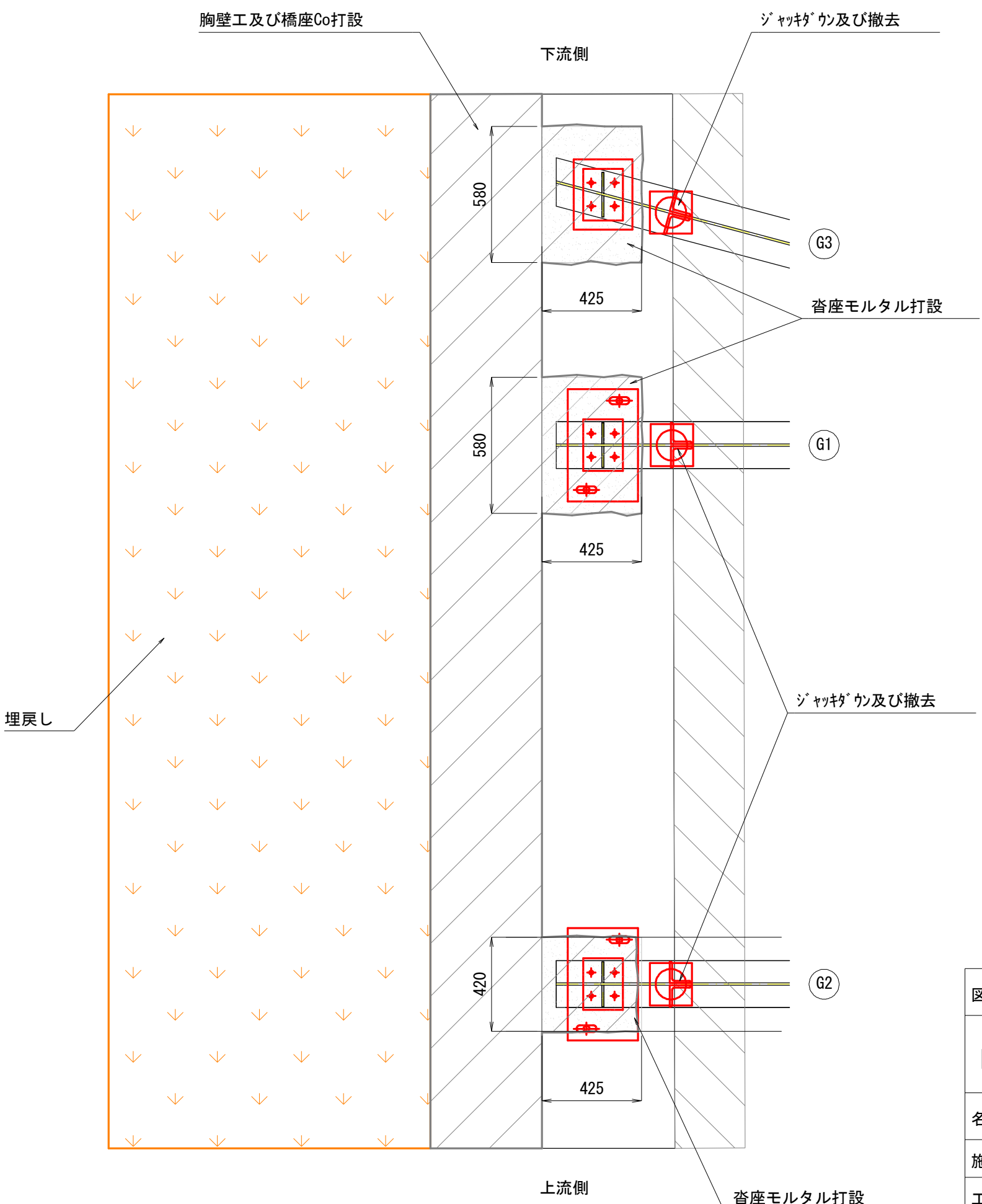
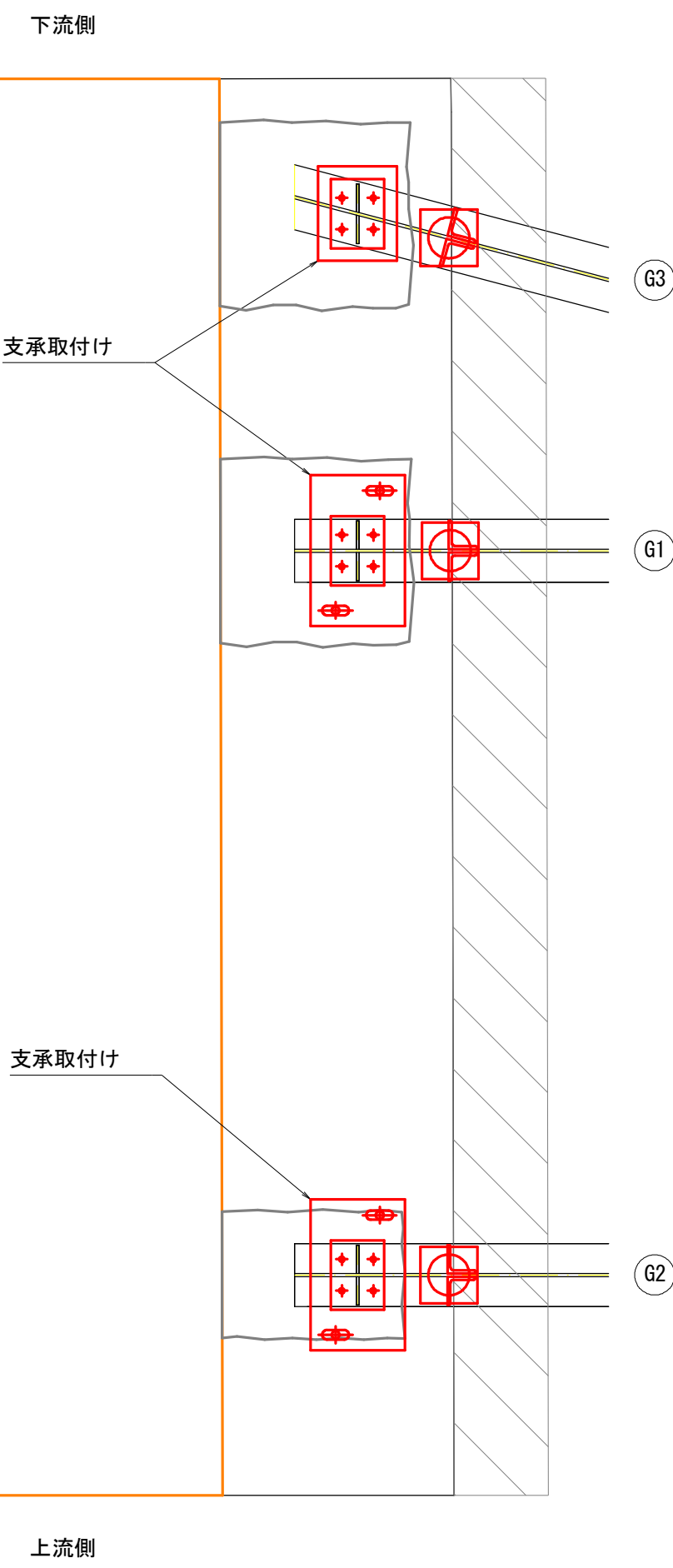
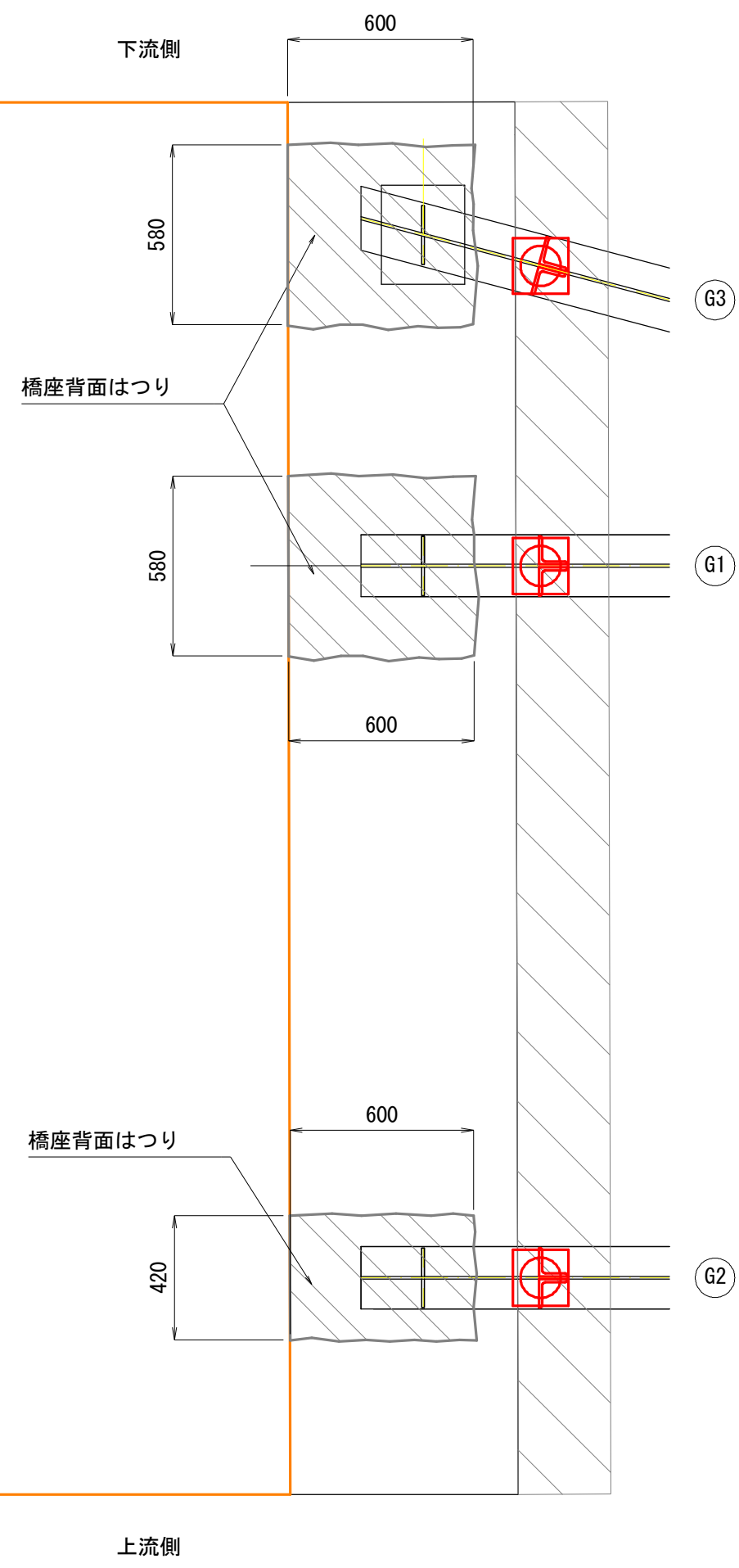
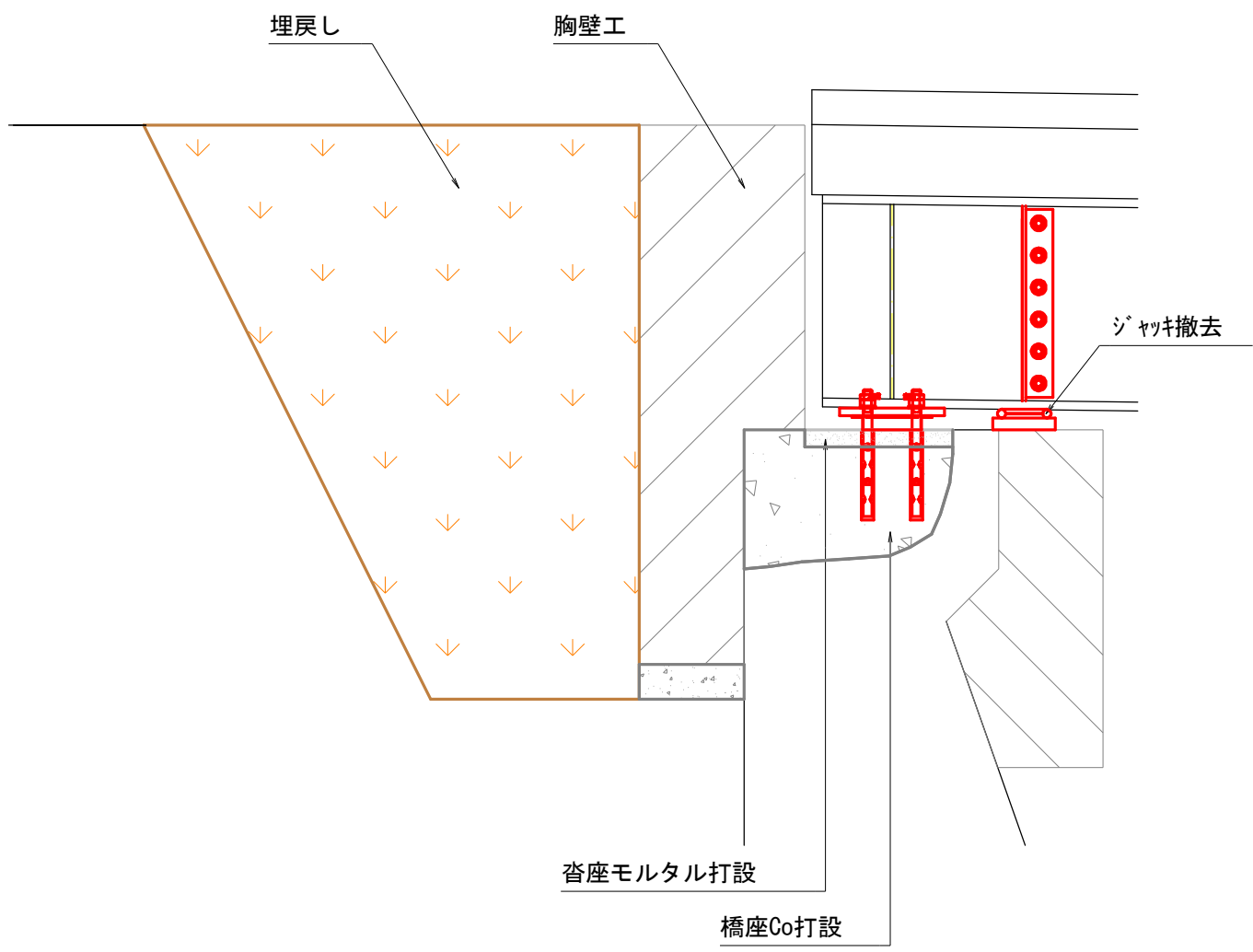
⑧ 橋座はつり



⑨ 支承取付け



- ⑩ 均しコンクリート
- ⑪ 橋座コンクリート工
- ⑫ 沓座モルタル工
- ⑬ ジャッキダウン及び撤去
- ⑭ 胸壁工
- ⑮ 埋戻し

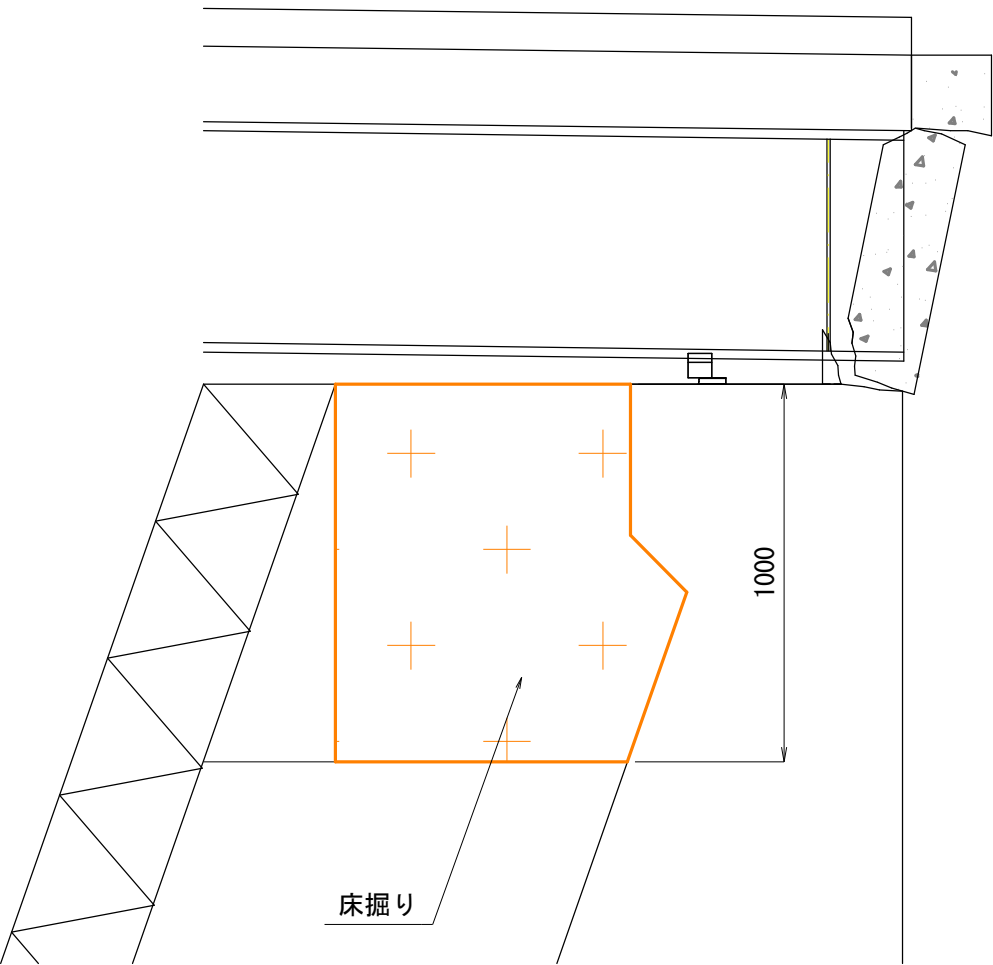


図面番号	第 12 号	図面総数	17 業
図名	A1橋台支承取替工要領図（その2）		縮尺 図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

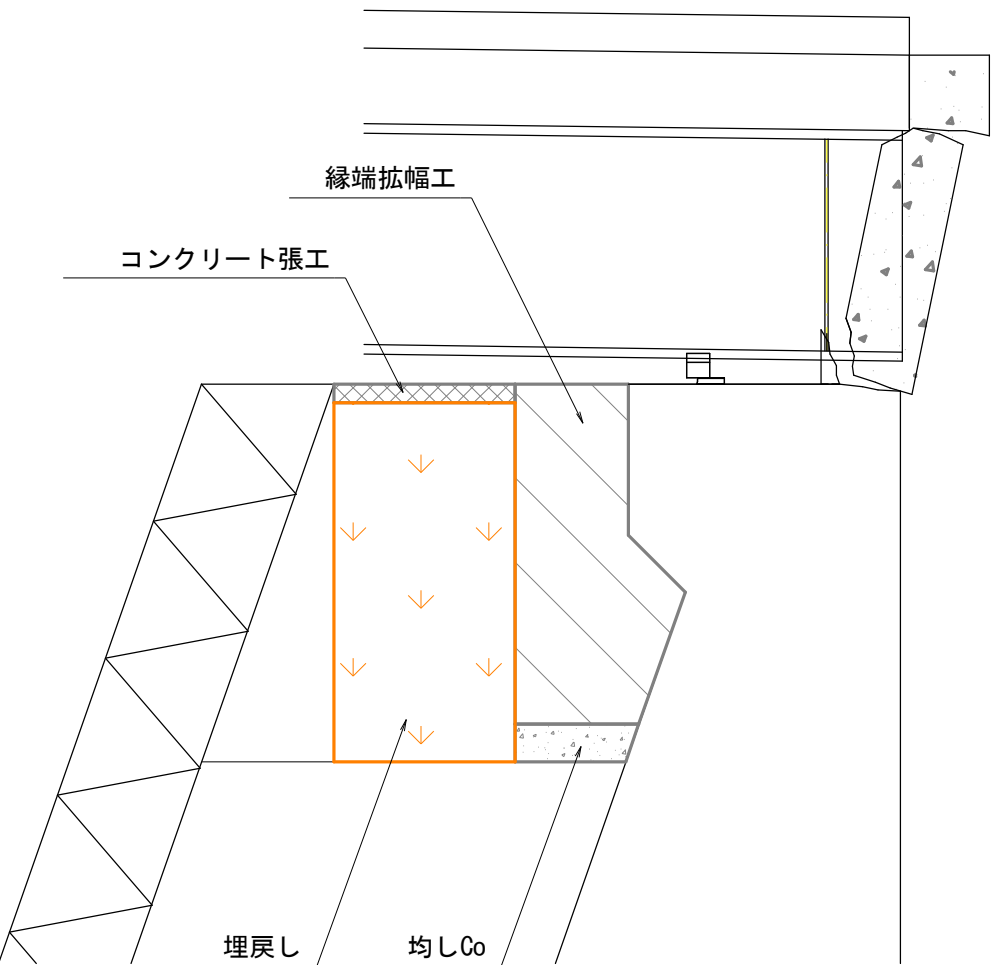
A2橋台支承取替工要領図（その1）

S=1:20

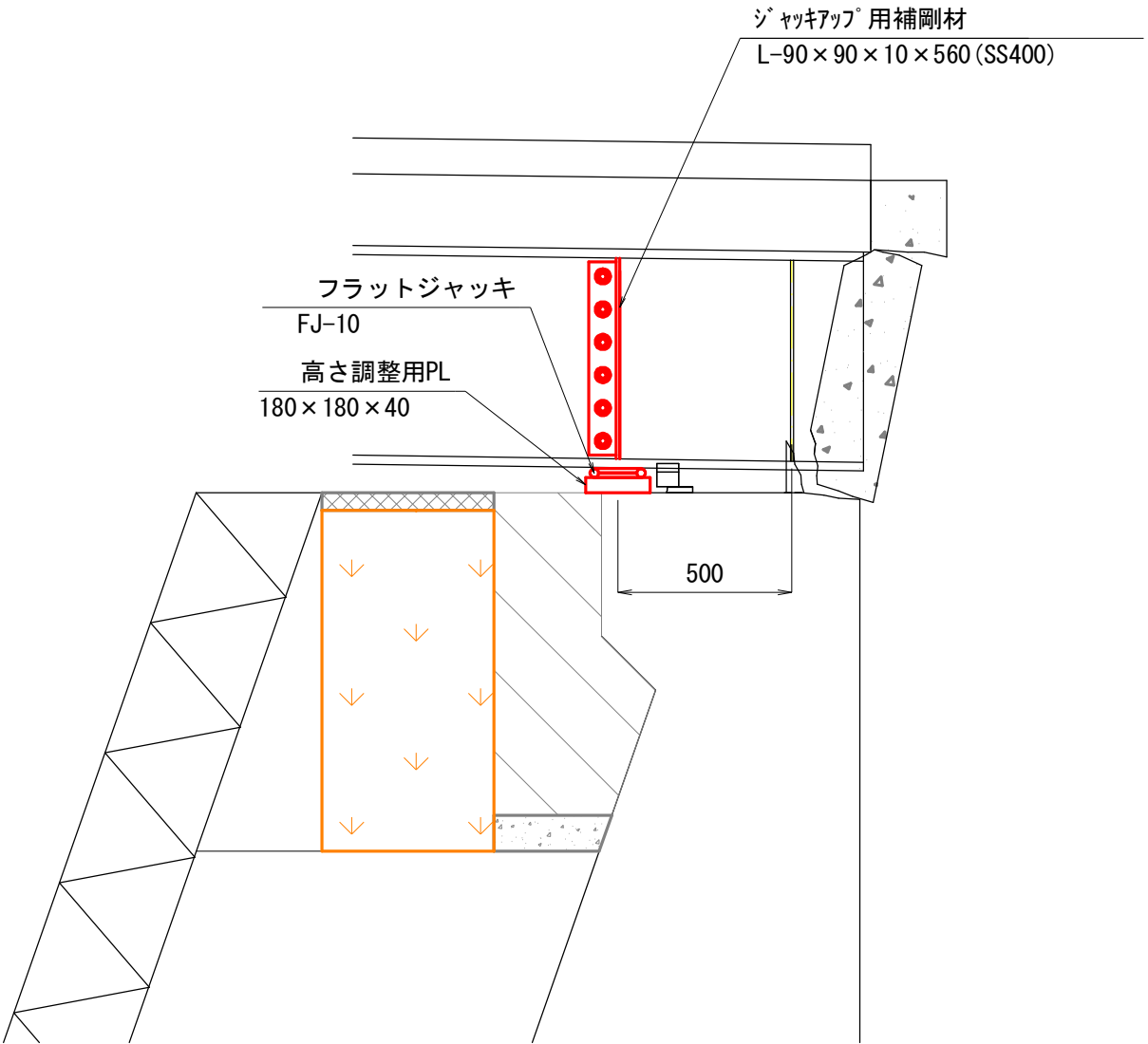
① 床掘り



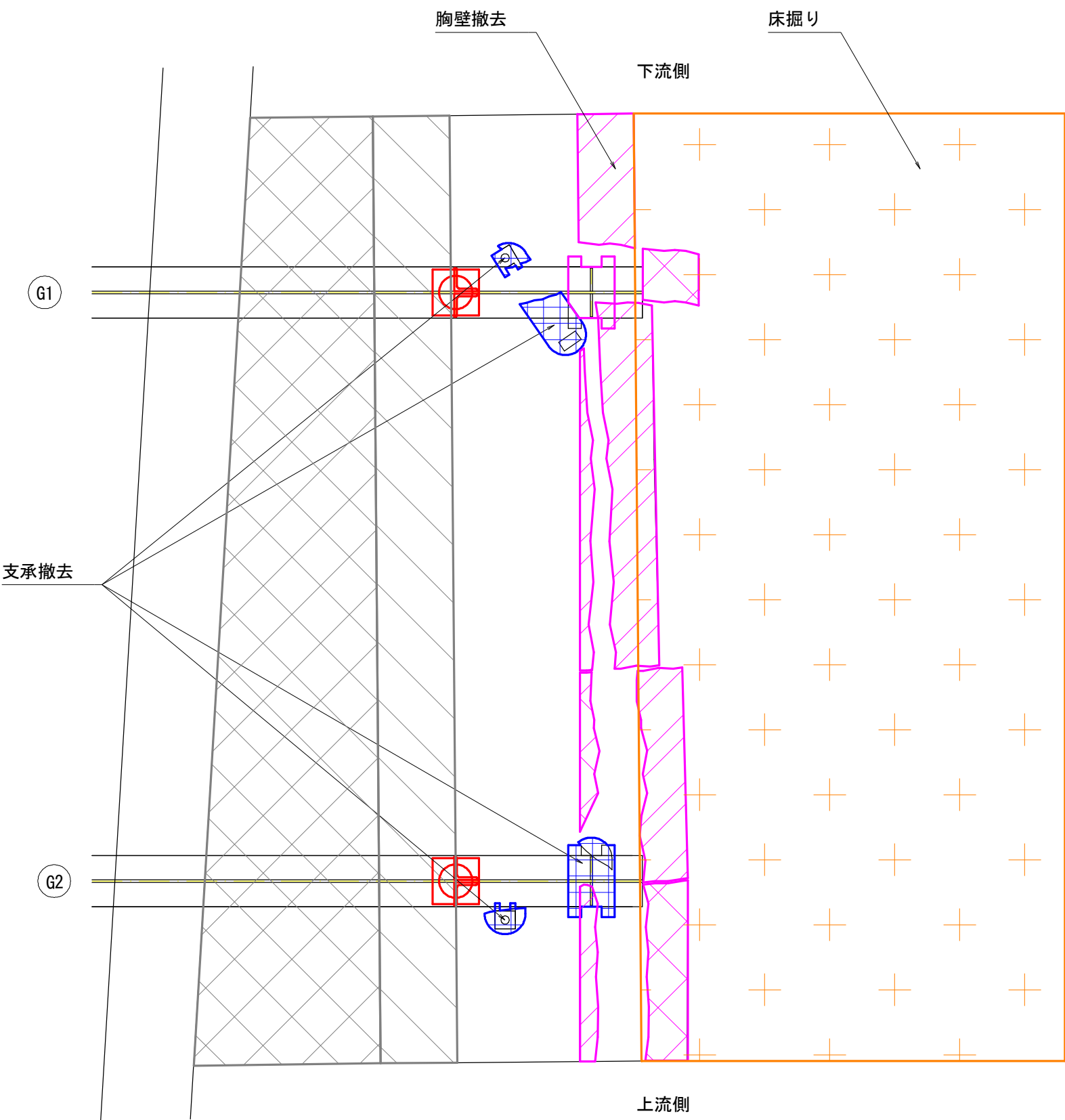
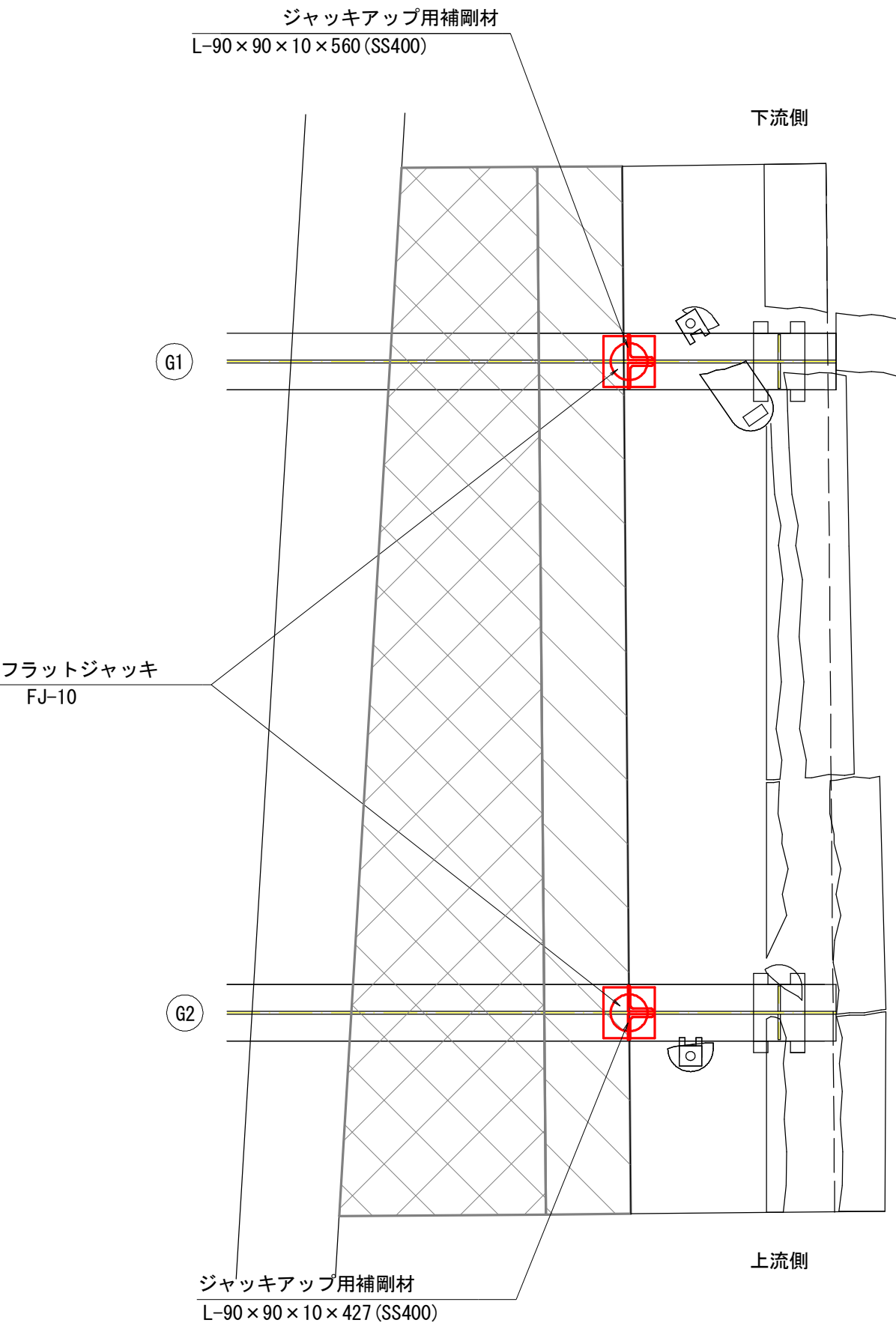
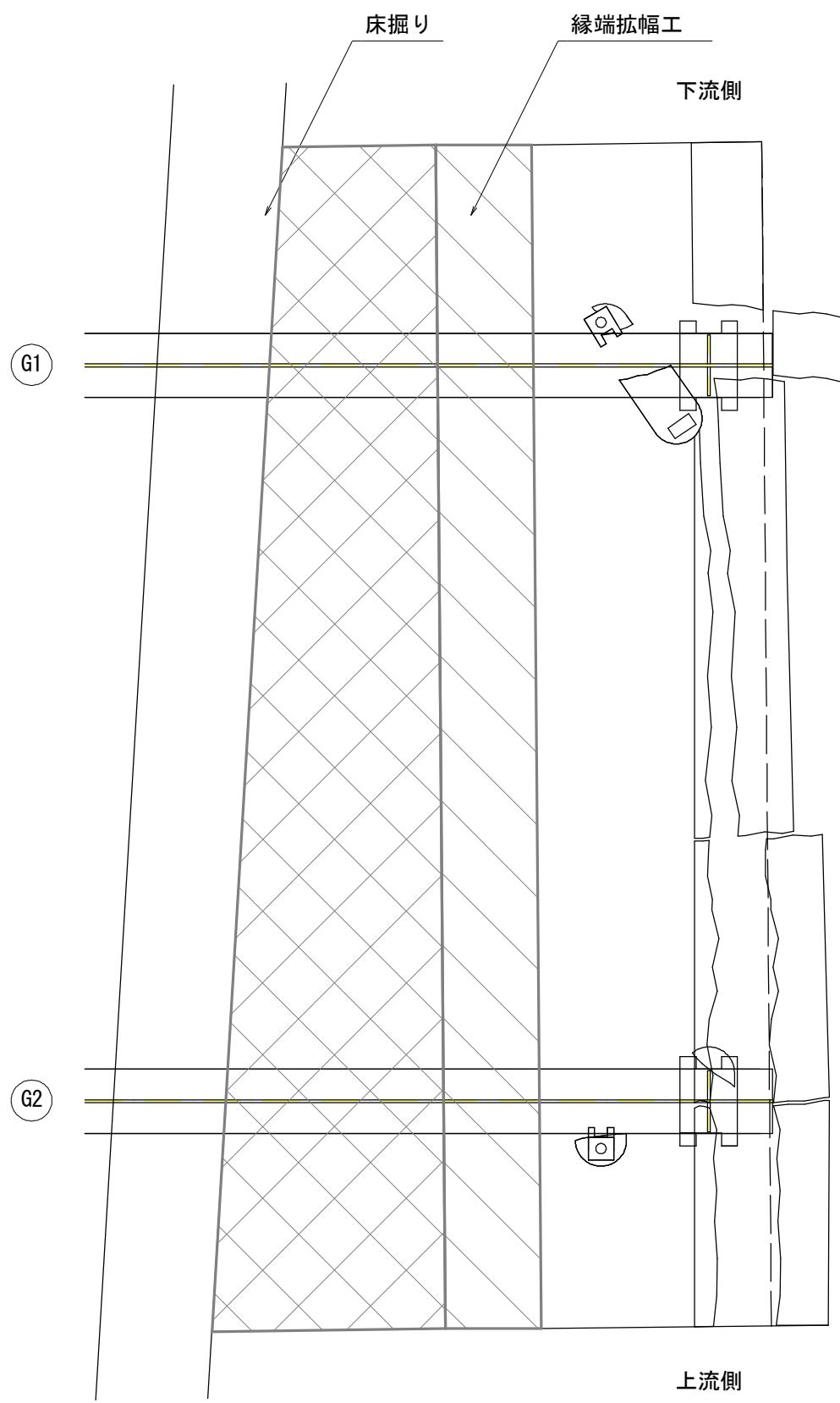
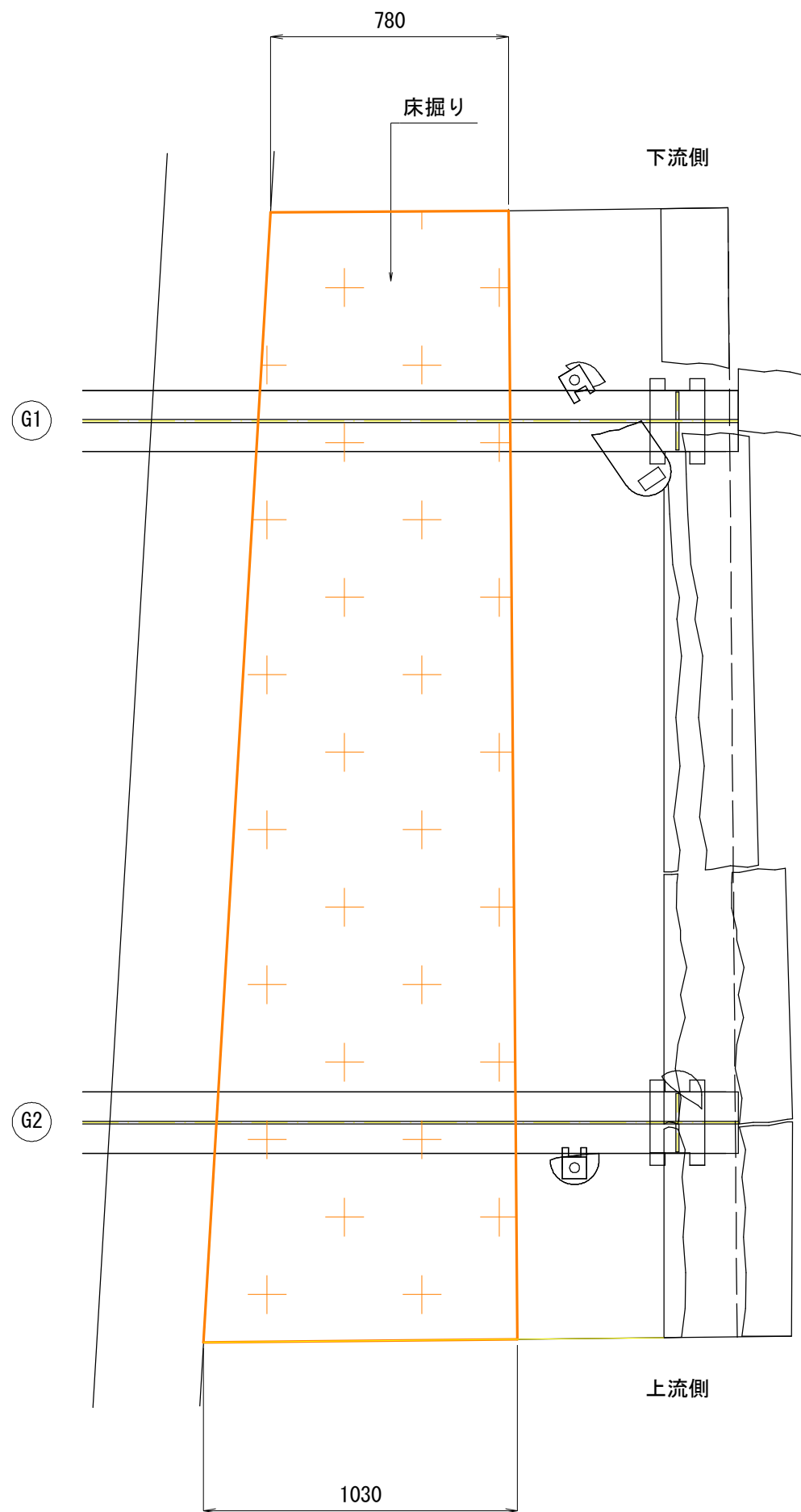
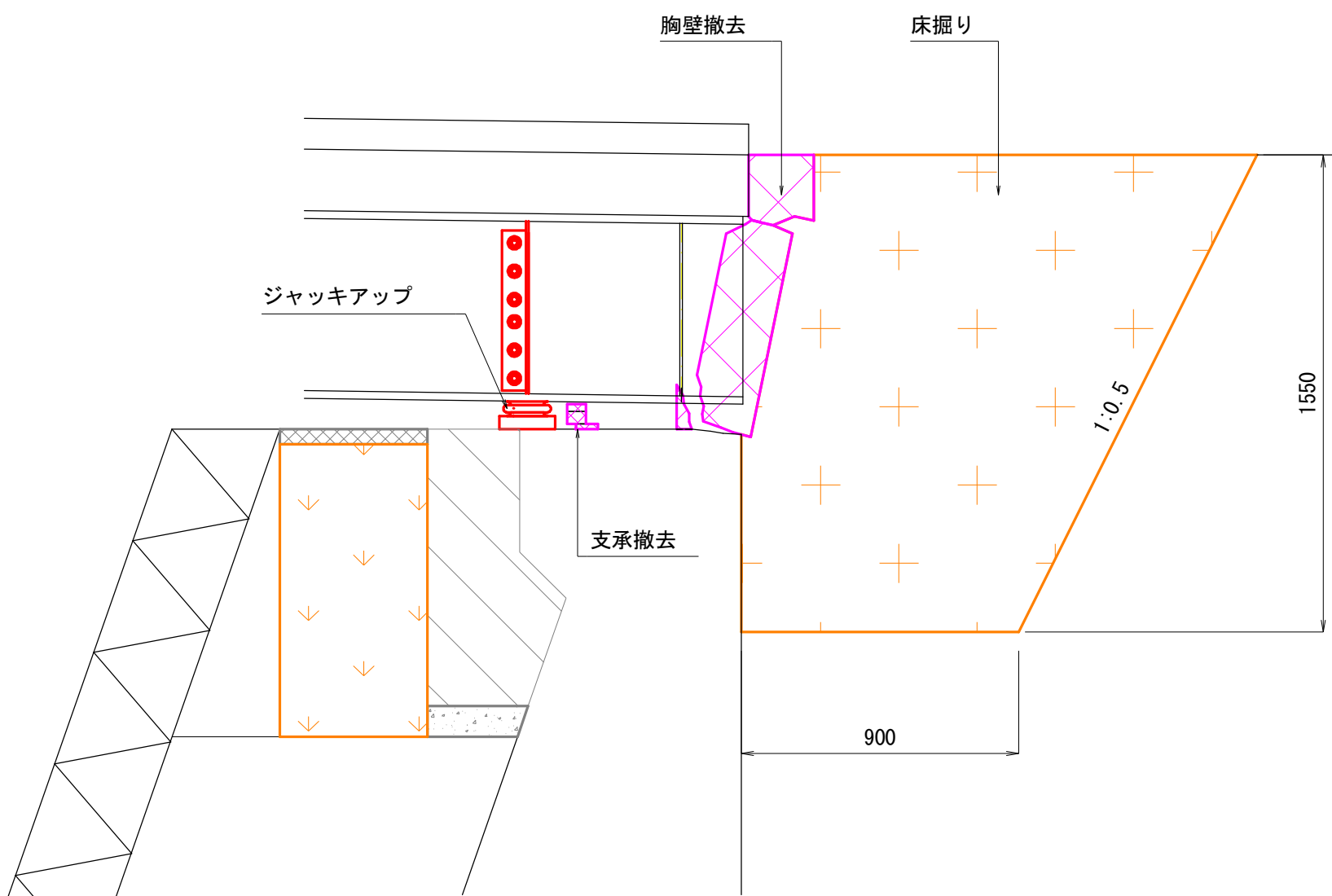
- ② 均しコンクリート工
- ③ 縁端拡幅工
- ④ 埋戻し工
- ⑤ コンクリート張工



- ② ジャッキアップ用補剛材取付け
- ③ フラットジャッキ設置



- ④ ジャッキアップ
- ⑤ 支承撤去
- ⑥ 橋台背面床掘り
- ⑦ 胸壁撤去

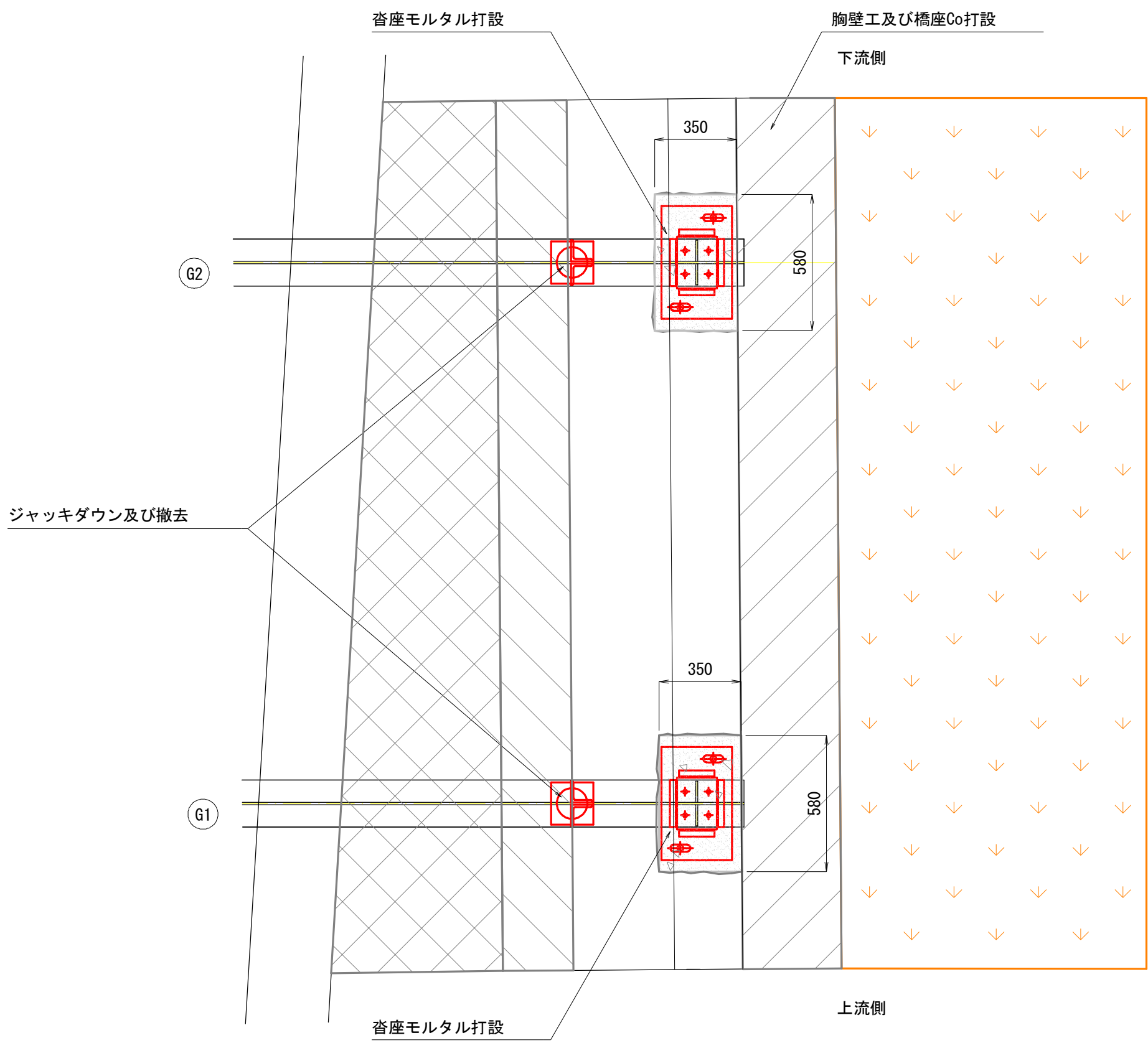
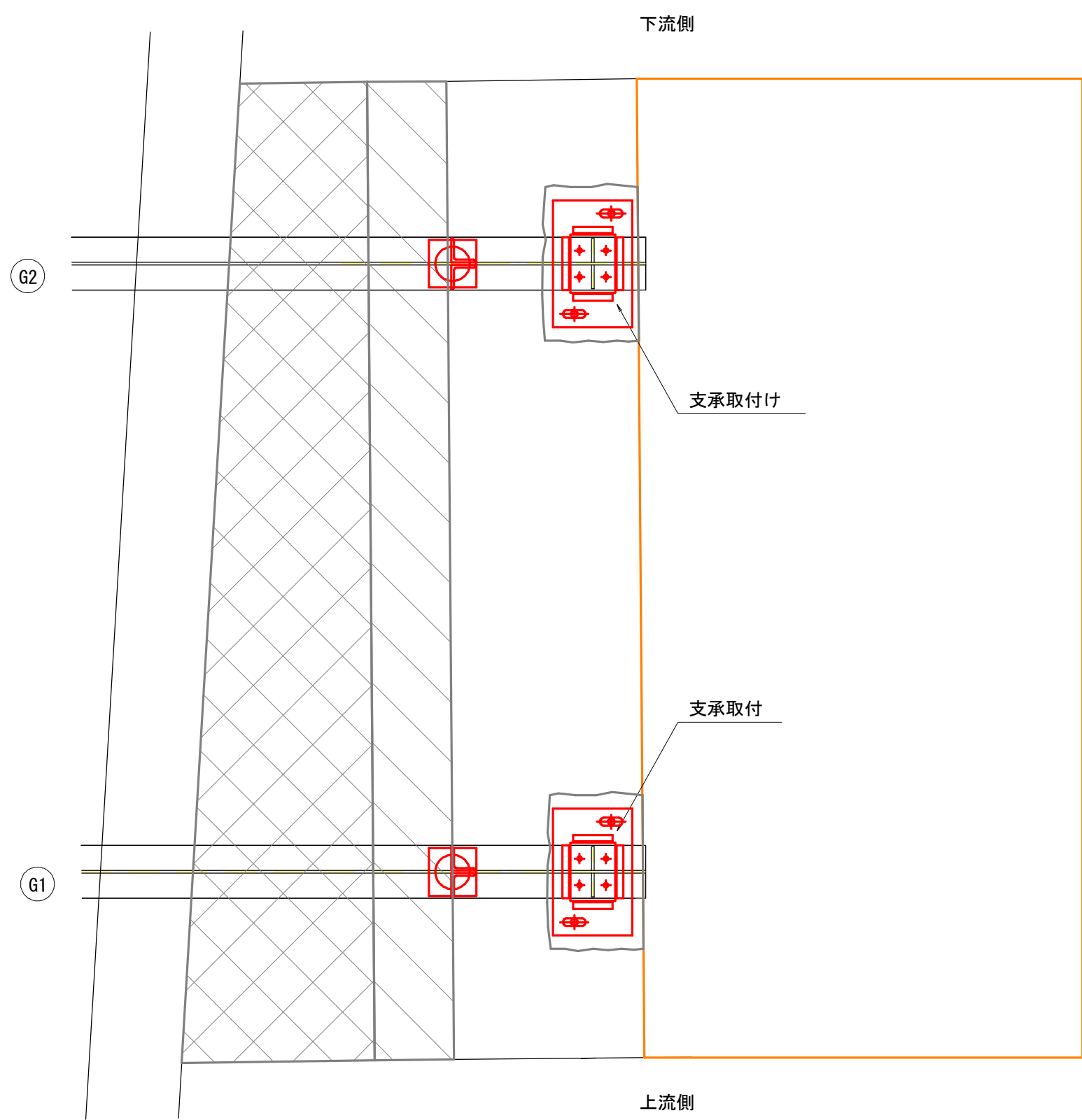
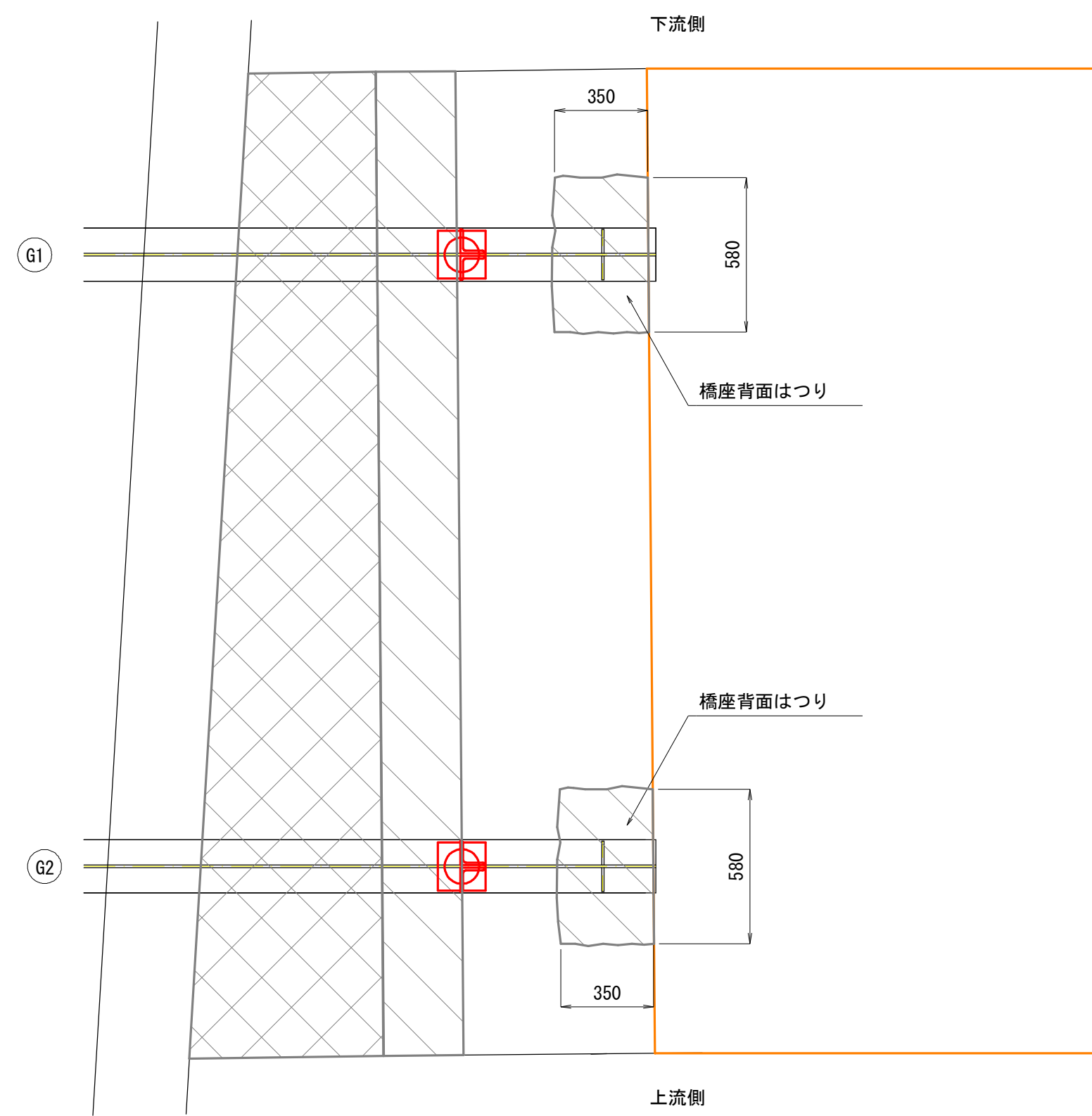
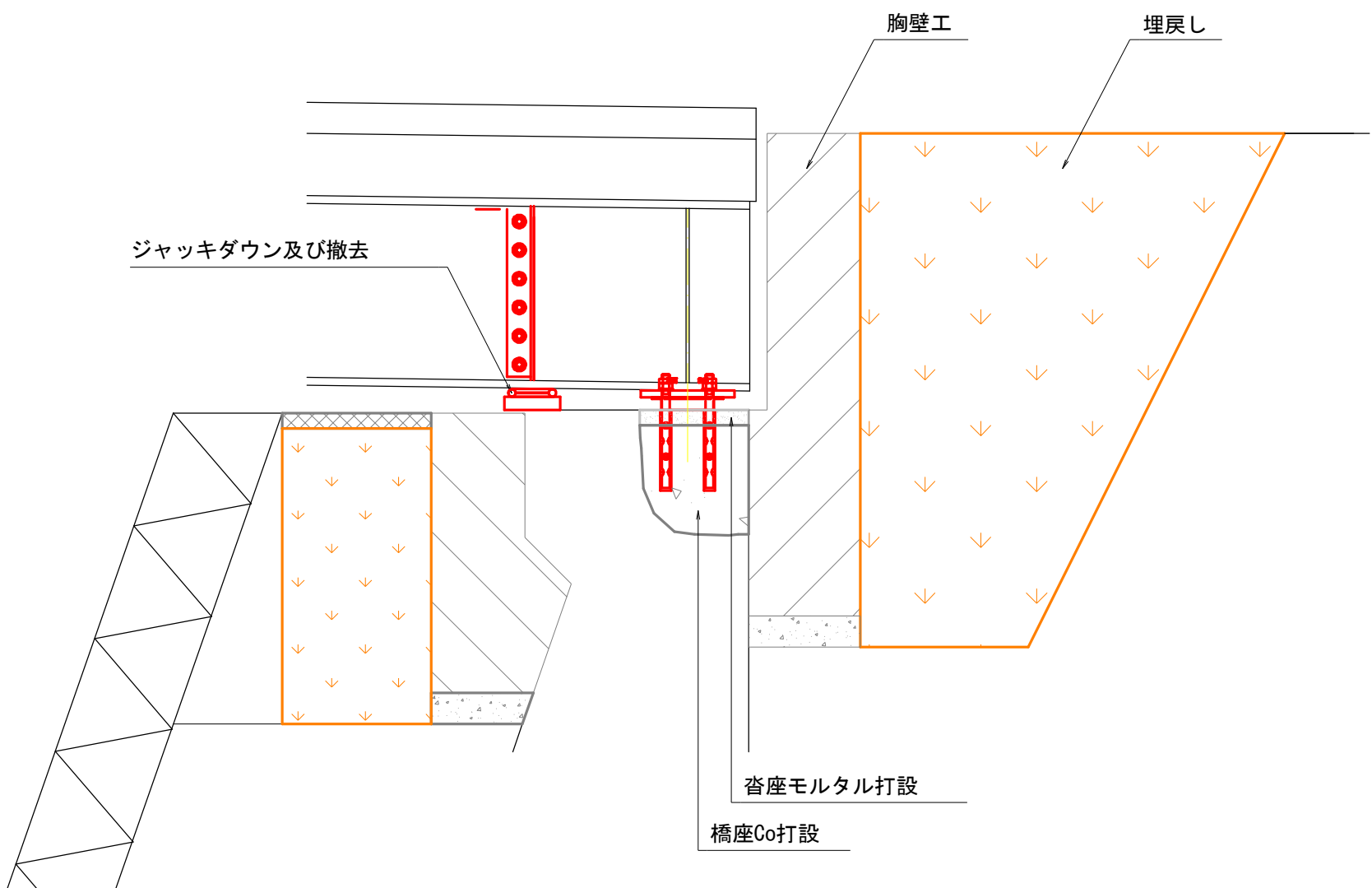
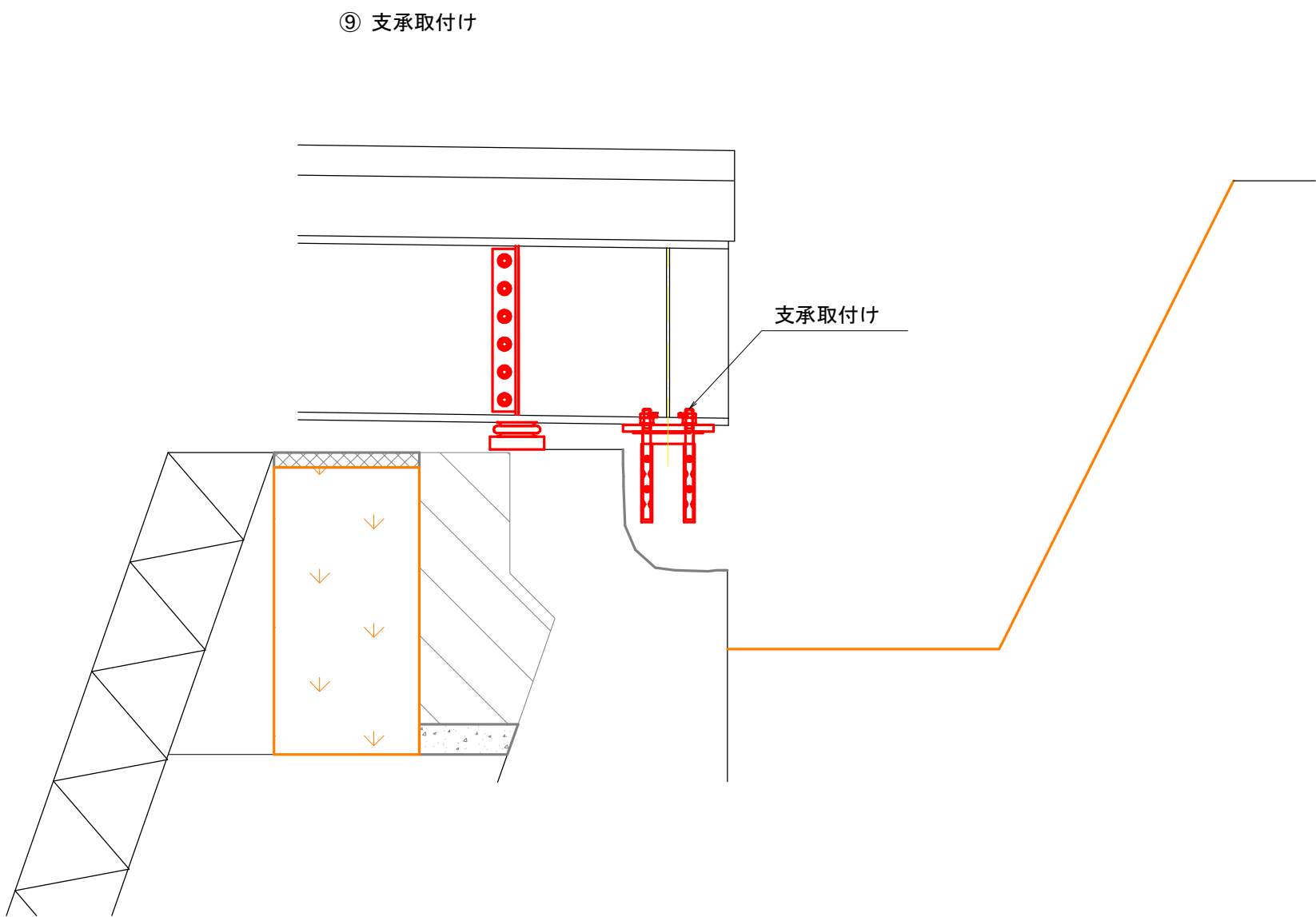
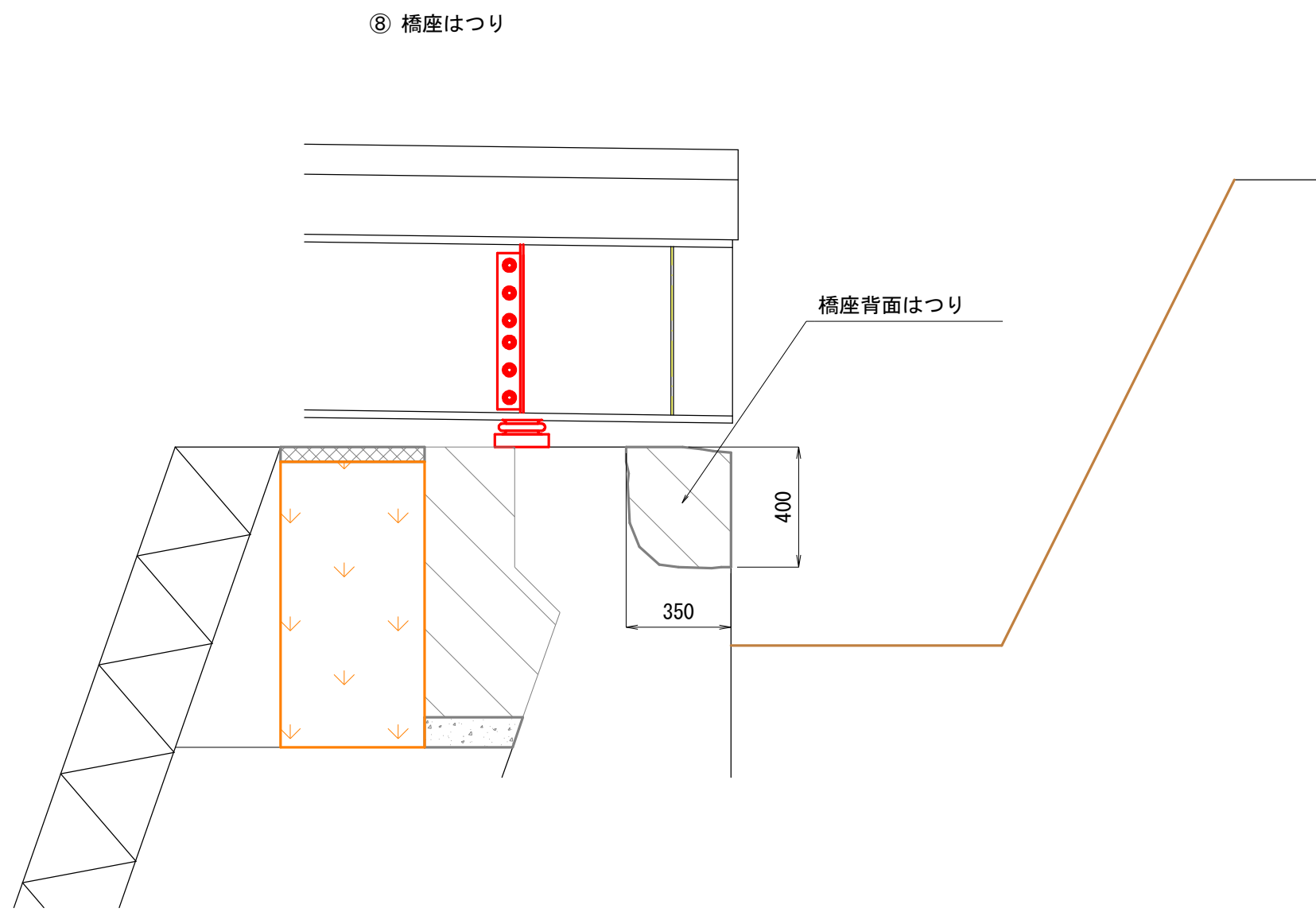


図面番号	第 13 号	図面総数	17 葉
図名	A2橋台支承取替工要領図（その1）	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

A2橋台支承取替工要領図（その2）

S=1:20

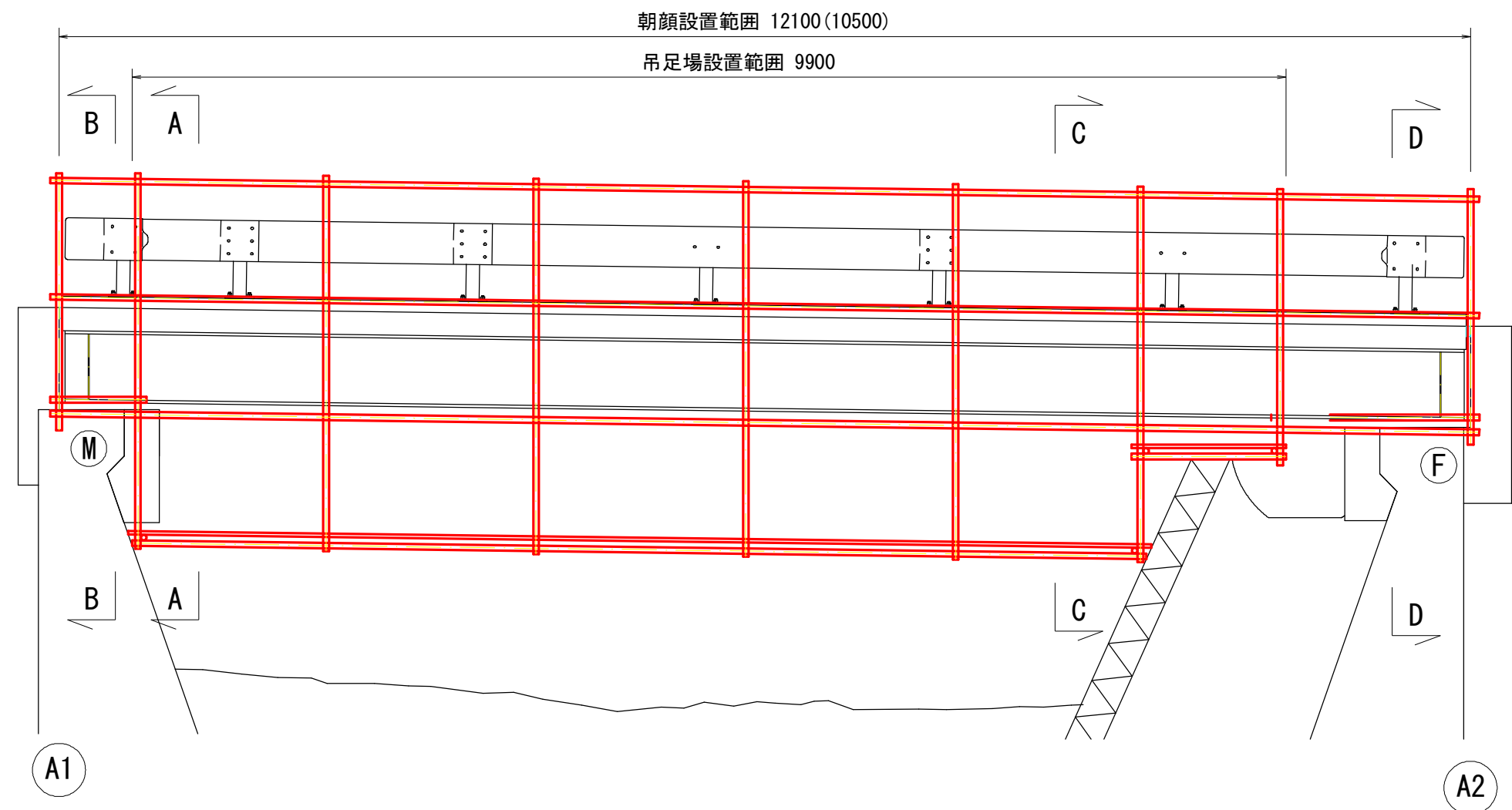
- ⑩ 橋座コンクリート工
- ⑪ 沓座モルタル工
- ⑫ ジャッキダウン及び撤去
- ⑬ 均しコンクリート工
- ⑭ 胸壁工
- ⑮ 埋戻し



図面番号	第 14 号	図面総数	17 業
図名	A2橋台支承取替工要領図（その2）		縮尺 図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設 計	製 図	徳島県 神山町

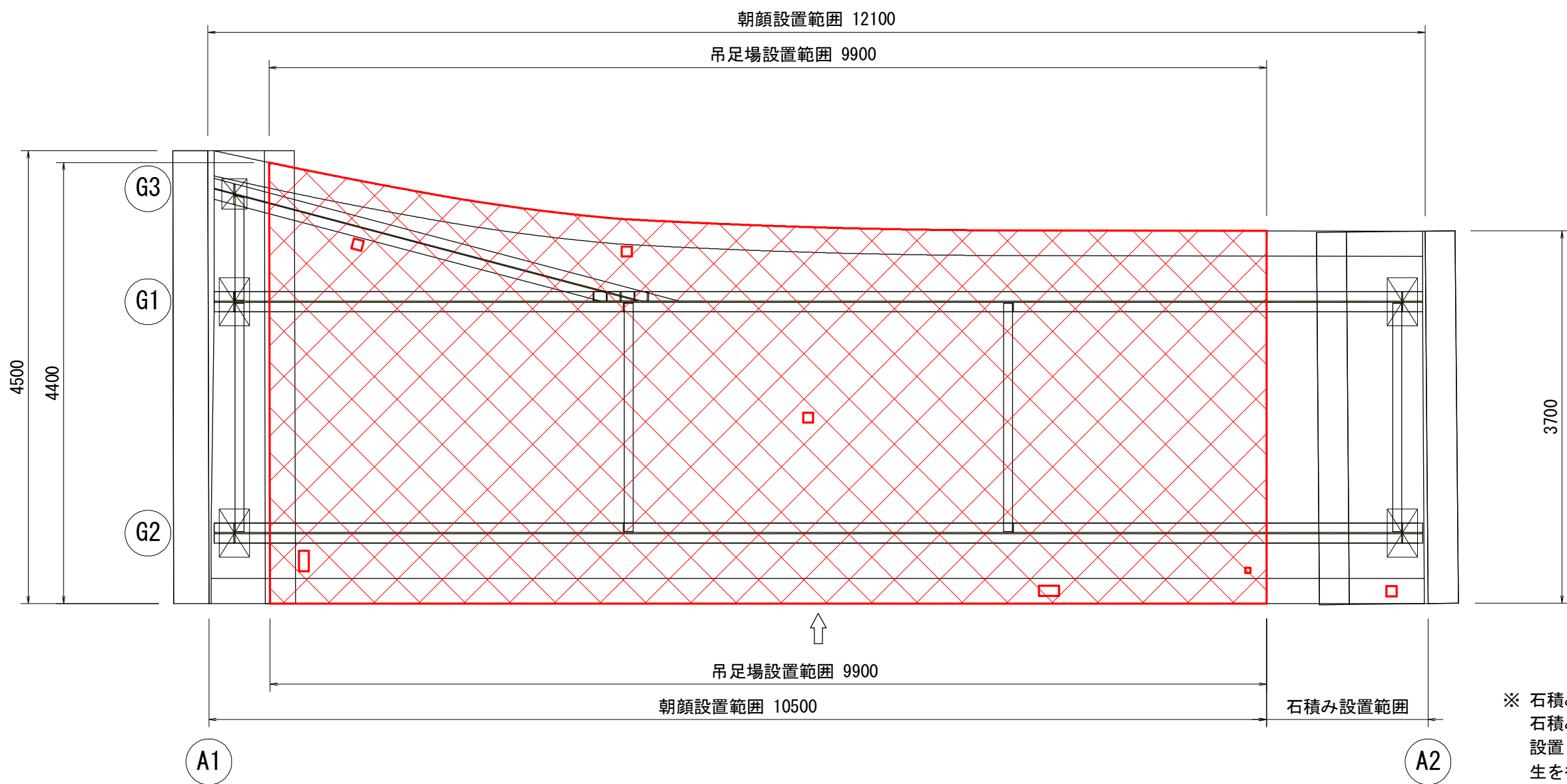
上部工足場工図

側面図



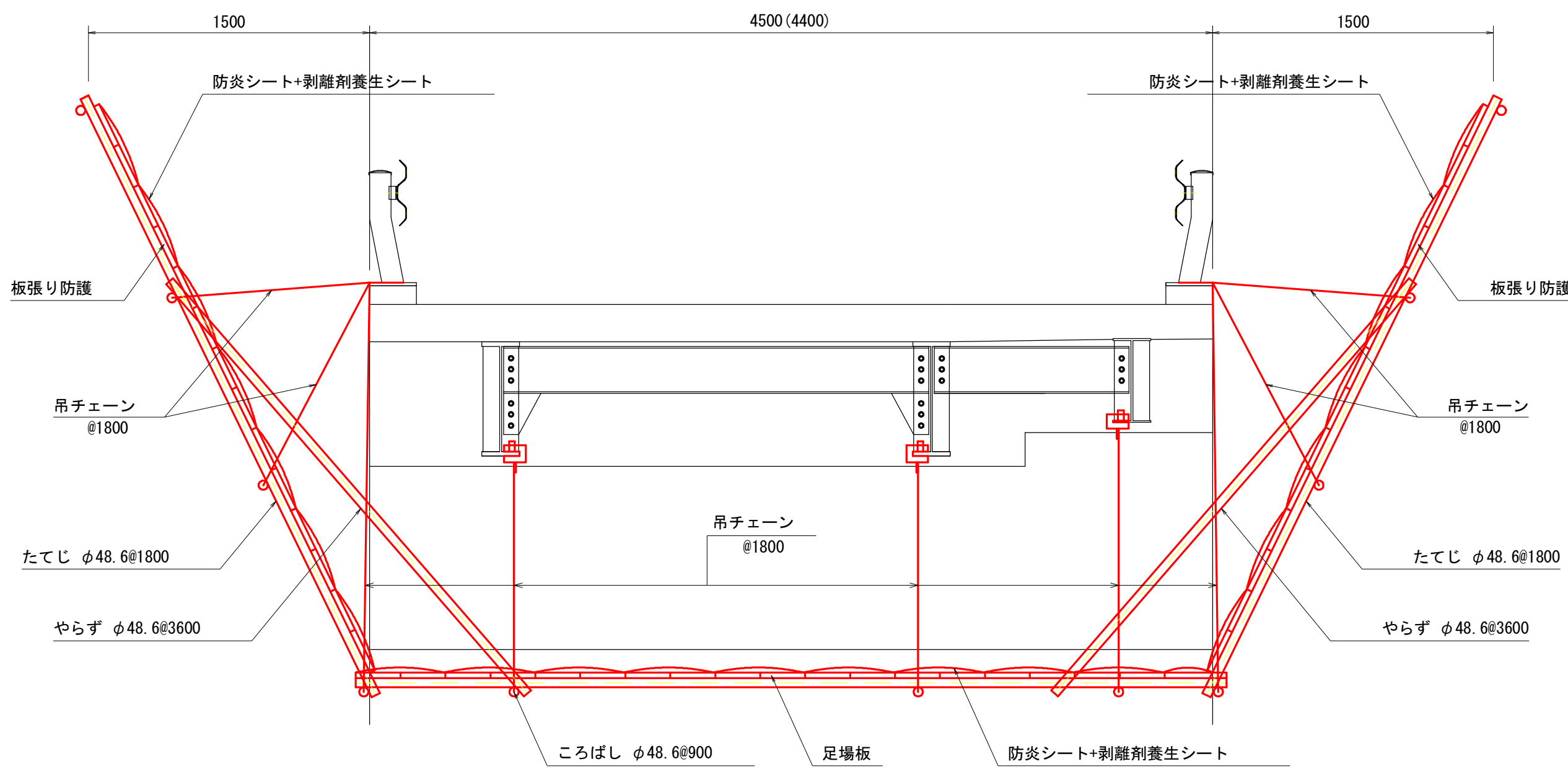
※ () 内の数値は上流側を表す。

平面図

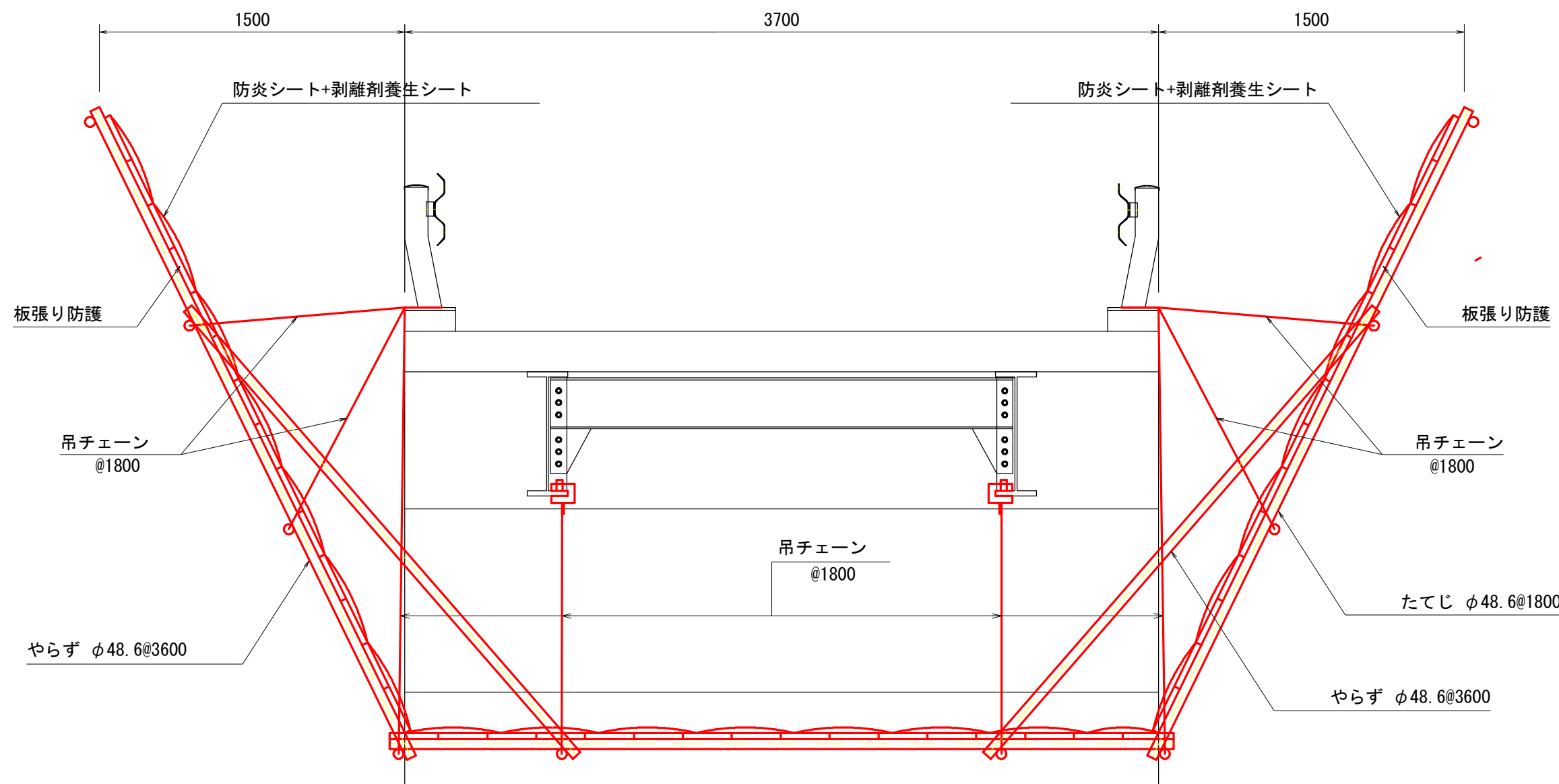


※ 石積み設置範囲には足場を設置できないので石積みの内側に防災シート+剥離剤養生シート設置し、剥離剤が外部に漏出しないように養生を行うものとする。

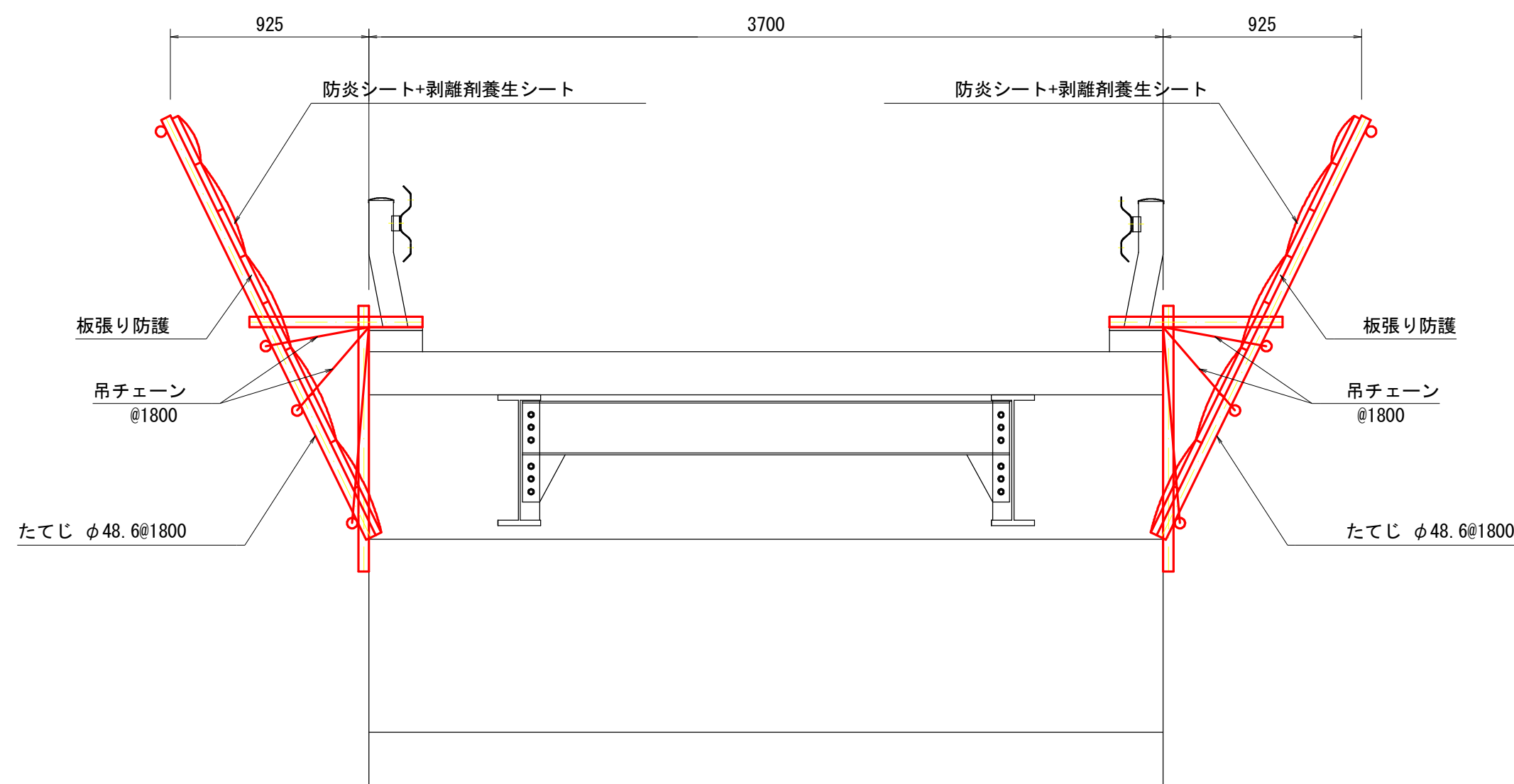
A-A 断面図



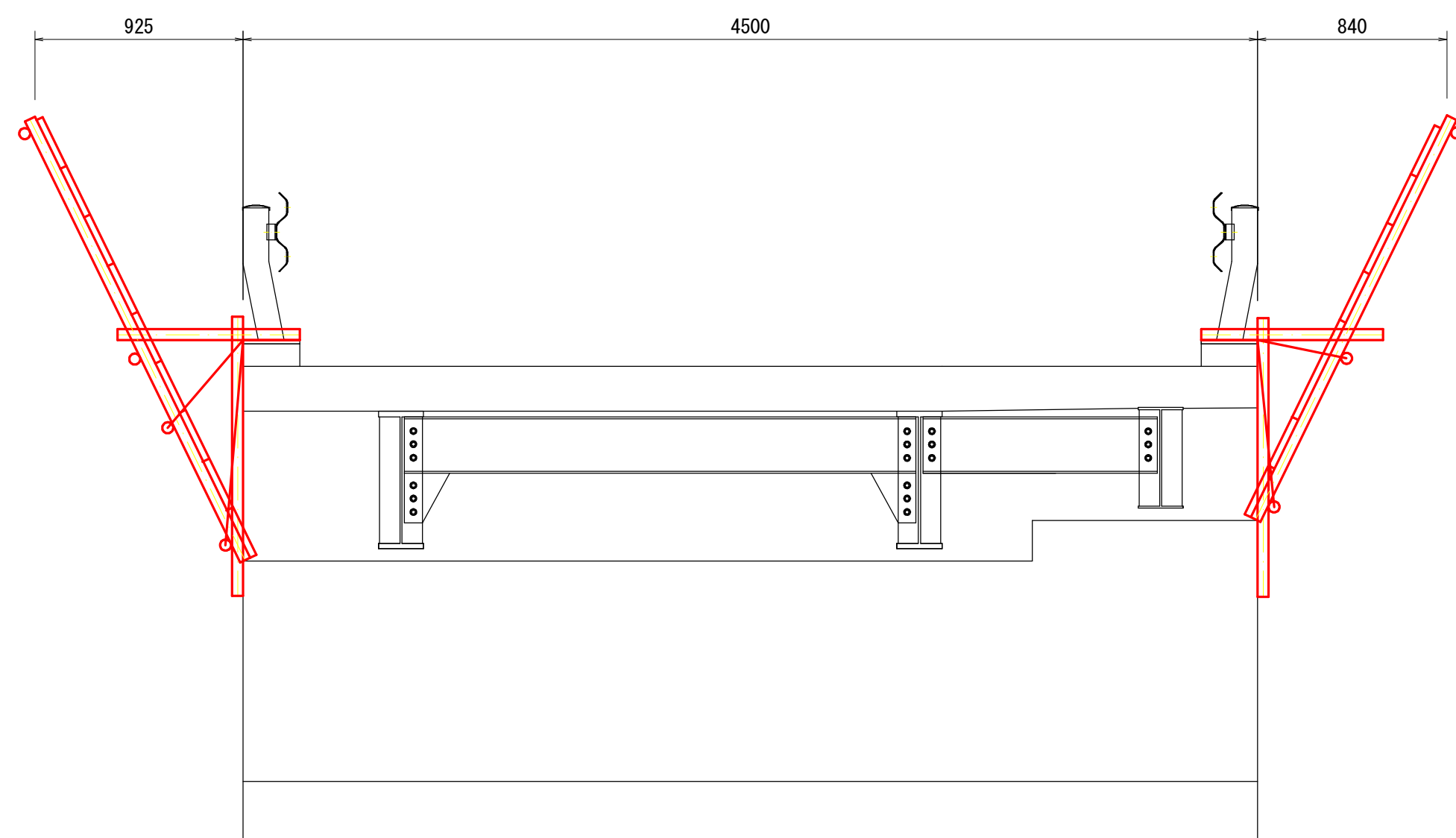
C-C 断面図



D-D 断面図



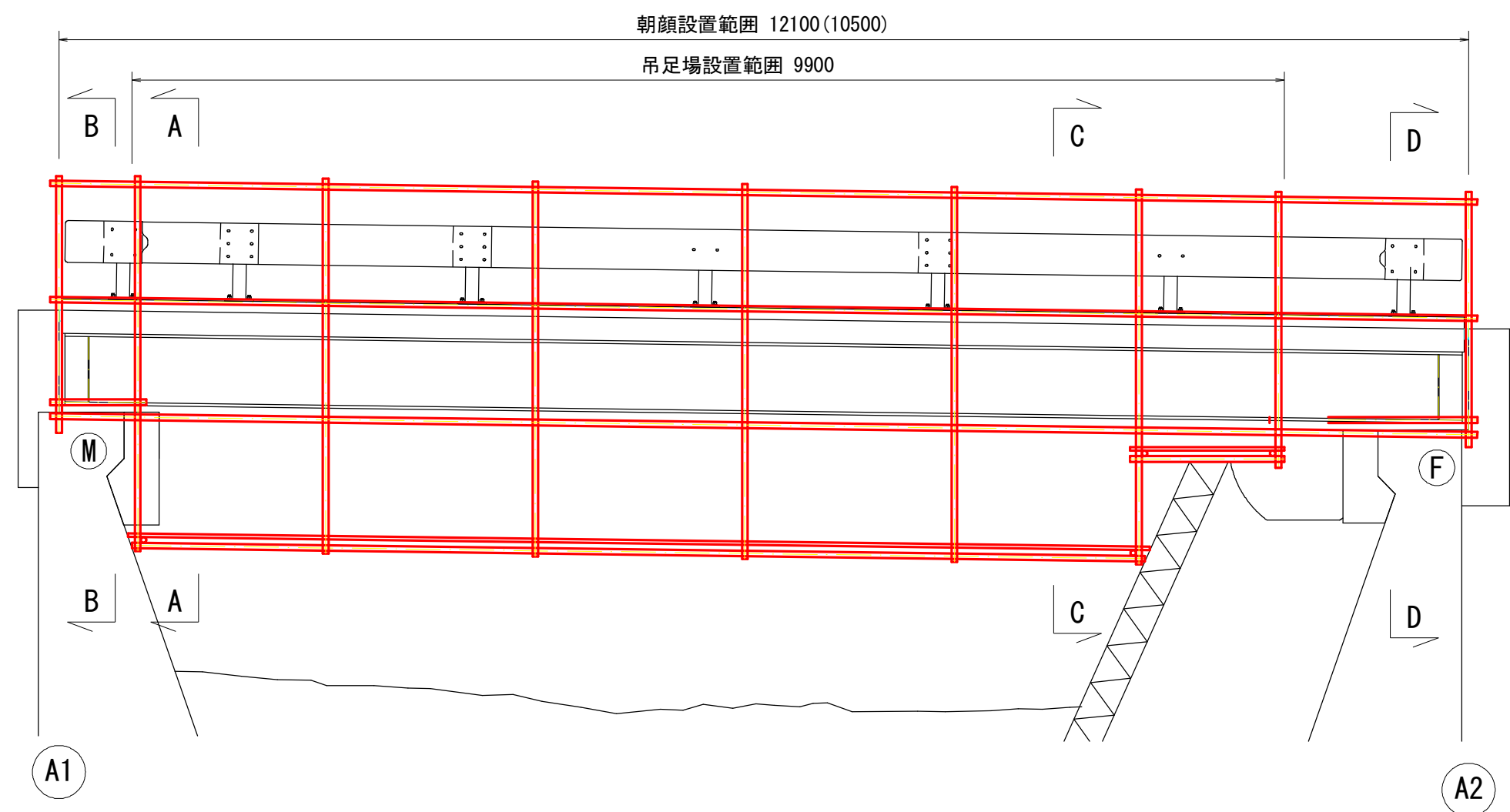
B-B 断面図



図面番号	第 15 号	図面総数	17 葉
図名	上部工足場工図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

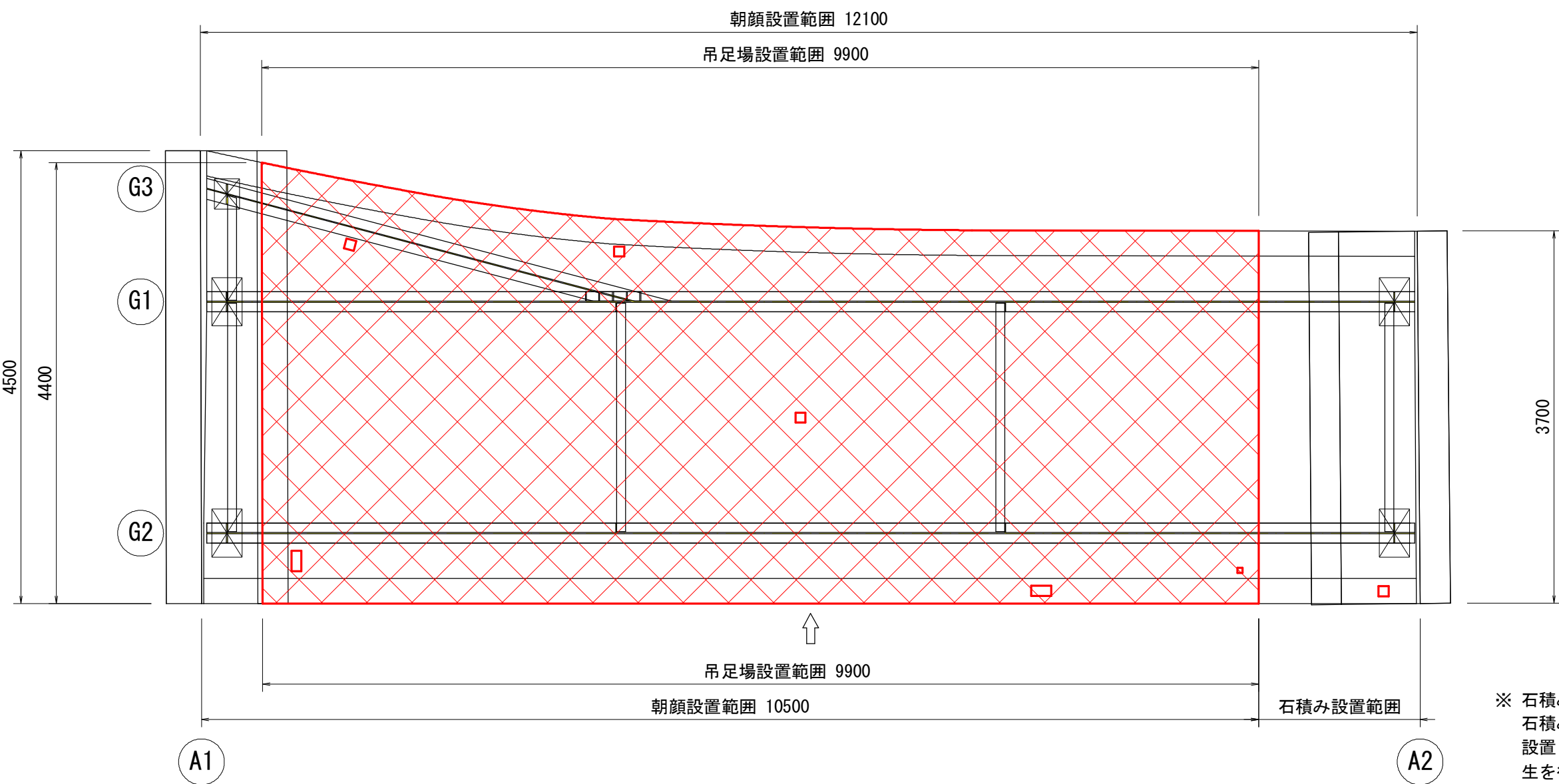
足場工図

側面図



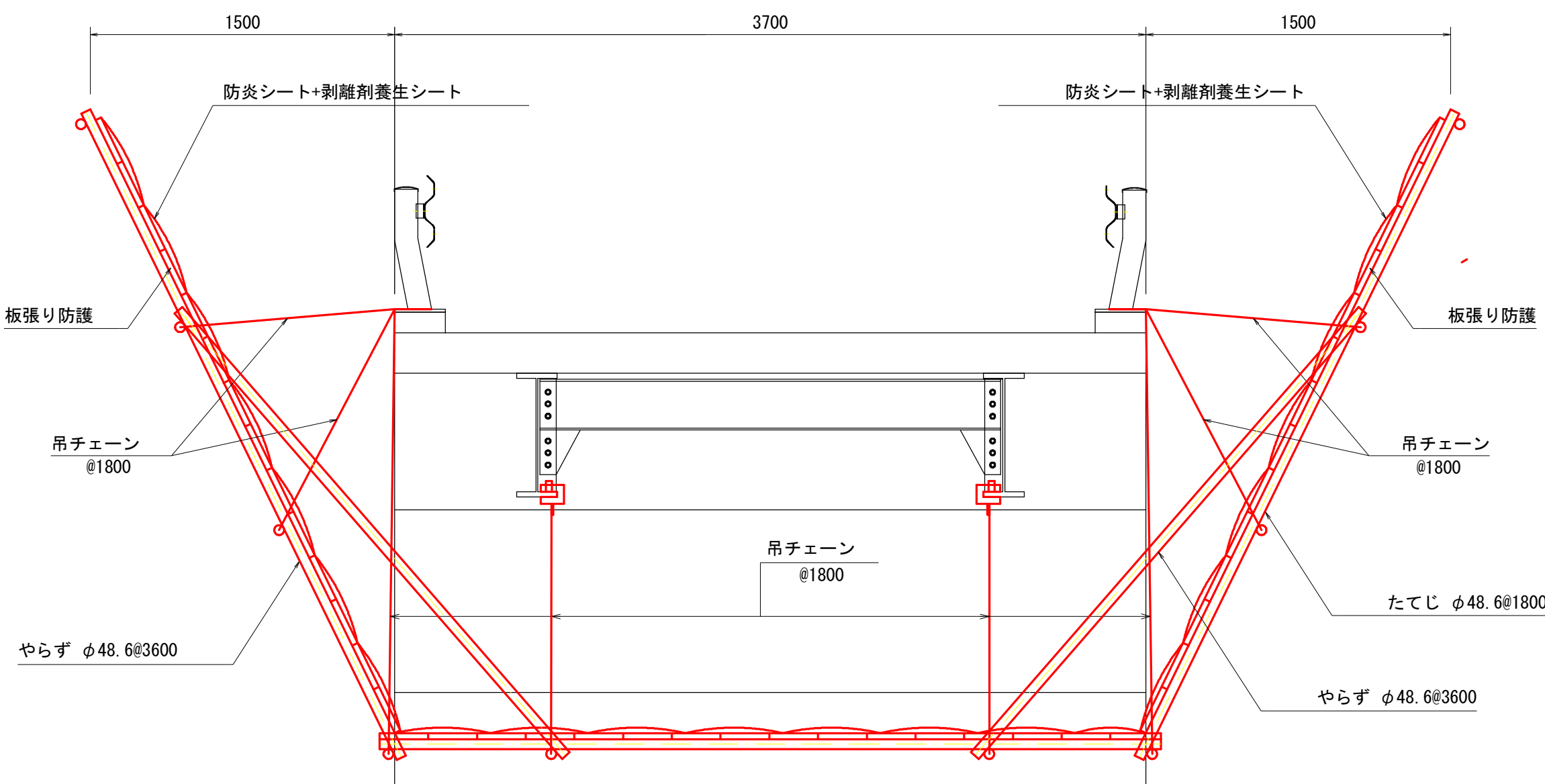
※ () 内の数値は上流側を表す。

平面図

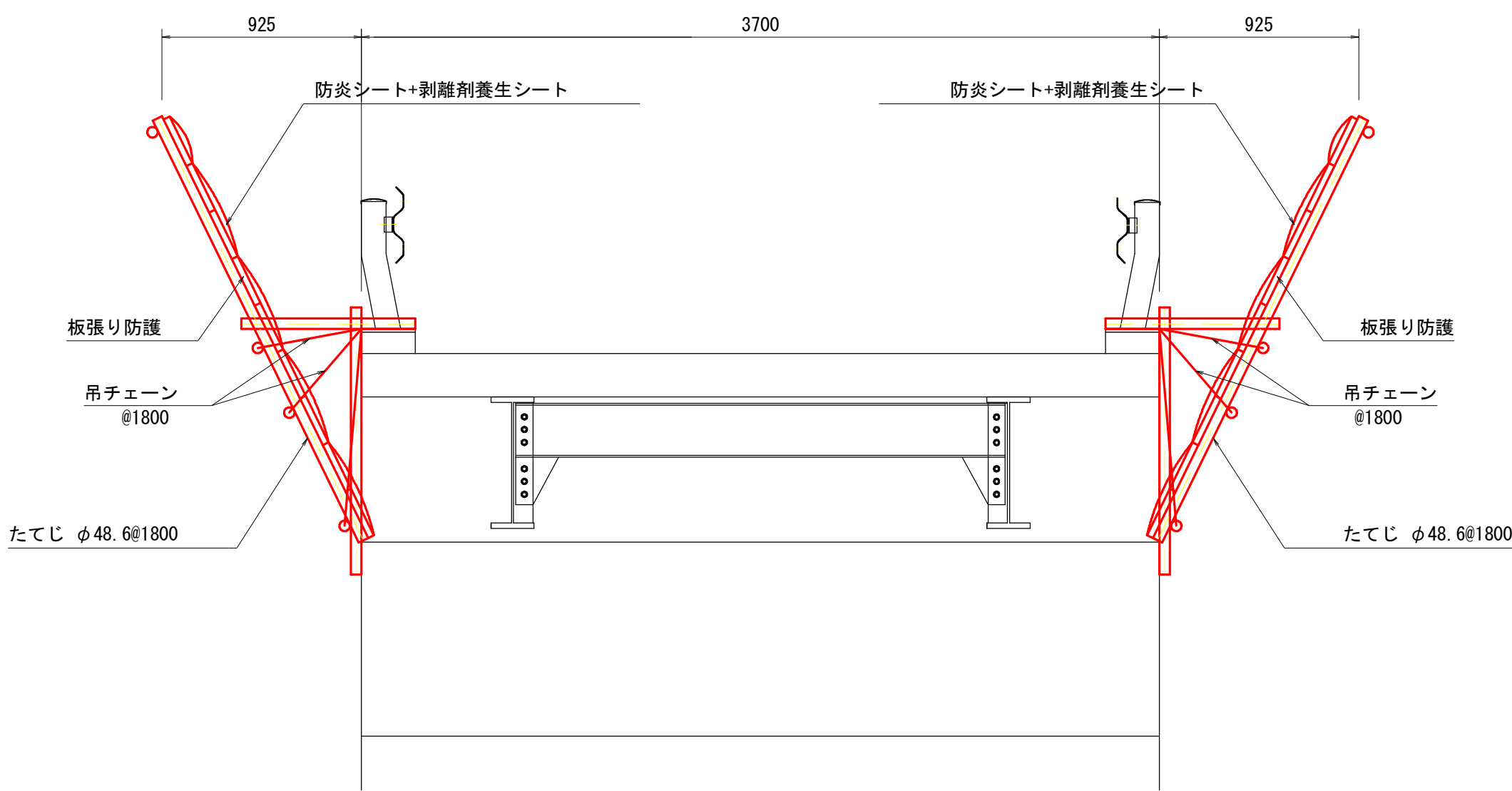


※ 石積み設置範囲には足場を設置できないので石積みの内側に防火シート+剥離剤養生シート設置し、剥離剤が外部に漏出しないように養生を行うものとする。

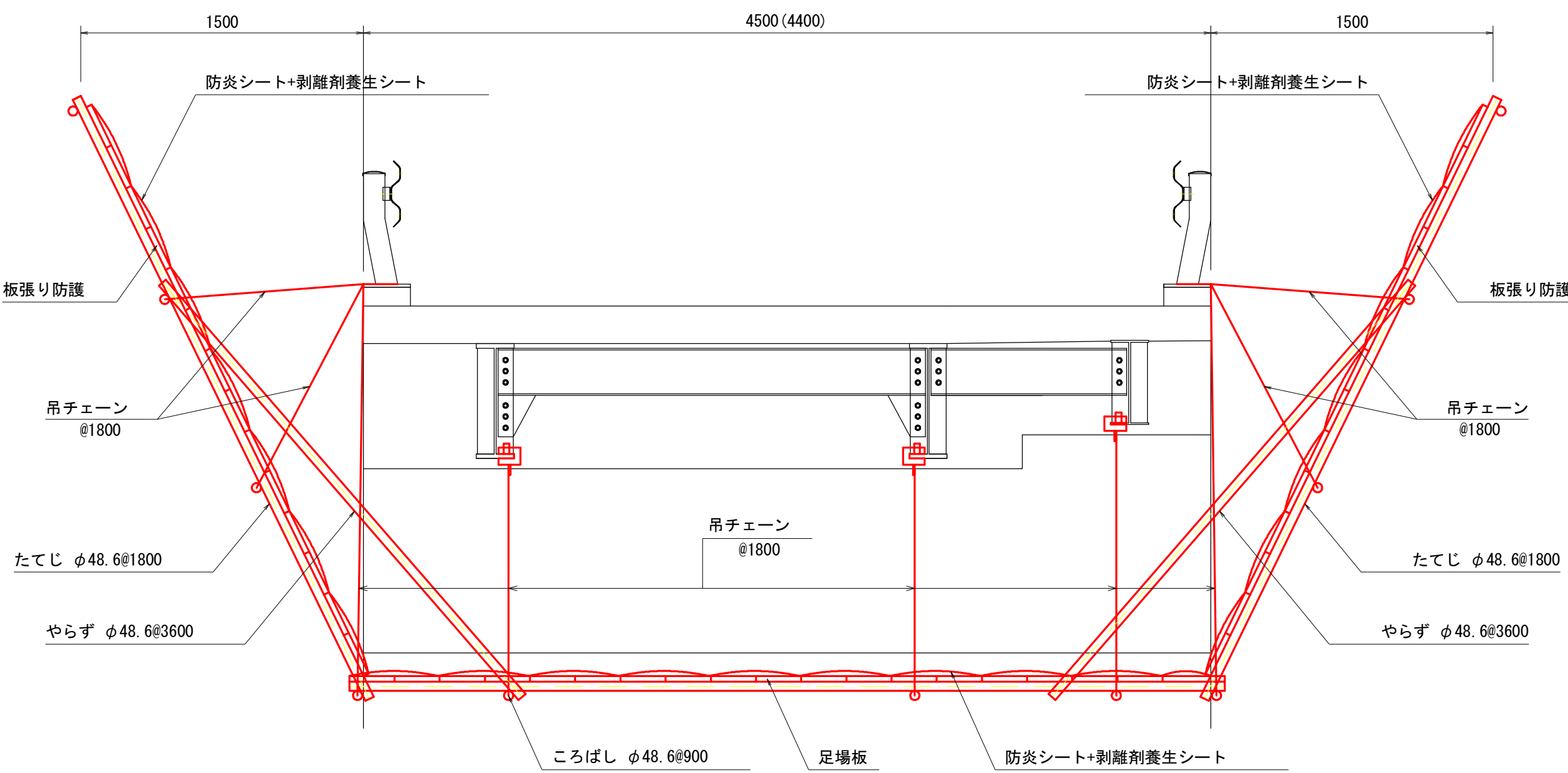
C-C 断面図



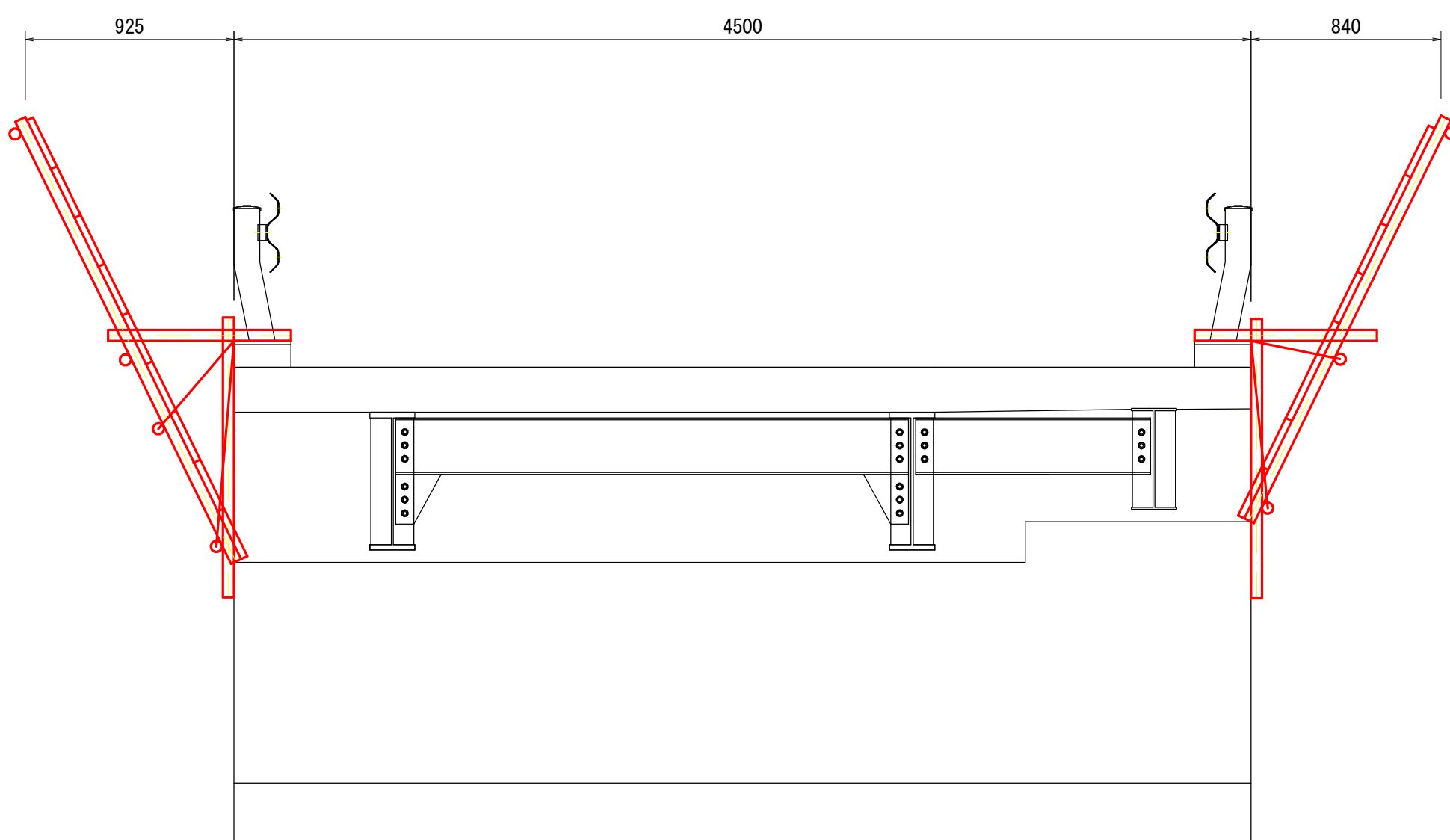
D-D 断面図



A-A 断面図



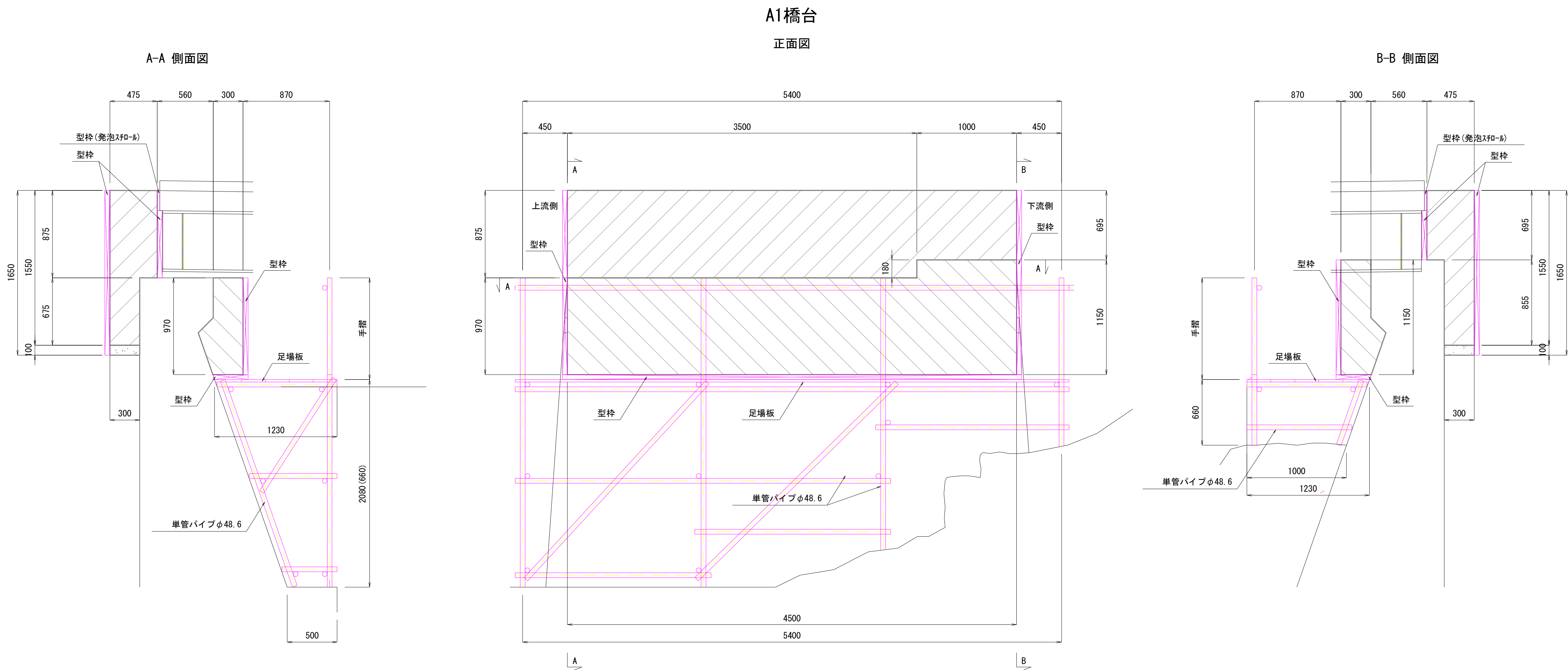
B-B 断面図



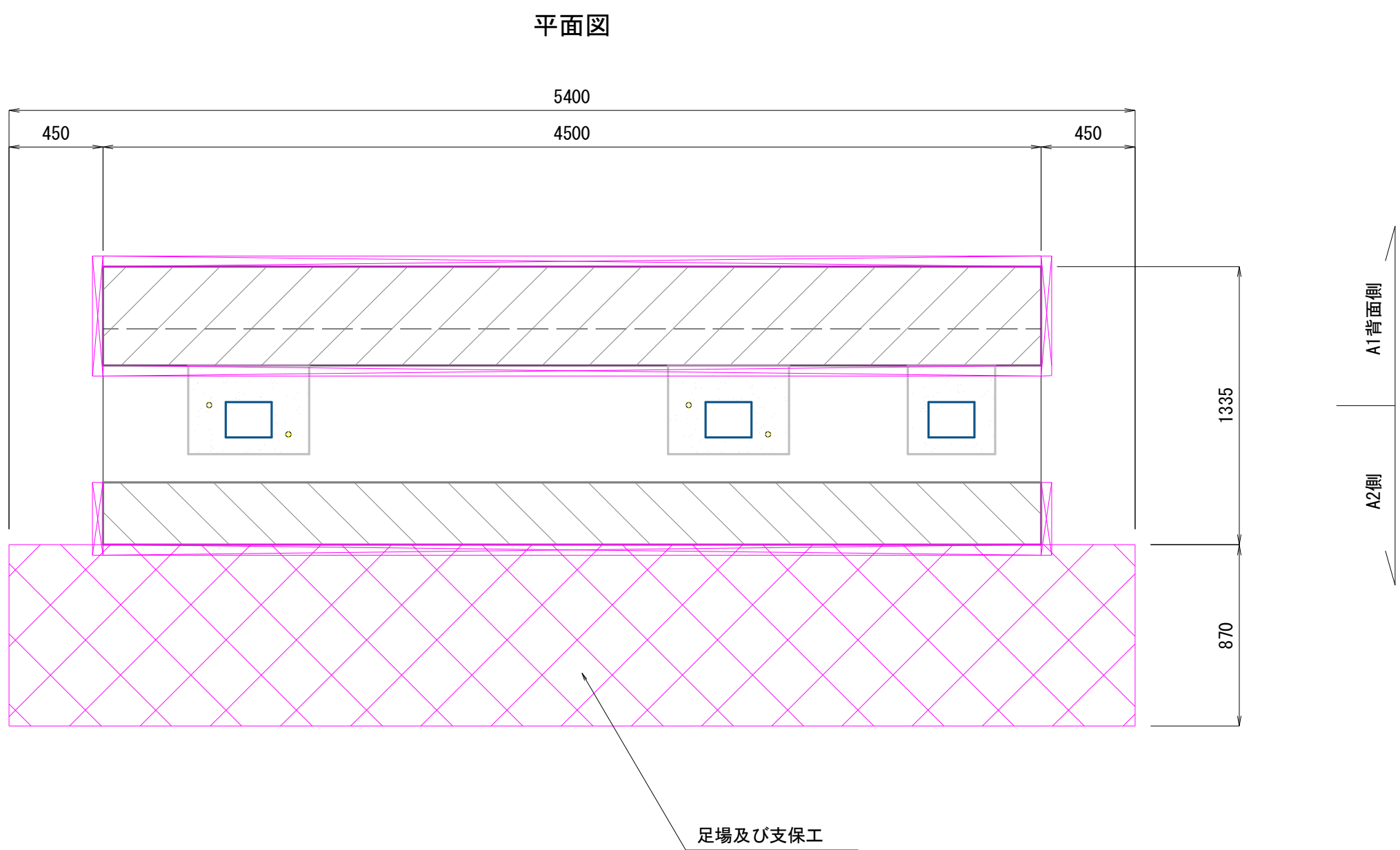
図面番号	第 16 号	図面総数	17 葉
図名	足場工図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町

下部工足場及び支保工図

S=1:25



※ 新たに構築する胸壁の前面位置は、現況橋座前面より560mm下がった位置とするが、
現況床版端面との離隔が、20mm以下もしくは75mm以上となる場合は、胸壁位置の見直しを行い、現況床版との離隔が20mm～75mmの範囲に収まるように調整を行うこと。



図面番号	第 17 号	図面総数	17 業
図名	下部工足場及び支保工図	縮尺	図示
名称	令和8年度 道路メンテナンス事業 竹平橋 修繕工事		
施行箇所	神山町下分字竹平		
工事種別			
所属年度	令和 8 年度	工事番号	
課長	設計	製図	徳島県 神山町